本文

官報

第七千五百七十九號

明治四十一年九月二十九日　火曜日

印刷局

○勅令

朕樞密顧問ノ諮詢ヲ經テ明治二十三年勅令第二百八號中改正ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名　御璽

明治四十一年九月二十八日

内閣總理大臣兼大藏大臣　侯爵桂太郎
陸軍大臣　子爵寺内正毅
外務大臣　伯爵小村壽太郎
海軍大臣　男爵齋藤實
内務大臣　法學博士男爵平田東助
農商務大臣　男爵大浦兼武
遞信大臣　男爵後藤新平
文部大臣　小松原英太郎
司法大臣　子爵岡部長職

勅令第二百四十五號

明治二十三年勅令第二百八號中左ノ通改正ス

第一條中「二十五圓以内ノ罰金若ハ二十五日以下ノ禁錮」ヲ「百圓以内ノ罰金若ハ科料又ハ三月以下ノ懲役、禁錮若ハ拘留」ニ改ム

第二條中「十圓以内ノ罰金若ハ拘留」ヲ「五十圓以内ノ罰金若ハ科料又ハ拘留」ニ改ム

附則

本令ハ明治四十一年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

朕臨時鐵道國有準備局官制中改正ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名　御璽

明治四十一年九月二十八日

内閣總理大臣　侯爵桂太郎
遞信大臣　男爵後藤新平

勅令第二百四十六號

臨時鐵道國有準備局官制中左ノ通改正ス

第二條中「二人」ヲ「一人」ニ「七人」ヲ「四人」ニ「十四人」ヲ「七人」ニ「二十八人」ヲ「十四人」ニ改ム

附則

本令ハ明治四十一年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

○省令

内務省令第十六號

警察犯處罰令左ノ通リ之ヲ定ム

明治四十一年九月二十九日

内務大臣　法學博士男爵平田東助

第7579号　本文

第7579号 本文

警察犯處罰令

第一條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ三十日以下ノ拘留ニ處ス

一　故ナク人ノ居住若ハ看守セサル邸宅、建造物及船舶內ニ潛伏シタル者

二　密賣淫ヲ爲シ又ハ其ノ媒合若ハ容止ヲ爲シタル者

三　一定ノ住居又ハ生業ナクシテ諸方ニ徘徊スル者

四　故ナク面會ヲ强請シ又ハ强談威迫ノ行爲ヲ爲シタル者

第二條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ三十日以下ノ拘留又ハ二十圓以下ノ科料ニ處ス

一　合力、喜捨ヲ强請シ又ハ强テ物品ノ購買ヲ求メタル者

二　乞丐ヲ爲シ又ハ爲サシメタル者

三　濫ニ寄附ヲ强請シ又ハ收利ノ目的ヲ以テ强テ物品、入場劵等ヲ配付シタル者

四　入札ノ妨害ヲ爲シ又ハ共同入札ヲ强請シ若ハ落札人ニ對シ其ノ事業又ハ利益ノ分配若ハ金品ヲ强請シタル者

五　他人ノ業務ニ對シ惡戲又ハ妨害ヲ爲シタル者

六　新聞紙、雜誌其ノ他ノ方法ヲ以テ誇大又ハ虛僞ノ廣告ヲ爲シ不正ノ利ヲ圖リタル者

七　新聞紙、雜誌其ノ他ノ出版物ノ購讀又ハ廣告揭載ニ付强テ其ノ申込ヲ求メタル者

八　申込ナキ新聞紙、雜誌其ノ他ノ出版物ヲ配付シ又ハ申込ナキ廣告ヲ爲シ其ノ代料ヲ請求シタル者

九　祭事、祝儀又ハ其ノ行列ニ對シ惡戲又ハ妨害ヲ爲シタル者

十　自己占有ノ場所內ニ老幼、不具又ハ疾病ノ爲扶助ヲ要スル者若ハ人ノ死屍、死胎アルコトヲ知リテ速ニ警察官吏ニ申告セサル者

前項ノ死屍、死胎ニ對シ警察官吏ノ指揮ナキニ其ノ現場ヲ變更シタル者

十一　公衆ノ自由ニ交通シ得ル場所ニ於テ喧噪シ、橫臥シ又ハ泥醉シテ徘徊シタル者

十二　公衆ノ自由ニ交通シ得ル場所ニ於テ濫ニ車馬舟筏其ノ他ノ物件ヲ置キ又ハ交通ノ妨害ト爲ルヘキ行爲ヲ爲シタル者

十三　公衆ノ自由ニ交通シ得ル場所ニ於テ危險ノ虞アルトキ點燈其ノ他豫防ノ裝置ヲ爲スノ義務ヲ怠リタル者

十四　劇場、寄席其ノ他公衆會同ノ場所ニ於テ會衆ノ妨害ヲ爲シタル者

十五　雜沓ノ場所ニ於テ制止ヲ肯セス混雜ヲ增スノ行爲ヲ爲シタル者

十六　人ヲ誑惑セシムヘキ流言浮說又ハ虛報ヲ爲シタル者

十七　妄ニ吉凶禍福ヲ說キ又ハ祈禱、符呪等ヲ爲シ若ハ守札類ヲ授與シテ人ヲ惑ハシタル者

十八　病者ニ對シ禁厭、祈禱、符呪等ヲ爲シ又ハ神符、神水等ヲ與ヘ醫療ヲ妨ケタル者

十九　濫ニ催眠術ヲ施シタル者

二十　官職、位記、勳爵、學位ヲ詐リ又ハ法令ノ定ムル服飾、徽章ヲ僭用シ若ハ之ニ類似ノモノヲ使用シタル者

二十一　官公署ニ對シ不實ノ申述ヲ爲シ又ハ其ノ義務アル者ニシテ故ナク申述ヲ肯セサル者

二十二　人ノ飮用ニ供スル淨水ヲ汚穢シ又ハ其ノ使用ヲ妨ケ若ハ其ノ水路ニ障碍ヲ爲シタル者

二十三　河川、溝渠又ハ下水路ノ疏通ヲ妨クヘキ行爲ヲ爲シタル者

二十四　自己又ハ他人ノ身體ニ刺文シタル者

二十五　出入ヲ禁止シタル場所ニ濫ニ出入シタル者

二十六　官公署ノ榜示シ若ハ官公署ノ指揮ニ依リ榜示セル禁條ヲ犯シ又ハ其ノ設置ニ係ル榜標ヲ汚瀆シ若ハ撤去シタル者

二十七　水火災其ノ他ノ事變ニ際シ制止ヲ肯セスシテ其ノ現場ニ立入リ若ハ其ノ場所ヨリ退去セス又ハ官吏ヨリ援助ノ求ヲ受ケタルニ拘ラス傍觀シテ之ニ應セサル者

二十八　濫ニ他人ノ標燈又ハ社寺、道路、公園其ノ他公衆用ノ常燈ヲ消シタル者

二十九　他人ノ田野、園囿ニ於テ菜果ヲ採摘シ又ハ花卉ヲ採折シタル者

三十　使用者ニシテ勞役者ニ對シ故ナク其ノ自由ヲ妨ケ又ハ苛酷ノ取扱ヲ爲シタル者

三十一　濫ニ他人ノ身邊ニ立塞リ又ハ追隨シタル者

三十二　他人ノ身體、物件又ハ之ニ害ヲ及ホスヘキ場所ニ對シ物件ヲ拋澆シ又ハ放射シタル者

三十三　神祠、佛堂、禮拜所、墓所、碑表、形像其ノ他之ニ類スル物ヲ汚瀆シタル者

三十四　人ノ死屍又ハ死胎ヲ隱匿シ又ハ他物ニ紛ハシク擬裝シタル者

三十五　一定ノ飮食物ニ他物ヲ混シテ不正ノ利ヲ圖リタル者

三十六　不熟ノ果物、腐敗ノ肉類其ノ他健康ヲ害スヘキ飮食物ヲ營利ノ用ニ供シタル者

三十七　濫ニ他人ノ繫キタル舟筏、牛馬其ノ他ノ獸類ヲ解放シタル者

第三條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ二十圓以下ノ科料ニ處ス

一　許可ナクシテ人ノ死屍又ハ死胎ヲ解剖シ又ハ之レカ保存ヲ爲シタル者

二　公衆ノ目ニ觸ルヘキ場所ニ於テ袒裼、裸裎シ又ハ臀部、股部ヲ露ハシ其ノ他醜態ヲ爲シタル者

三　街路ニ於テ屎尿ヲ爲シ又ハ爲サシメタル者

四　濫ニ銃砲ノ發射ヲ爲シ又ハ火藥其ノ他劇發スヘキ物ヲ玩ヒタル者

五　家屋其ノ他ノ建造物若ハ引火シ易キ物ノ近傍又ハ山野ニ於テ濫ニ火ヲ焚ク者

六　石灰其ノ他自然發火ノ虞アル物ノ取扱ヲ忽ニシタル者

七　開業ノ醫師、產婆故ナク病者又ハ姙婦、產婦ノ招キニ應セサル者

八　故ナク官公署ノ召喚ニ應セサル者

九　炮煮、洗滌、剝皮等ヲ要セスシテ其ノ儘食用ニ供スヘキ飮食物ニ覆蓋ヲ設ケス店頭ニ陳列シタル者

十　濫ニ禽獸ノ死屍又ハ汚穢物ヲ棄擲シ又ハ之レカ取除ノ義務ヲ怠リタル者

十一　監置ニ係ル精神病者ノ監護ヲ怠リ屋外ニ徘徊セシメタル者

十二　濫ニ犬其ノ他ノ獸類ヲ嗾シ又ハ驚逸セシメタル者

十三　狂犬、猛獸等ノ繫鎖ヲ怠リ逸走セシメタル者

十四　公衆ノ目ニ觸ルヘキ場所ニ於テ牛馬其ノ他ノ動物ヲ虐待シタル者

十五　濫ニ他人ノ家屋其ノ他ノ工作物ヲ汚瀆シ若ハ之ニ貼紙ヲ爲シ又ハ他人ノ標札、招牌、賣貸家札其ノ他榜標ノ類ヲ汚瀆シ若ハ撤去シタル者

十六　橋梁又ハ堤防ヲ損壞スルノ虞アル場所ニ舟筏ヲ繫キタル者

十七　通路ナキ他人ノ田圃ヲ通行シ又ハ此ニ牛馬諸車ヲ牽入レタル者

第四條　本令ニ規定シタル違反行爲ヲ敎唆シ又ハ幫助シタル者ハ各本條ニ照シ之ヲ罰ス但シ情狀ニ依リ其ノ刑ヲ免除スルコトヲ得

附　則

本令ハ明治四十一年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

遞信省令第四十三號

特設電話規則左ノ通相定ム

明治四十一年九月二十九日

遞信大臣　男爵後藤新平

第一條　特ニ指定スル通信官署（以下單ニ局ト稱ス）ニ於テハ特設電話交換ヲ取扱フ其ノ位置名稱及電話加入區域ハ別ニ之ヲ告示ス

遞信大臣ニ於テ特別ノ事由アリト認ムルトキハ電話加入區域外ニ於テ加入ヲ爲サシメ又ハ之ヲ繼續セシムルコトアルヘシ此ノ場合ニ於テハ其ノ所屬局ノ加入區域內ニ在ルモノト看做ス

第二條　特設電話加入ヲ分チテ左ノ三種トス

一　單獨加入　一加入ニ付一回線ヲ有スルモノ

二　共同線加入　二加入共同シテ一回線ヲ有スルモノ

三　連接加入　單獨加入ニ連接シテ一加入ヲ爲スモノ

遞信大臣ニ於テ特別ノ事由アリト認ムルトキハ一回線ニ依リ四加入迄共同線加入ヲ爲サシムルコトアルヘシ

第三條　特設電話加入ノ爲設備スル電話回線ハ複線式トス但シ遞信大臣ニ於テ特別ノ事由アリト認ムルトキハ單線式ト爲スコトアルヘシ

第四條　特設電話加入ニ要スル設備及維持ハ局所內ニ要スルモノヲ除クノ外一加入每ニ其ノ加入申請者又ハ加入者ヲシテ之ヲ負擔セシメ其ノ設備及維持ハ所轄一等郵便局（以下單ニ一等局ト稱ス）ニ於テ之ヲ行フ但シ遞信大臣ニ於テ特別ノ事由アリト認ムルトキハ加入申請者又ハ加入者ヲシテ其ノ設備又ハ維持ヲ行ハシムルコトアルヘシ

第五條　左記各號ノ場合ハ前條ニ依ル設備ノ範圍內トス

一　水底線ノ修理又ハ改設ヲ要スルトキ

二　加入者ノ故意又ハ過失ニ因リ亡失毀損セシメタル機械線路等ノ修理又ハ復舊ヲ要スルトキ

三　第八條第九條又ハ第十四條第一項各號ニ依リ設備ノ變更ヲ要スルトキ

不可抗力ニ因リ機械線路等ニ著シキ損害ヲ受ケ其ノ復舊ヲ要スルトキ又ハ局所ノ移轉等ニ依リ線路ノ變更ヲ要スルトキハ前項ノ例ニ依ルコトアルヘシ

第六條　一等局長ニ於テ工事上必要ト認ムルトキハ加入申請者又ハ加入者ヲシテ線路ヲ共用セシム

前項ノ場合ニ於テ加入申請者又ハ加入者ノ電線ヲ他ノ線路ニ併架スル爲該線路ノ全部又ハ一部ノ改築ヲ要スルトキハ其ノ加入申請者又ハ加入者ヲシテ之ヲ負擔セシム

第七條　加入申請者又ハ加入者ノ爲一等局ニ於テ既ニ行ヒタル設備ニ對シテハ其ノ必要消滅シタル場合ト雖之カ負擔ノ義務ヲ免カルルコトヲ得ス

第八條　電話加入區域變更ノ爲機械設置場所他局所ノ區域內トナリタルトキハ所屬ヲ變更ス

第九條　電話交換方式又ハ取扱方法ヲ變更スルノ必要アルトキハ線路又ハ機械等ヲ變更スルコトアルヘシ

第十條　特設電話ニ加入セムトスル者ハ一加入每ニ加入申請書（書式附錄）ヲ一等局長ニ差出シ其ノ認可ヲ受クヘシ

共同線加入又ハ連接加入ノ申請ヲ爲ストキハ相手方ヲ定メ其ノ申請書ニ互ニ連署スヘシ但シ相手方カ加入者ナルトキハ其ノ承諾書ヲ添付スヘシ

第十一條　一等局長加入申請ヲ認可シタルトキハ加入ノ設備ニ要スル工事設計書ヲ加入申請者ニ交付ス

第十二條　加入申請者ハ前條設計書ニ據リ一等局長ノ指揮ニ遵ヒ電線機械其ノ他一切ノ物件ヲ供給シ且工事費ヲ支辨スヘシ但シ實際ニ要スル物件又ハ費用カ該設計書ノ記載額ヲ超過スルコトアルモ之カ負擔ノ義務ヲ免ルルコトヲ得ス

第十三條　加入申請者又ハ加入者左記各號ノ場合ニ於テハ其ノ事由ヲ詳記シタル申請書ヲ一等局長ヲ經テ遞信大臣ニ差出シ其ノ認可ヲ受クヘシ

一　第一條第二項ニ依リ電話加入區域外ヨリ加入セムトスルトキ又ハ電話加入區域內ヨリ電話加入區域外ヘ若ハ電話加入區域外相互間ニ於テ機械設置場所ヲ變更セムトスルトキ

二　第二條第二項ニ依リ三加入以上共同線加入ヲ爲サムトスルトキ

三　第三條但書ニ依リ電話回線ヲ單線式ト爲サムトスルトキ

四　第四條但書ニ依リ自ラ設備又ハ維持ヲ行ハムトスルトキ

第十四條　加入申請者又ハ加入者左記各號ノ場合ニ於テハ其ノ旨ヲ記載セル申請書ヲ一等局長ニ差出シ其ノ認可ヲ受クヘシ但シ加入申請ト同時ニ申請スルトキハ加入申請書ニ附記スヘシ

一　加入種類ヲ變更セムトスルトキ

二　電話機又ハ附屬物品ノ設置場所ヲ變更セムトスルトキ

三　共同線加入者又ハ連接加入者其ノ相手方ヲ變更セムトスルトキ

四　別ニ指定スル長距離通話ノ裝置ヲ爲サムトスルトキ

五　卓上電話機ヲ設置セムトスルトキ

六　加入電話機設置場所ト同一戸內ニ於テ電話機受話器又ハ電鈴ヲ增設セムトスルトキ

七　電話機設置場所ト同一ナル自己ノ邸宅構內ニ於テ電信法第二條第一號及明治三十三年九月遞信省令第五十一號官廳用電信電話規程第一條第一號ニ依リ施設シタル電話機ヲ交換線ニ接續セムトスルトキ

八　同一邸宅構內ニ於テ二加入以上ノ電話ニ共通スル電話機ヲ增設セムトスルトキ

九　第四號乃至第八號ニ依ル裝置ヲ變更又ハ廢止セムトスルトキ

前項第三號ノ申請ヲ爲ストキハ第十條第二項但書ノ例ニ依ルヘシ

第一項第七號ノ申請ヲ認可スルトキハ一等局長其ノ維持又ハ交換取扱ノ方法ヲ指示スルコトアルヘシ

第十五條　第八條若ハ第九條ノ場合又ハ前條第一項各號ノ申請ヲ認可スル場合ニ於テ一等局長必要ト認ムルトキハ第十一條及第十二條ノ規定ヲ準用ス

第十六條　加入申請者第十三條第四號ノ認可ヲ受ケ自ラ設備ヲ行フトキハ第十一條ノ工事設計書ニ據リ且一等局長ノ指揮監督ヲ受ケ若線路機械等ニ既設ノ部分アルトキハ其ノ部分ニ付該局長ノ檢査ヲ受クヘシ但シ工事上已ムヲ得サル事由ニ因リ該設計書記載ノ方法ニ依ルヲ得サルモノニ限リ該局長ノ承認ヲ經テ之ヲ變更スルコトヲ得

一等局長ニ於テ前項ノ設備カ不適當ナリト認ムルトキハ改良又ハ修理ヲ爲サシム

第一項ノ場合ニ於テハ第十二條ノ規定ヲ適用セス

第十七條　加入申請者前條ニ依ル設備ヲ完了シタルトキハ其ノ竣成ノ日ヲ一等局長ニ屆出ツヘシ

第十八條　加入者第十三條第四號ノ認可ヲ受ケ自ラ第十四條第一項各號ニ依ル設備ノ變更ヲ爲ストキハ前二條ノ規定ヲ準用ス

第十九條　加入者第十三條第四號ノ認可ヲ受ケ自ラ維持ヲ行フトキハ一等局長ノ指揮監督ヲ受クヘシ

第二十條　加入者ハ交換料附加交換料及維持料ヲ納ムヘシ但シ前條ニ依ル場合ハ維持料ヲ納ムルノ限ニ在ラス

第二十一條　特設電話ニ關スル料金ハ左ノ如シ

一　加入登記料			金五圓
二　名義書換料			金二圓
三　交換料	單獨加入及共同線加入一加入每ニ	年額	金二十四圓
	連接加入一加入每ニ	年額	金十八圓
四　附加交換料	長距離裝置電話機一箇每ニ	年額　普通	金六圓
		特別	金十二圓
	官廳用又ハ私設電話機接續一箇每ニ	年額	金六圓
五　電話番號簿掲載料	年額一箇所每ニ	重複掲載	金五十錢
		他人名義掲載	金四圓
六　維持料			
一　電話線路（水底線路ヲ除ク）	一回線里程一丁迄每ニ	年額　複線式	金一圓三十錢
		單線式	金八十錢
一　電話機（電池及附屬品ヲ含ム）	一箇每ニ	年額　普通	金七圓
		卓上　甲號	金十八圓
		乙號	金十二圓
一　增設電鈴	一箇每ニ	年額	金一圓
一　增設受話器	一箇每ニ	年額　筒形又ハ時計形	金一圓
		戴頭	金三圓

加入登記料ハ加入申請ノ際之ヲ假納セシメ其ノ申請認可ノ際之ヲ徵收ス

每年一定ノ時期ヲ限リ取扱ヲ爲ス局所ニ在リテハ前項第三號及第四號ノ料金ハ其ノ取扱期間ヲ以テ一期トシ月割額ニ五割ヲ加算シタル額ヲ其ノ月數ニ應シテ徵收ス但シ月ノ中途ニ於テ取扱ヲ開始又ハ終了スルトキハ其ノ月分ハ日割ヲ以テ計算ス

第二十二條　加入申請者又ハ加入者一等局長ノ指示スル期日及場所ニ於テ第十二條ニ依ル供給若ハ支辨ヲ爲ササルトキ又ハ該局長ノ指示スル期日迄ニ第十六條ニ依ル設備ヲ完了セサルトキ其ノ他本令又ハ本令ニ據ル一等局長ノ指揮ニ遵ハサルトキハ加入其ノ他ノ申請認可ヲ取消シ又ハ加入ヨリ除名スルコトアルヘシ

第二十三條　加入者加入ノ取消又ハ除名等ノ場合ニ於テ自己ノ供給セル物件ヲ撤去セムトスルトキハ三箇月以內ニ其ノ旨ヲ一等局ニ請求スヘシ加入申請者加入申請ノ取消若ハ失效等ノ場合亦同シ但シ加入者又ハ加入申請者線路ヲ共用スルトキハ其ノ共用ノ部分ヲ撤去スルコトヲ得ス

前項ノ撤去工事ハ請求者ヲシテ其ノ費用ヲ負擔セシメ一等局ニ於テ之ヲ行フ但シ一等局長ニ於テ必要ト認ムルトキハ請求者ヲシテ之ヲ行ハシムルコトアルヘシ

第二十四條　本令ニ依ル物品ノ供給費用ノ支辨又ハ料金ノ納付等カ二人以上ノ共同負擔ニ屬スルトキハ其ノ中ノ一人ヲ總代人ト定メ其ノ責ニ任セシムルコトアルヘシ

第二十五條　本令ニ依ル電話ヲ明治三十九年六月遞信省令第二十五號電話規則（以下單ニ電話規則ト稱ス）ニ依ルモノニ變更スルトキハ加入又ハ加入申請認可ノ效ヲ失フ其ノ變更期日ハ三箇月前ニ通知ス

前項ノ場合ニ於テ加入者其ノ設備ノ全部ヲ政府ニ無償提供スルトキハ電話規則ニ依ル加入ニ變更スルコトヲ得但シ遞信大臣ニ於テ必要ト認ムルトキハ提供ニ先チ其ノ設備ヲ補修セシムルコトアルヘシ

第二十六條　電話規則第四條第五條第三項第十一條ノ二乃至第十一條ノ六第十六條第十九條乃至第二十三條第二十四條第二項第二十五條ノ一第二十八條第二十九條第三十條第一項第三十一條ノ一第三十一條ノ二第三十四條第三十五條第一項第三號第二項第三十六條乃至第四十四條第一項第二號第三號第二項第四十五條乃至第四十八條第五十條第五十一條第五十三條乃至第五十九條第六十四條ノ規定ハ本令ニ之ヲ準用ス但シ電話規則中ノ電話使用料ハ交換料又附加使用料ハ附加交換料若ハ維持料ト看做ス

附　則

第二十七條　本令ハ明治四十一年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

明治三十八年四月遞信省令第三十四號特設電話規則ハ之ヲ廢止ス

第二十八條　明治三十八年四月遞信省令第三十四號特設電話規則ニ依ル加入者又ハ加入申請者ハ本令ニ依ル加入者又ハ加入申請者ト看做ス但シ該規則ニ依リ交付シタル命令書ハ本令施行ノ日ニ於テ其ノ效力ヲ失フ

第二十九條　電話加入區域制定ノ爲機械設置場所其ノ區域外トナリタルモノハ現在ノ位置ニ於テ加入ヲ繼續セシム

（書式）

特設電話加入申請書

特設電話規則ニ遵ヒ左記ニ依リ何局電話交換ニ加入致度（別紙承諾書相添ヘ）此段申請候

年　月　日
申請者　住所職業　氏　名

何郵便局長殿

一、加入種類
二、電話機設置場所
三、相手方電話機設置場所
四、局所ト電話機設置場所トノ距離
五、相手方加入者トノ距離
六、卓上電話機種別
七、增設機械
八、長距離裝置
九、官廳用又ハ私設電話機接續

注意

一　第三號及第五號ハ共同線加入又ハ連接加入ノ場合ニ限リ記載ヲ要ス
二　第六號乃至第九號ハ該當スルモノアル場合ニ限リ記載ヲ要ス但シ第九號ノ事項ニ關シテハ機械ノ種類箇數等ヲ附記スヘシ
三　第四號及第五號ノ距離ハ道路ニ依ルモノヲ揭クヘシ
四　本申請書ニハ第二號乃至第五號ノ事項ヲ表示スル爲別ニ圖面ヲ添付スヘシ

○府令

統監府令第三十七號

電話規則左ノ通定ム

明治四十一年九月十六日
統監代理
副統監　子爵曾禰荒助

電話規則

第一條　電話加入區域內ニ在ル者ハ電話交換ニ加入スルコトヲ得其ノ區域ハ別ニ之ヲ定ム

前項區域外ニ在ル者ニシテ電話交換ニ加入セムトスル者ハ統監府通信管理局長（以下單ニ通信管理局長ト稱ス）ノ認可ヲ受クヘシ

第二條　電話加入ハ二人以上合同シテ之ヲ爲スコトヲ得ス

第三條　電話交換ニ加入セムトスル者ハ一加入每ニ加入申込書（第一號書式）ヲ當該郵便局所ニ差出スヘシ但シ第一條第二項ノ場合ハ加入申込書ト共ニ申請書（第二號書式）ヲ差出スヘシ

第四條　加入申込者又ハ加入者他人ノ所有ニ係ル家屋ニ電話機ヲ設置セムトスルトキハ其ノ家屋所有者ノ承諾書（第四號書式）ヲ當該郵便局所ニ差出スヘシ

第五條　加入申込者ハ一申込每ニ加入登記料ヲ納ムヘシ

第六條　郵便局所ニ於テ電話加入ノ申込ヲ受理シタルトキハ其ノ順序ニ依リ之ヲ原簿ニ登記スヘシ但シ新ニ電話交換業務ヲ開設スル場合ニ於テハ其ノ加入申込受理開始ノ日ヨリ三日間ニ於ケル加入申込ニ對スル登記順番ハ通信管理局長之ヲ定ム第二十四條ニ依リ所屬替ヲ爲シタル加入申込ニ對スル登記順番亦同シ

前項登記順番ハ之ヲ加入申込者ニ通知スヘシ

第七條　電話開通ノ順序ハ加入申込登記ノ順番ニ依ル

第7579号 本文

第八條　左記各號ノ場合ニ於テハ加入申込登記ノ順番ニ依ラス電話開通ノ順序ヲ繰上クルコトヲ得

一　官廳、公署又ハ公益事業ノ用ニ供スルモノニシテ通信管理局長ニ於テ特急架設ヲ認可シタルモノ

二　工事施行上ノ都合ニ依ルモノ

三　統監府通信管理局（以下單ニ通信管理局トス）ノ指示スル所ニ從ヒ電話開通ニ必要ナル電話線、電話機、附屬物品ヲ自ラ設備シ之ヲ同局ニ引渡スモノ

第九條　左記各號ノ場合ニ於テハ加入申込登記ノ順番ニ依ラス電話開通ノ順序ヲ繰下クヘシ但シ通信管理局長ニ於テ電話開通ノ必要ヲ認メタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

一　前條第三號ヲ除クノ外一人ニシテ現ニ二箇以上ノ加入申込ヲ有スル場合ニ於ケル一箇以外ノ申込（同一戸內ニ住居スル家族又ハ同居者等ノ名義ヲ以テスル加入申込ハ一名義ヲ以テシタルモノト看做ス）

二　工事施行上順番ニ依リ難キモノ

三　電話開通工事著手前工事施行猶豫ノ請求アリタルモノ

第十條　加入申込者電話開通工事著手後工事施行ノ猶豫ヲ請求シ又ハ電話機設置場所ノ變更ヲ請求シタルトキト雖第七條ノ順序ハ之ヲ變更セス當該郵便局所ノ指定スル日ヨリ電話開通シタルモノト看做ス但シ通信管理局長ノ認可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第十一條　電話ヲ開通シタルトキハ當該郵便局所ニ於テ一加入毎ニ其ノ電話番號ヲ定ム

第十二條　左記各號ノ場合ニ於テハ電話番號ヲ變更スルコトアルヘシ

一　第二十四條ニ依リ所屬替ヲ爲シタルトキ

二　同一加入區域內ニ於テ電話交換ヲ取扱フ郵便局所ヲ異ニスルニ至リタルトキ

三　工事上ノ必要アルトキ

第十三條　電話加入期間ハ電話開通ノ日ヨリ起算シ滿一箇年トス但シ其ノ期間ノ末日カ第五十一條ニ掲クル一期ノ中途ナルトキハ該期末日迄ノ日數ヲ附加ス

前項ノ加入期間以後ハ毎三箇月ヲ以テ一加入期間トス

第十四條　第八條第一號ニ該當スル者ニシテ加入期間ノ短縮ヲ電話開通前ニ申請スル者アルトキハ通信管理局長ニ於テ特ニ其ノ必要ヲ認ムル者ニ限リ前條第一項ノ電話加入期間滿一箇年ヲ六箇月ト爲スコトヲ得

第十五條　加入者當該加入期ノ末日ヨリ十五日前ニ加入取消ノ請求ヲ爲ササルトキハ次期ノ加入ヲ繼續スルモノト看做ス

第十六條　加入者ハ電話使用料ヲ納ムヘシ

第十七條　左記各號ニ該當スル者ハ電話使用料ノ外附加使用料ヲ納ムヘシ但シ第二十四條ニ依リ加入區域外トナリタルトキハ其ノ加入區域外トナリタル日ヨリ一箇年間加入區域外加入ノ附加使用料ハ之ヲ免除ス

一　加入區域外ニ屬スル加入者

二　第十八條ニ依リ長距離電話通話ヲ爲ス加入者

三　第二十五條ニ依リ卓上電話機ヲ設置シ又ハ機械ヲ增設シ若ハ第二十八條ニ依リ電話機ヲ交換線ニ接續シタル加入者

第十八條　加入申込者又ハ加入者其ノ使用スル電話機ニ依リ特ニ指定スル長距離電話通話ヲ爲サムトスルトキハ其ノ請求書（第十四號書式）ヲ當該郵便局所ニ差出スヘシ

前項ノ請求ヲ取消シ又ハ通話ヲ廢止セムトスルトキハ其ノ請求書（第十五號書式）ヲ當該郵便局所ニ差出スヘシ

第十九條　加入申込者又ハ加入者其ノ申込又ハ加入ヲ取消サムトスルトキハ其ノ請求書（第十號及第十一號書式）ヲ當該郵便局所ニ差出スヘシ

第二十條　加入申込者又ハ加入者其ノ名義ヲ變更セムトスルトキハ其ノ請求書ヲ當該郵便局所ニ差出スヘシ但シ他人ノ名義ニ變更セムトスルトキハ當事者ノ連署シタル請求書（第十二號書式）ヲ差出シ其ノ承認ヲ受クヘシ

第二十一條　加入申込者又ハ加入者前條但書ノ請求ヲ爲ストキハ名義書換料ヲ納ムヘシ

第二十二條　第八條第一號ニ依リ特急架設ノ認可ヲ受ケタル加入者ノ名義ハ他人ノ名義ニ之ヲ變更スルコトヲ得ス但シ通信管理局長ノ認可ヲ受ケタル者ハ此ノ限ニ在ラス

第八條第一號ニ依リ特急架設ノ認可ヲ受ケタル加入申込者其ノ名義ヲ變更シタルトキハ特急架設ノ認可ハ其ノ效力ヲ失フモノトス

第二十三條　加入申込者又ハ加入者死亡若ハ失踪等ノ場合ニ於テ其ノ相續人又ハ管理人其ノ加入申込又ハ加入ヲ繼承セムトスルトキハ其ノ相續人又ハ管理人タルノ證明書ヲ添ヘ其ノ請求書（第十三號書式）ヲ當該郵便局所ニ差出スヘシ

第二十四條　電話加入區域變更ノ爲加入申込者又ハ加入者ノ位置他局所ノ加入區域內ニ編入セラレタルトキハ所屬替ヲ爲スモノトシ又加入區域外トナリタルトキハ其ノ取消ヲ爲ササル者ノ加入申込及加入ハ第一條第二項ニ依リタルモノトシテ其ノ儘之ヲ繼續ス特設電話規則第十六條第二項但書ニ依リ其ノ加入ヲ繼續シタル加入者ノ位置加入區域外トナリタル場合亦同シ

第二十五條　加入申込者又ハ加入者左記各號ノ場合ニ於テハ各其ノ請求書（第六號乃至第九號書式）ヲ當該郵便局所ニ差出スヘシ

一　卓上電話機ヲ設置シ又ハ卓上電話機ヲ普通電話機ニ、普通電話機ヲ卓上電話機ニ若ハ卓上電話機ノ種別ヲ變更セムトスルトキ

二　電話機設置場所ト同一邸宅構內ニ於テ同一回線中ニ電話機又ハ電鈴ヲ增設シ又ハ之ヲ撤去セムトスルトキ

三　同一邸宅構內ニ在ル二加入以上ノ電話機ニ共通スル電話機ヲ增設シ又ハ之ヲ撤去セムトスルトキ

四　電話機ニ受話器ヲ增設シ又ハ之ヲ撤去セムトスルトキ

第二十六條　加入申込者又ハ加入者電話機附屬物品ノ設置場所ヲ變更又ハ移轉セムトスルトキハ其ノ請求書（第五號書式）ヲ當該郵便局所ニ差出スヘシ但シ加入區域外ニ於テ他ノ邸宅構內ニ又ハ加入區域內ヨリ加入區域外ニ變更又ハ移轉セムトスルトキハ其ノ請求書ト共ニ申請書（第三號書式）ヲ差出シ通信管理局長ノ認可ヲ受クヘシ

第二十七條　加入者前條ノ請求ヲ爲ストキハ機械移轉料ヲ納ムヘシ

第二十八條　加入申込者又ハ加入者其ノ電話機設置場所ト同一邸宅構內ニ在ル自己ノ施設ニ係ル電話機ヲ交換線ニ接續シ又ハ廢止セムトスルトキハ其ノ請求書（第十六號及第十七號書式）ヲ當該郵便局所ニ差出スヘシ但シ其ノ施設ノ方法、物件及其ノ維持竝交換取扱方ニ關シテハ通信管理局長ノ指示スル所ニ從フヘシ

第二十九條　加入申込者又ハ加入者自己ノ電話番號索引ヲ便ナラシメムカ爲別ニ通信管理局長ニ於テ定ムル電話番號表中一定ノ箇所以外ニ名義ヲ掲載セムコトヲ望ムトキハ其ノ請求書（第十八號書式）ヲ當該郵便局所ニ差出スヘシ

前項ノ請求ヲ取消シ又ハ掲載ヲ廢止セムトスルトキハ其ノ請求書（第十九號書式）ヲ當該郵便局所ニ差出スヘシ

第三十條　前條第一項ノ請求ヲ爲シタル加入者ハ電話番號表掲載料ヲ納ムヘシ

第三十一條　電話開通工事著手ノ際加入申込者ノ所在不明ナルトキ及加入申込者又ハ加入者死亡若ハ失踪等ノ場合ニ於テ相續人又ハ管理人ヨリ何等申出ナキトキハ其ノ加入申込又ハ加入ヲ取消スコトアルヘシ

第三十二條　加入者ノ使用スル電話機、附屬物品及電話加入區域內ニ於ケル電話線路ハ第八條第三號ノ場合ノ外通信管理局ニ於テ之ヲ設備ス

第三十三條　加入申込者又ハ加入者ニ於テ自己ノ電話線、電話機、附屬物品ヲ使用セムトスルトキハ通信管理局長ノ認可ヲ受クヘシ又其ノ維持方法ハ通信管理局ノ指示スル所ニ從フヘシ

第三十四條　第一條第二項及第二十六條但書ニ依リ認可ヲ受ケタル者ハ通信管理局ノ指示スル所ニ從ヒ其ノ加入區域外ニ係ル電話線路ヲ建設シ之ヲ同局ニ引渡スヘシ

第三十五條　特ニ必要ト認ムル者ニ限リ電話線ノ專用ヲ許可スルコトアルヘシ其ノ專用ニ關スル條件及料金等ハ別ニ之ヲ定ム

第三十六條　他ノ加入區域內ニ在ル郵便局所ニ屬スル加入者トノ通話及電話通話ヲ取扱フ郵便局所（以下單ニ通話取扱局所トス）ノ電話機又ハ自働電話機ニ依ル通話ハ毎三分時間迄ヲ以テ一通話時トシ他ニ通話請求ナキ場合ノ外二通話時ヲ超エテ繼續スルコトヲ得ス其ノ通話順番ハ請求ノ順序ニ依ル但シ通話請求ノ順序ニ依リ接續ヲ爲ス場合ニ於テ之カ通話ヲ爲ササルトキハ其ノ請求ハ消滅スルモノトス

第三十七條　前條ノ通話ニシテ規定ノ通話料ノ二倍ヲ納ムルトキハ至急通話トシテ一般通話請求ニ先立チ通話ヲ爲スコトヲ得

第三十八條　長距離電話通話ハ自働電話機ニ依リ之ヲ爲スコトヲ得ス

第三十九條　加入者ハ其ノ電話機ノ不良又ハ不通其ノ他障碍ノ場合ニ於テ自働電話機又ハ通話取扱局所ノ電話機ニ依リ其ノ修理方ヲ無料ニテ當該郵便局所ニ請求スルコトヲ得

第四十條　加入者ハ別ニ告示スル地域內ニ在ル者若ハ港灣內ニ碇泊ノ艦船中ニ在ル者ヲ通話取扱局所ニ呼出シ通話スル爲當該郵便局所ニ其ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第四十一條　前條ノ請求ヲ爲ス者ハ通話料ノ外電話呼出料ヲ納ムヘシ

通話取扱局所ニ來ル者モ亦前項ノ請求ヲ其ノ局所ニ爲スコトヲ得

第四十二條　通話料及電話呼出料ハ左ノ區別ニ依リ之ヲ納ムヘシ

一　通話取扱局所ニ來リ通話セムトスル者ハ一通話時又ハ二通話時ノ通話料ヲ又電話呼出ノ請求ヲ爲サムトスル者ハ通話料ト共ニ電話呼出料ヲ其ノ局所ニ前納スヘシ若通話取扱局所ニ來リ通話セル者ニシテ該通話料ニ相當スル通話時以上ニ渉リタルトキハ通話ヲ終リタル後其ノ未納料金ヲ納ムヘシ

二　自働電話機ニ依リ通話セムトスル者ハ當該郵便局所ノ指示スル所ニ從ヒ通話ニ先立チ一通話時毎ニ其ノ料金ヲ納ムヘシ

三　加入者ハ一箇月分取纏メ翌月二十日迄ニ當該郵便局所ニ其ノ料金ヲ納ムヘシ

第四十三條　電話呼出ノ請求アリタルトキハ其ノ被呼者ヲ呼出スヘキ通話取扱局所ニ於テ通話料前納證書ヲ調製シ之ヲ被呼者ニ交付スヘシ

第四十四條　通話料前納證書ノ使用期間ハ其ノ證書發行ノ日ヨリ七日間トス

第四十五條　通話料前納證書ヲ有スル者ハ其ノ證書記載ノ金額ニ相當スル通話料納付濟ノモノトシ何レノ通話取扱局所ニ於テモ通話ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第四十六條　居所不分明其ノ他ノ事故ニ因リ通話料前納證書ヲ被呼者ニ交付シ能ハサルトキハ之ヲ其ノ使用期間內當該通話取扱局所ニ保管シ置キ其ノ被呼者ノ居所、氏名ヲ記載シテ三日ヨリ少カラサル間之ヲ其ノ局所前ニ掲示スヘシ

第四十七條　呼出請求者ハ被呼者ノ居所、氏名又ハ呼出時刻ノ改正ヲ要スルトキハ呼出請求ノ時ヨリ二十四時間以內ニ之ヲ其ノ呼出請求局所ニ請求スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ更ニ電話呼出料ヲ納ムヘシ

第7579号 本文

第四十八條　呼出請求者ハ呼出請求局所ニ於テ未タ呼出ノ手續ヲ爲ササル場合ニ限リ其ノ呼出請求ヲ取消スコトヲ得

第四十九條　電話ニ關スル料金左ノ如シ

一　加入登記料	一申込毎ニ	甲地金十五圓 乙地金十圓
二　名義書換料	一名義毎ニ	甲地金五圓 乙地金三圓
三　電話使用料	一加入毎ニ	甲地年額金七十二圓 乙地年額金六十圓
四　附加使用料		
一加入區域外加入	加入區域外電話線路ノ線條延長一條一町迄毎ニ	年額金一圓五十錢
一長距離電話通話	一箇毎ニ	年額金三圓
一卓上電話機	一箇毎ニ	甲號年額金十二圓 乙號年額金六圓
一增設普通電話機	一箇毎ニ	年額金十二圓
一增設卓上電話機	一箇毎ニ	甲號年額金二十四圓 乙號年額金十八圓
一增設受話器	一箇毎ニ	筒形又ハ時計形年額金三圓 戴頭年額金八圓
一增設電鈴	一箇毎ニ	年額金三圓
一第二十八條ニ依ル接續電話機	十箇迄ハ一箇毎ニ 十箇以上ハ一箇ヲ增ス毎ニ	年額金六圓 年額金三圓
五　電話料		
區　域	一通話時ノ通話料	一回ノ電話呼出料
同一加入區域内又ハ 同一呼出地域内 （第一條第二項及第二十六條但書ニ依ル加入者ハ同一加入區域内ニアルモノト看做ス）	金五錢 但シ自働電話機ニ依ルモノ金十錢	金五錢

艦船中ニ在ル者ヲ呼出サムトスルトキハ別ニ定ムル所ニ依リ艀船配達料ヲ電話呼出料トシテ增納スヘシ

六　機械移轉料		
一同一邸宅構内ノ移轉		金二圓
一他ノ邸宅構内ヘノ移轉		金十五圓
一增設電話機ノ移轉		金二圓
一增設電鈴又ハ附屬物品ノミノ移轉		金一圓
七　電話番號表掲載料	一箇所毎ニ	年額金一圓八十錢

前項第一號乃至第三號ノ土地ノ區別第五號以外ノ通話ヲ爲シ得ル區域及其ノ電話料ハ別ニ之ヲ告示ス

第五十條　電話ニ關スル料金ハ特ニ定ムル場合ヲ除ク外通貨ヲ以テ納ムヘシ

但シ左ノ料金ハ申込又ハ請求ノ際郵便切手ヲ以テ之ヲ納ムヘシ

一　加入登記料、名義書換料、機械移轉料

二　通話取扱局所ニ來リ通話シ又ハ電話呼出ヲ請求スル者ノ納ムヘキ電話料

第五十一條　電話使用料及附加使用料ハ年額ヲ四分シ左ニ掲クル四期ノ別ニ從ヒ毎期分ヲ其ノ期ノ初月一日ヨリ十日迄ニ當該郵便局所ニ納ムヘシ但シ官廳ニ限リ特ニ後納ト爲スコトヲ得

第一期	四月一日ヨリ六月三十日マテ
第二期	七月一日ヨリ九月三十日マテ
第三期	十月一日ヨリ十二月三十一日マテ
第四期	一月一日ヨリ三月三十一日マテ

前項料金ハ當該會計年度内ニ於テ一時ニ其ノ年度ニ屬スル二期分以上ヲ前納スルコトヲ得

第五十二條　電話開通カ前條各期ノ中途ナルトキハ其ノ初期ノ電話使用料及附加使用料ハ電話開通ノ日ヨリ其ノ期ノ末日ニ至ルマテノ日數ニ應シ年額金ノ日割ヲ以テ開通ノ日ヨリ十五日以内ニ之ヲ納ムヘシ其ノ加入後附加使用料ヲ納ムヘキ場合ノ生シタルトキ及附加使用料ニ異動ヲ生シタルトキ亦同シ

第五十三條　電話番號表掲載料ハ一會計年度毎ニ之ヲ課ス但シ年度ノ中途ニ於テ掲載ヲ爲シ又ハ掲載ヲ取消シタル場合ト雖年額ヲ徴收ス

前項料金ハ毎會計年度ノ初月一日ヨリ十日マテニ當該郵便局所ニ之ヲ納ムヘシ但シ請求初年度ノ料金ハ當該郵便局所ノ指定シタル期日迄ニ之ヲ納ムヘシ

第五十四條　電話ニ關スル料金ヲ郵便切手ヲ以テ徴收シ又ハ還付スヘキ場合ニ於テ錢位未滿ノ端數ヲ生シタルトキハ之ヲ切捨ツ

第五十五條　加入者第十三條ノ加入期間内ニ於テ加入ヲ取消シタルトキ又ハ加入ヨリ除名セラレタルトキハ電話ニ關スル未納料金ヲ一時ニ納ムヘシ

第五十六條　電話機又ハ增設機械ノ變更ニ依リ其ノ附加使用料ニ異動ヲ生シタルトキハ日割ヲ以テ其ノ不足額ヲ徴收シ過超額ハ之ヲ還付セス

第五十七條　加入者第十五條ノ取消請求期限ヲ過キテ加入取消ノ請求ヲ爲シタルトキ又ハ當該加入期ノ末日ヨリ十五日前ニ長距離電話通話ノ廢止、加入區域外ヨリ加入區域内ヘ及加入區域外ニ於ケル電話機、附屬物品ノ移轉、電話機ノ變更及增設機械ノ撤去、變更若ハ第二十八條ニ依ル電話機接續ノ廢止ノ請求ヲ爲ササルトキハ其ノ次期ニ屬スル電話使用料及附加使用料ヲ納ムヘシ

加入者當該會計年度ノ末日ヨリ十五日以前ニ第二十九條第二項ノ請求ヲ爲ササルトキハ次年度ニ屬スル電話番號表掲載料ヲ納ムヘシ

第五十八條　左ノ電話ニ關スル既納ノ料金ハ其ノ納付人ノ請求ニ依リ通貨ヲ以テ納メタル者ハ通貨、郵便切手ヲ以テ納メタル者ハ郵便切手ヲ以テ之ヲ還付シ未納ノ料金ハ之ヲ徴收セス

一　第一條第二項ニ依リ加入區域外加入ヲ認可セサリシトキ又ハ第二十四條ノ場合ニ於テ加入申込ヲ取消シタルトキハ其ノ加入登記料

二　第二十條ノ場合ニ於テ名義變更ヲ承認セサリシトキハ其ノ名義書換料

三　第二十六條但書ノ場合ニ於テ移轉ヲ認可セサリシトキハ其ノ機械移轉料

四　加入者ノ過失、懈怠又ハ故意ニ因ルニ非スシテ電話不通ニ至リ其ノ日數十五日以上ニ渉リタルトキハ年額金ノ日割ニ依ル其ノ不通期間ノ電話使用料及附加使用料

五　郵便局所ノ過失ニ因リ徴收シタル過納又ハ誤納ノ電話料

六　通話取扱局所ノ過失ニ因リ通話料前納證書ヲ發行セサリシトキ又ハ通話料前納證書ヲ被呼者ニ交付シ得サルトキハ其ノ電話料

七　居所不分明其ノ他ノ事故ニ因リ通話料前納證書ヲ被呼者ニ交付シ得サルトキ又ハ交付シタル通話料前納證書ヲ其ノ使用期間ニ使用セサリシトキハ其ノ通話料

八　艦船中ニ在ル者ニ交付スヘキ通話料前納證書ヲ艦船ノ不在又ハ其ノ他ノ事由ニ因リ艦船ニ配達セサリシトキハ其ノ增納シタル電話呼出料

九　第四十八條ニ依リ電話呼出ノ請求ヲ取消シタルトキハ其ノ電話料

十　通話料前納證書ヲ以テ通話シタル通話料ニシテ前納額ニ滿タサルトキハ其ノ殘餘ノ通話料

十一　線路又ハ機械ノ障碍其ノ他ノ事由ニ因リ通話ヲ爲シ能ハサルトキハ其ノ通話ヲ爲ササル通話時ニ對スル通話料

前項第四號ノ不通ノ日數ハ當該郵便局所ニ於テ其ノ事故ヲ認メタル日ヨリ起算ス但シ加入者復舊工事ノ延期ヲ請求シタルトキハ其ノ日數ヲ除ク

第五十九條　前條ニ依ル料金還付ノ請求ハ左ノ期間内ニ其ノ料金ヲ納付シタル郵便局所ニ之ヲ爲スヘシ但シ同條第一項第七號ノ場合ニ於テ其ノ使用セサリシ通話料前納證書ヲ請求書ニ添附スヘシ

一　第一項第一號乃至第三號ノ場合ハ其ノ通知ヲ爲シタル日ヨリ六十日間

二　第一項第四號ノ場合ハ料金納付ノ日ヨリ五箇月間

三　第一項第五號乃至第十一號ノ場合ハ加入者ニ在リテハ料金納付ノ日ヨリ其ノ他ノ者ニ在リテハ通話又ハ電話呼出ノ請求ヲ爲シタル日ヨリ三十日間

第六十條　加入者加入期間内ニ於テ加入ヲ取消シ又ハ加入ヨリ除名セラレタルトキト雖其ノ期間内ノ電話使用料及附加使用料竝其ノ期間ノ屬スル會計年度内ノ電話番號表掲載料ハ之ヲ免除セス

第六十六條ニ依リ通話ヲ停止セラレタルトキハ其ノ停止期間中ノ電話使用料及附加使用料ハ之ヲ免除セス

長距離電話通話ノ廢止又ハ加入區域外ヨリ加入區域内ヘ及加入區域外ニ於ケル電話機附屬品ノ移轉、電話機ノ變更及增設機械ノ撤去、變更若ハ第二十八條ニ依ル電話機接續ノ廢止ノ場合ニ於テモ其ノ期ノ附加使用料ハ之ヲ滅免セス

第六十一條　通信管理局又ハ當該郵便局所ハ時時吏員若ハ所屬員ヲ派遣シ加入者ノ使用スル電話機設置ノ邸宅構内ニ在ル電話線、電話機附屬物品ヲ點檢セシムヘシ此ノ場合ニ於テハ其ノ身分ヲ證明スヘキ證票ヲ携帶セシムヘシ

第六十二條　通信管理局ハ加入者ノ使用スル電話線、電話機、附屬物品ヲ撤去シ又ハ移轉スル場合ニ於テ其ノ電線、機械及物品ノ裝置シアリタル造營物ヲ原形ニ修復スルノ責ニ任セス

第六十三條　加入者ノ過失、懈怠又ハ故意ニ因リ其ノ使用スル電話線、電話機、附屬物品ヲ亡失毀損シタルトキ又ハ第六十五條ニ違背セル所爲ニ因リ復舊工事ヲ要スルトキハ加入者ニ於テ其ノ補充又ハ修繕ニ要スル費用ヲ辨償スヘシ

第六十四條　加入者ハ報酬ヲ受ケ其ノ使用スル電話機ヲ他人ノ用ニ供シ又ハ報酬ヲ受クル者ニ之ヲ貸與スヘカラス

第六十五條　加入者ハ其ノ使用スル電話線、電話機、附屬物品ヲ取外シ移轉分解又ハ其ノ裝置ヲ變更スヘカラス但シ水火其ノ他ノ事變ニ際シ保護ノ目的ニ出テタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

加入者ハ其ノ使用スル電話線、電話機、附屬物品ニ他ノ線條、機械等ヲ連結スヘカラス

第六十六條　加入者電話使用料、附加使用料、電話番號表掲載料及電話料ヲ規定ノ期日迄ニ納付セサルトキ又ハ第六十三條ノ補修費ヲ辨償セサルトキハ其ノ滯納ノ期間通話ヲ停止スヘシ

加入者故ナク第六十一條ノ點檢ヲ拒ミタルトキ又ハ前條第一項ノ所爲アリタルトキ若ハ第二十八條ノ指示ニ從ハサルトキハ七日以内ノ期間該加入ノ通話ヲ停止スルコトアルヘシ

加入者前條第二項ニ違背スル所爲アリタルトキハ三十日以内ノ期間該加入ノ通話ヲ停止スルコトアルヘシ

第六十七條　加入者第六十四條ニ違背スル所爲アリタルトキ又ハ前條第一項ニ依リ通話ヲ停止セラレタル日ヨリ三十日以内ニ滯納ノ金額ヲ納付セサルトキ若ハ前條ニ依リ一年三回以上通話ヲ停止セラレタルトキハ該加入ヨリ除名スルコトアルヘシ

第六十八條　前條ニ依リ加入ヨリ除名セラレタル者ハ其ノ除名ノ日ヨリ滿一箇年ヲ經過スルニ非サレハ其ノ加入セル郵便局所ニ再加入申込ヲ爲スコトヲ得ス

第六十九條　統監府通信官署ハ電話交換ヨリ生スル一切ノ事故ニ對シ其ノ責ニ任セス

附　則

第七十條　本規則ハ明治四十一年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

第7579号　本文

明治三十九年統監府令第十六號及本規則ニ牴觸スル從前ノ規定ハ之ヲ廢止ス

第七十一條　本規則施行前ニ於ケル電話加入申込ハ明治四十一年十月末日迄ニ之ヲ取消スコトヲ得此ノ場合ニ於テハ加入登記料ハ之ヲ還付ス

第七十二條　本規則施行前ニ於テ電話加入區域外ニ於テ加入申込又ハ加入ヲ爲シタル者ニシテ明治四十一年十月末日迄ニ其ノ加入申込又ハ加入取消ノ請求ヲ爲ササル者ハ本規則ニ依リ認可シタルモノト看做ス

（第一號書式）

加入申込書

電話規則ニ遵ヒ何地電話交換ニ加入致度左ニ電話機設置場所ヲ指定シ（別紙承諾書相添ヘ）此段申込候也

年　月　日

住所職業　何　某　印

何郵便局所御中

一電話機設置場所　何民團地區（何府郡）何町（何坊面社）何番地（何洞里村何統何戶）家屋所有者何誰

（第二號書式）

電話加入區域外加入申請書

何郵便局ノ電話加入區域外ニ於テ左記事項ニ依リ同局ノ電話交換ニ加入致度此段及申請候也

一電話ノ施設ヲ必要トスル事由　何　何

一電話機設置場所　何　何

一局ト電話機設置場所トノ距離　何　何

年　月　日

住所職業　何　某　印

統監府通信管理局長宛

注意　本申請書ニハ當該局所及電話機設置場所ノ位置並其ノ經過地名ヲ記載シタル圖面ヲ添附シ加入申込書ト共ニ差出スヘシ

（第三號書式）

電話加入區域外移轉申請書

何郵便局ノ電話加入區域外ニ於テ（電話加入區域外ニ）左記事項ニ依リ移轉致度此段及申請候也

一移轉ヲ必要トスル事由　何　何

一電話機設置場所　何　何

一局ト電話機設置場所トノ距離　何　何

年　月　日

住所職業　何　某　印

統監府通信管理局長宛

注意　本申請書ニハ當該局所及電話機設置場所ノ位置並其ノ經過地名ヲ記載シタル圖面ヲ添附スヘシ

（第四號書式）

承諾書

今般貴殿何地電話交換ニ加入ノ爲私所有ノ何民團地區（何府郡）何町（何坊面社）何番地（何洞里村何統何戶）何何家屋ニ電話機設置ノ趣ハ故障無之候也

年　月　日

住所
家屋所有者　何　某　印

何某殿

注意　本承諾書ハ加入申込書又ハ機械設置場所變更請求書ニ添附差出スヘシ

（第五號書式）

機械設置場所變更請求書

一電話加入申込順番（電話番號）

加入申込書ニ依リ御設置可相成（右電話加入ノ）電話機（甲號）（乙號）卓上電話機）（電鈴）（增設電話機）（增設卓上電話機）（增設電鈴）ヲ左記ノ場所ニ變更（移轉）致度（別紙承諾書相添）此段及請求候也

年　月　日

住所職業　何　某　印

何郵便局所御中

一機械設置場所　何民團地區（何府郡）何町（何坊面社）何番地（何洞里村何統何戶）何何家屋又ハ何所
所有者何誰

（第六號書式）

卓上電話機請求書

一電話加入申込順番（加入申込書ト同時ニ差出ストキハ番號ヲ記載スルヲ要セス）

加入申込書ニ依リ御設置可相成電話機ヲ甲號（乙號）卓上電話機ニ致度此段及請求候也

年　月　日

住所職業　何　某　印

何郵便局所御中

（第七號書式）

電話機變更請求書

一電話番號

右電話加入ノ（右電話加入ノ電話機同線中ニ增設シタル）甲號（乙號）卓上電話機（普通電話機）ヲ普通電話機（甲號（乙號）卓上電話機）ニ變更致度此段及請求候也

年　月　日

住所職業　何　某　印

何郵便局所御中

（第八號書式）

機械增設請求書

一電話加入申込順番（電話番號）（加入申込書ト同時ニ差出ストキハ番號ヲ記載スルヲ要セス）

加入申込書ニ依リ御設置可相成（右電話加入ノ）電話機同線中ニ電話機（甲號（乙號）卓上電話機）（電鈴）何箇增設致度此段及請求候也

年　月　日

住所職業　何　某　印

何郵便局所御中

（第九號書式）

增設機械撤去請求書

一電話番號

都合ニ依リ右電話加入ノ電話同線中ニ增設シタル電話機（甲號（乙號）卓上電話機）（電鈴）何箇ヲ撤去致度此段及請求候也

年　月　日

住所職業　何　某　印

何郵便局所御中

（第十號書式）

加入申込取消請求書

一電話加入申込順番

都合ニ依リ右電話加入申込ヲ取消致度此段及請求候也

年　月　日

住所職業　何　某　印

何郵便局所御中

（第十一號書式）

加入取消請求書

一電話番號

都合ニ依リ何年何月何日限リ右電話加入ヲ取消致度此段及請求候也

年　月　日

住所職業　何　某　印

何郵便局所御中

（第十二號書式）

電話加入名義變更請求書

何局何番電話加入者（電話加入申込順番）何　某

右ノ者今般都合ニ依リ右電話加入名義ヲ何某ニ變更致度御許可ノ上ハ新名義人ニ於テ舊名義人ノ權利義務ヲ一切繼承シ電話規則ニ遵ヒ加入者（加入申込者）タルノ責務ヲ引受可申仍テ當事者連署ヲ以テ此段及請求候也

年　月　日

住所職業
（加入者何某管財人又ハ何何）何　某　印

住所職業　何　某　印

何郵便局所御中

（第十三號書式）

加入繼承請求書

何局何番電話加入者（電話加入申込順番）何　某

右ノ者今般何何ニ付右電話加入ヲ私ニ於テ繼承致度御許可ノ上ハ電話規則ニ遵ヒ加入者（加入申込者）タルノ責務ヲ引受可申仍テ別紙證明書相添此段及請求候也

年　月　日

住所職業
繼承人　何　某　印

何郵便局所御中

（第十四號書式）

長距離電話通話請求書

一電話加入申込順番（電話番號）（加入申込書ト同時ニ差出ストキハ番號ヲ記載スルヲ要セス）

加入申込書ニ依リ御設置可相成（右電話加入ノ）電話機ニ依リ長距離電話通話致度此段及請求候也

年　月　日

住所職業　何　某　印

何郵便局所御中

（第十五號書式）

長距離電話通話請求取消（通話廢止）請求書

一電話加入申込順番（電話番號）

都合ニ依リ加入申込書ニ依リ御設置可相成（右電話加入ノ）電話機ニ依ル長距離電話通話ノ請求取消（通話ヲ廢止）致度此段及請求候也

年　月　日

住所職業　何　某　印

何郵便局所御中

（第十六號書式）

官廳用（私設）電話機電話交換線接續請求書

電話機設置場所何何（何番室又ハ何掛等ノ名稱ヲ以テ其ノ位置ヲ示シ得ルモノハ其ノ名稱）

右私（官廳名）施設ノ電話機ヲ何地電話交換線ニ接續通話致度此段及請求候也

追テ施設機械、附屬物品、線條ノ種類、線路ノ種別、同線方式及維持方法等ハ左ノ通ニ有之候

一施設機械、附屬物品ノ種類及箇數（電話交換機ニ依リ接續スル場合ハ該交換機ノ容量及其ノ現ニ收容セル電話機數ヲモ記載スヘシ）　何　何

一施設線路ノ種別、線條ノ種類及同線方式　何　何

一維持ノ方法　何　何

年　月　日

住所職業　何　某　印

統監府通信管理局御中

注意　本請求書ニハ各機械ノ位置、接續及同線方法ヲ詳記シタル圖面ヲ添附スヘシ

（第十七號書式）

官廳用（私設）電話機電話交換線接續廢止請求書

何地電話交換線接續電話機設置場所　何　何

都合ニ依リ右設置電話機全部（何箇）ノ電話交換線接續ヲ廢止致度此段及請求候也

年　月　日

住所職業　何　某　印

統監府通信管理局御中

（第十八號書式）

電話番號表規定外掲載請求書

一電話加入申込順番（何）番（加入申込書ト同時ニ差出ストキハ番號ヲ記載スルヲ要セス）（電話番號（何）番）何某

第 7579 号 本文

加入申込書ニ依リ御設置可相成（右電話加入ノ）電話ハ右名義以外尚左記ノ通電話番號表ヘ掲載相成度此段及請求候也

年　月　日

住所職業　何　某　印

何郵便局所御中

注意　規定ノ箇所以外ニ掲載ヲ希望スル名稱ヲ此ノ所ニ列記スヘシ

（第十九號書式）

電話番號表規定外掲載請求取消（掲載廢止）請求書

一電話加入申込順番（何）番（電話番號（何）番）何某

都合ニ依リ加入申込書ニ依リ御設置可相成（右電話加入ノ）左ノ名義電話番號表掲載請求取消（掲載廢止）致度此段及請求候也

年　月　日

住所職業　何　某　印

何郵便局所御中

注意　掲載ヲ取消又ハ廢止セムトスル名稱ヲ此ノ所ニ列記スヘシ

統監府令第三十八號

電話加入者及特設電話加入者ニシテ明治四十一年九月三十日限リ其ノ加入ヲ取消ス者ハ加入期間及加入取消期限ニ拘ラス明治四十一年十月一日以降ニ屬スル電話使用料、附加使用料、電話交換料及附加交換料ハ之ヲ免除ス

明治四十一年九月十六日

統監代理
副統監　子爵曾禰荒助

統監府令第三十九號

特設電話規則左ノ通定ム

明治四十一年九月十六日

統監代理
副統監　子爵曾禰荒助

特設電話規則

第一條　特設電話交換ヲ取扱フ郵便局所ノ電話交換ニ加入セムトスル者ハ本規則ノ定ムル所ニ依リ加入ヲ爲スコトヲ得其ノ郵便局所ノ位置、名稱ハ之ヲ告示ス

第二條　特設電話交換ニ加入セムトスル者ハ一加入毎ニ加入申請書（第一號書式）ヲ當該郵便局所ヲ經テ統監府通信管理局長（以下單ニ通信管理局長トス）ニ差出シ認可ヲ受クヘシ

第三條　加入申請者又ハ加入者左記各號ノ場合ニ於テハ各其ノ申請書（第二號及第三號書式）ヲ當該郵便局所ヲ經テ通信管理局長ニ差出シ認可ヲ受クヘシ

一　電話機、附屬物品ノ種類又ハ設置場所ヲ變更セムトスルトキ
二　電話機設置場所ト同一邸宅構內ニ在ル自己ノ施設ニ係ル電話機ヲ交換線ニ接續シ又ハ之ヲ廢止セムトスルトキ

前項第二號ノ場合ニ於テ其ノ施設ノ方法、物件及其ノ維持竝交換取扱方ニ關シテハ通信管理局長ノ指示スル所ニ從フヘシ

第四條　加入者ハ一加入毎ニ電話線路ヲ架設シ且加入ニ必要ナル電話機及附屬物品ヲ設備シ之カ保守其ノ他必要ナル維持ヲ爲スヘシ其ノ設備、方法、物件及維持ニ關シテハ通信管理局長ノ指示スル所ニ從フヘシ

前項ノ場合ニ於テ加入者ハ明治四十一年統監府令第四十號官廳用、軍用及私設電信電話竝特設電話維持規程ニ依リ其ノ維持ヲ統監府通信管理局（以下單ニ通信管理局トス）ニ依託スルコトヲ得

第五條　特設電話交換ニ要スル郵便局所內ノ設備及其ノ維持ハ通信管理局ニ於テ之ヲ負擔ス

第六條　特設電話ニ關スル料金左ノ如シ

一　加入登記料　一加入申請毎ニ　金五圓
二　名義書換料　一名義毎ニ　金二圓
三　電話交換料　一加入毎ニ　年額金二十四圓
四　附加交換料
　一　第三條第一項第二號ニ依ル接續電話機　一箇毎ニ　年額金六圓
　一　増設電話機　一箇毎ニ　年額金六圓

第七條　左ノ特設電話ニ關スル既納ノ料金ハ其ノ納付人ノ請求ニ依リ通貨ヲ以テ納メタルモノハ通貨、郵便切手ヲ以テ納メタルモノハ郵便切手ヲ以テ之ヲ還付シ未納ノ料金ハ之ヲ徵收セス

一　特設電話ノ加入ヲ認可セサリシトキハ其ノ加入登記料
二　加入者ノ設備シタル線路及機械等ニ原因シタルニ非スシテ電話不通ニ至リ其ノ日數十五日以上ニ渉リタルトキハ年額金ノ日割ニ依ル其ノ不通期間ノ電話交換料及附加交換料

前項第二號ノ不通ノ日數ハ當該郵便局所ニ於テ其ノ事故ヲ認メタル日ヨリ之ヲ起算ス

第八條　前條ニ依ル料金還付ノ請求ハ左ノ期間內ニ其ノ料金ヲ納付シタル郵便局所ニ之ヲ爲スヘシ

一　第一項第一號ノ場合ハ其ノ通知ヲ爲シタル日ヨリ六十日間
二　第一項第二號ノ場合ハ料金納付ノ日ヨリ五箇月間

第九條　所屬郵便局所ノ位置ヲ變更スルトキハ加入者ニ對シ電話線路ノ變更ヲ爲サシムヘシ

第十條　電話交換方式又ハ取扱方法ヲ變更スルノ必要アルトキハ加入者ニ對シ線路及機械ノ變更ヲ爲サシムルコトアルヘシ

第十一條　所屬郵便局所所在地又ハ其ノ附近ニ新ニ特設電話交換ヲ取扱フ郵便局所ヲ開設シタルトキハ加入者ニ對シ其ノ郵便局所ニ電話線路ノ接續變更ヲ爲サシムルコトアルヘシ

第十二條　加入者前二條ノ場合ニ於テ現狀維持ヲ望ムトキハ其ノ通知ヲ爲シタル日ヨリ一箇月以內ニ其ノ事由ヲ具シ通信管理局長ニ申出ツヘシ

第十三條　第九條乃至第十一條ノ場合ニ於テ必要ナル費用ハ加入者ノ負擔トス

第十四條　加入申請者加入ノ認可ヲ受ケ其ノ認可ノ日ヨリ六箇月以內ニ工事其ノ他ノ設備ニ著手セサルトキハ認可ヲ取消スコトアルヘシ

第十五條　加入者本規則又ハ當該郵便局所ノ指示ニ從ハサルトキハ加入ヲ取消スコトアルヘシ

第十六條　所屬郵便局所所在地又ハ其ノ附近ニ明治四十一年統監府令第三十七號電話規則ニ依ル電話ヲ開始シタルトキハ認可ノ效力ヲ失フ該電話ノ開始期日ハ其ノ開始前ニ加入者ニ通知スヘシ

前項ノ場合ニ於テ其ノ電話交換ニ加入セムトスル者ハ開始ノ通知ヲ受ケタル後十日以內ニ其ノ加入ノ申込ヲ爲スヘシ但シ加入者ニ於テ既設ノ電話線路、電話機及附屬物品ノ全部ヲ政府ニ無償提供ヲ爲ストキハ其ノ儘加入ヲ繼續スルコトヲ得

第十七條　加入者其ノ加入ヲ取消シ又ハ取消サレタルトキ若ハ認可ノ效力ヲ失ヒタルトキハ通信管理局長ノ指示スル所ニ從ヒ線路及機器ヲ撤去スヘシ

第十八條　加入者ハ其ノ架設シタル電話線路ニ他ノ特設電話加入者ノ電話線ヲ併架スルコトアルモ之ヲ拒ムコトヲ得ス

第十九條　明治四十一年統監府令第三十七號電話規則第二條、第四條、第五條、第六條第一項、第十一條乃至第十三條、第十五條、第十六條、第十七條第三號、第十八條乃至第二十一條、第二十三條、第二十五條第二號乃至第四號、第三十六條、第三十七條、第三十九條乃至第四十一條、第四十二條第三號、第四十六條乃至第四十八條、第四十九條第一項第五號、第五十條乃至第五十五條、第五十七條、第五十八條第一項第二號第五號乃至第九號、第五十九條第一號第三號、第六十條乃至第六十二條、第六十四條乃至第六十九條ノ規定ハ本規則ニ之ヲ準用ス但シ同規則中加入申込者トアルハ加入申請者、請求書トアルハ申請書、電話使用料トアルハ電話交換料、附加使用料トアルハ附加交換料、各書式宛名郵便局所トアルハ通信管理局長ニ該當ス

附　則

第二十條　本規則ハ明治四十一年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

第二十一條　本規則施行前ニ於ケル加入申請ハ明治四十一年十月末日迄ニ之ヲ取消スコトヲ得此ノ場合ニ於テハ加入登記料ハ之ヲ還付ス

第二十二條　本規則施行前ニ於テ加入申請又ハ加入ヲ爲シタル者ニシテ明治四十一年十月末日迄ニ其ノ加入申請又ハ加入ノ取消ノ請求ヲ爲ササル者ハ本規則ニ依リ認可シタルモノト看做ス

（第一號書式）

特設電話加入申請書

特設電話規則ニ從ヒ何地電話交換ニ加入致度左ニ電話機設置場所及電話機設置場所ト郵便局所トノ距離ヲ記載シ（別紙承諾書相添ヘ）此段申請候也

年　月　日

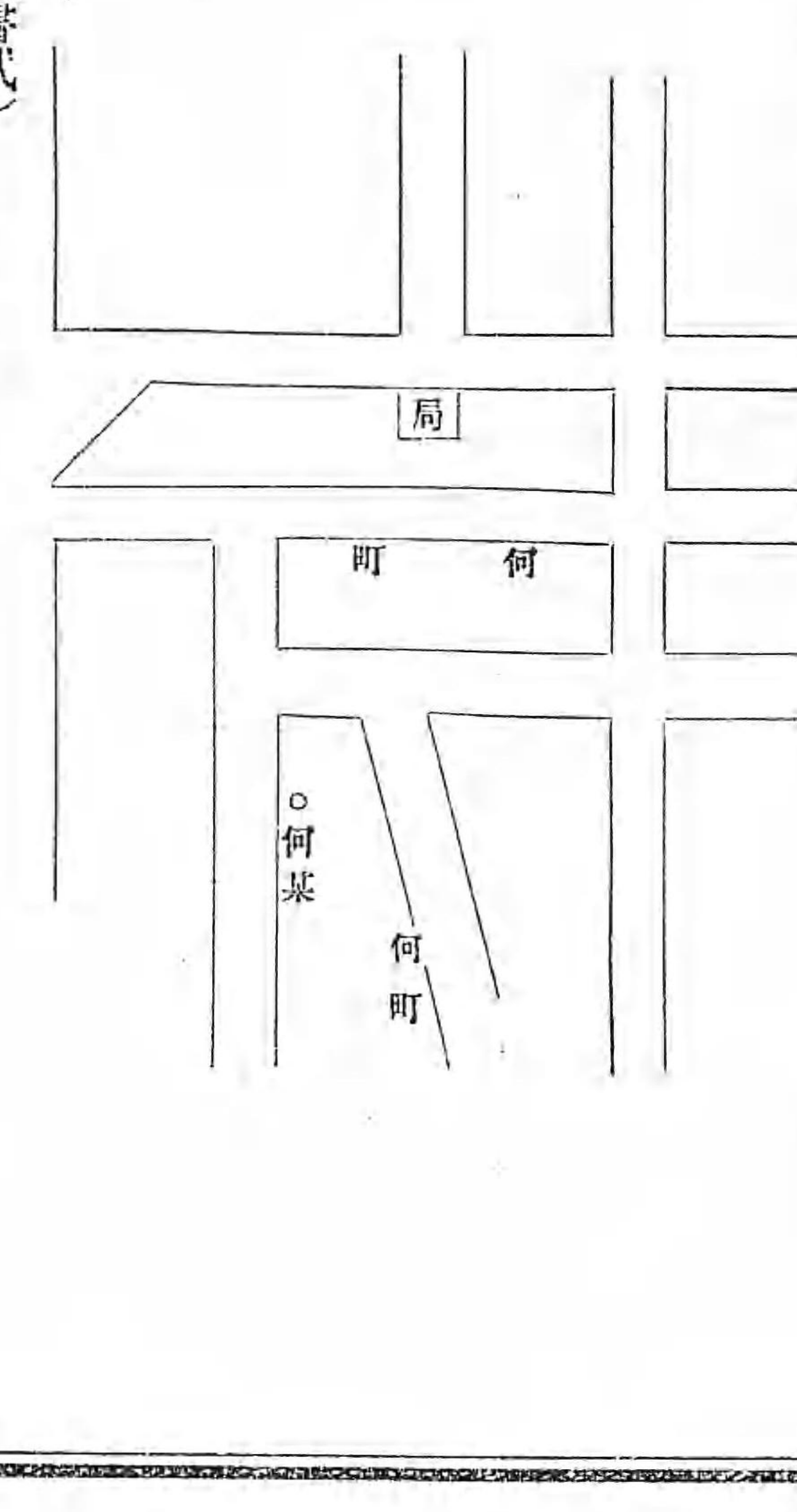
住所職業　何　某　印

統監府通信管理局長宛

一電話機設置場所　何民團地區（何府郡）何町（何坊面社）何番地（何洞里村何統何戶）
家屋所有者　何　誰

一郵便局所ト電話機設置場所トノ距離何何

注意　申請書ニハ當該局所及電話機設置場所ノ位置及其ノ關係町村名ヲ詳記セル圖面ヲ左ノ樣式ニ依リ調製添附スヘシ



（第二號書式）

電話機（又ハ附屬物品）變更申請書

電話番號（加入申請中ノモノハ番號ヲ記載スルヲ要セス）

右電話加入ノ（又ハ加入申請書ニ依リ設置ノ）普通電話機（又ハ甲號（又ハ乙號）卓上電話機附屬物品ナルトキハ其ノ機械名）ヲ甲號（又ハ乙號）卓上電話機（又ハ普通電話機附屬物品ナルトキハ其ノ機械名）ニ變更致度此段及申請候也

年　月　日

住所職業　何　某　印

統監府通信管理局長御中

（第三號書式）

官廳用（私設）電話機電話交換線接續申請書

電話機設置場所　何　何（何番室又ハ何掛等ノ名稱ヲ以テ其ノ位置ヲ示シ得ルモノハ其ノ名稱）

右私（又ハ官廳名）施設ノ電話機ヲ何地電話交換線ニ接續通話致度此段及申請候也

追テ施設機械、附屬物品、線條ノ種類、線路ノ種別、回線方式及維持方法等ハ左ノ通ニ有之候

一施設機械、附屬物品ノ種類及箇數（電話交換線ニ依リ接續スル場合ハ該交換機ノ容量及其ノ現ニ收容セル電話機數ヲモ記載スヘシ）　何　何

一施設線路ノ種別、線條ノ種類及回線方式　何　何

第7579号　本文

一維持ノ方法　何　何

年　月　日

住所職業　何　某　印

注意　本申請書ニハ各機械ノ位置、接續及同線方法ヲ詳記シタル圖面ヲ添附スヘシ

統監府通信管理局御中

統監府令第四十號

官廳用、軍用及私設電信電話並特設電話維持規程左ノ通定ム

明治四十一年九月十六日

統監代理　副統監　子爵曾禰荒助

官廳用、軍用及私設電信電話並特設電話維持規程

第一條　官廳用、軍用及私設電信電話並特設電話ニシテ統監府通信管理局（以下單ニ通信管理局トス）ニ其ノ維持ヲ依託スルモノハ本規程ニ依ルヘシ

第二條　官廳用、軍用及私設電信電話並特設電話ノ施設者ニシテ其ノ維持ヲ通信管理局ニ依託スルモノハ左ノ維持料ヲ納ムヘシ但シ電話機及附屬物品並電信機及電池ノ維持ハ電線維持ノ依託ヲ爲シタルモノニ限ル

一　電信電話線ノ維持料

一　電信電話維持料ハ通信管理局線路ニ併架シタル場合ト否トヲ問ハス線條一條里程一丁毎ニ單線式ニ在リテハ年額金一圓五十錢複線式ニ在リテハ年額金一圓二十錢トス其ノ一丁未滿ノ端數亦同シ

二　電話機及附屬物品ノ維持料

一　電話機（電池及附屬品ヲ含ム）　一箇毎ニ　年額金八圓

二　卓上電話機（同）　一箇毎ニ　年額金十二圓

三　電鈴　一箇毎ニ　年額金一圓二十錢

四　受話器（筒形又ハ時計形）　一箇毎ニ　年額金一圓二十錢
　　　　（頭戴）　一箇毎ニ　年額金三圓五十錢

三　電信機及電池ノ維持料

一　電信機　一箇毎ニ　年額金二十四圓

二　電池　裝置場所一箇所ニ付　十箇以內年額金十五圓　十一箇以上ハ十箇迄ヲ增ス每ニ年額金十二圓

電信電話線路ノ土地使用料、受託ノ維持上ニ直接ノ原因ヲ有セサル線路機械ノ移轉變更等ニ要スル費用ハ前項維持料金中ニ之ヲ包含セス

第三條　私設電信規則第二十條第二項ノ維持料左ノ如シ但シ電信機又ハ電話機ニ報時機ノ裝置ヲ爲シタルモノハ其ノ報時機ノ維持料ハ之ヲ要セス

一　電信機（屋內電線電池及附屬品共）　一箇ニ付　年額金二百圓

二　電話機（同）　一箇ニ付　年額金百圓

三　報時機（同）　一箇ニ付　年額金十五圓

第四條　第二條及第三條ノ維持料ハ通信管理局ノ指定スル通信官署ニ之ヲ納付スヘシ但シ郵便局ニ電線ノ連接スル場合ニ在リテハ該郵便局ニ之ヲ納付スヘシ

第五條　維持料ハ年額ヲ四分シ左ニ揭クル四期ノ別ニ從ヒ每期ノ初月十日迄ニ之ヲ納付スヘシ但シ官廳ニ限リ特ニ後納ト爲スコトヲ得

第一期　自四月一日　至六月三十日
第二期　自七月一日　至九月三十日
第三期　自十月一日　至十二月三十一日
第四期　自一月一日　至三月三十一日

前項料金ハ當該會計年度內ニ於テ一時ニ其ノ年度ニ屬スル二期分以上ヲ前納スルコトヲ得

第六條　一期ノ中途ニ於テ電信法第二條第四號ニ依ル私設電信ノ通報（以下單ニ通報トス）ヲ開始シタルトキ又ハ維持ヲ依託シタルトキハ其ノ初期ノ維持料ハ其ノ通報開始又ハ維持依託ノ日ヨリ其ノ期ノ末日ニ至ルマテノ日數ニ應シ年額金ノ日割ヲ以テ其ノ開始又ハ依託ノ日ヨリ十五日以內ニ之ヲ納付スヘシ

第七條　一期ノ中途ニ於テ通報又ハ維持依託ヲ廢止若ハ中止シタル場合ト雖其ノ期ノ維持料ハ之ヲ減免セス

一期ノ初日ヨリ通報又ハ維持依託ヲ廢止若ハ中止スル場合ニ於テモ其ノ施設者又ハ依託者ヨリ前期ノ末日ヨリ十五日以前ニ維持料納付ノ通信官署ニ其ノ旨屆出ヲ爲ササルトキハ其ノ期ノ維持料ハ之ヲ徵收ス

第八條　維持依託中線路ノ開廢、變更、機械種別又ハ電池數ノ變更等ニ依リ維持料ノ低減スルコトアルモ其ノ期ノ維持料ハ之ヲ變更セス其ノ增額シタルトキハ年額金ノ日割ヲ以テ其ノ差額ヲ徵收ス

第九條　維持依託者ノ過失、懈怠又ハ故意ニ因リ其ノ使用スル電信電話線機器其ノ他附屬物品ヲ亡失、毀損シタルトキハ其ノ補充又ハ修繕ニ要スル費用ハ依託者ノ負擔トス

不可抗力ニ因リ電信電話線ノ復舊工事ニ著シキ費用ヲ要シタルトキハ依託者ヲシテ其ノ費用ヲ支辨セシムルコトアルヘシ

第十條　通信管理局ハ維持依託ヨリ生スル事項ニ付テハ損害賠償ノ責ニ任セス

附　則

第十一條　本規程ハ明治四十一年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

明治三十九年九月統監府令第三十九號官廳用、軍用及私設電信電話維持規程ハ之ヲ廢止ス

第十二條　本規程施行前從來ノ契約又ハ命令ニ依リタルモノハ本年度內ニ限リ本規程ニ依ラス從前ノ契約又ハ命令ニ依ル

統監府令第四十一號

電信電話ニ關スル別使配達料及艀船配達料左ノ通定メ來十月一日ヨリ之ヲ施行ス明治三十九年十二月統監府告示第百五十三號ハ本府令施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

明治四十一年九月十六日

統監代理　副統監　子爵曾禰荒助

配達局名	艦船碇泊ノ港灣名	艀船配達料
釜山局	釜山港	圓錢 二〇〇
馬山局	馬山港	二〇〇
仁川局	仁川港	一 〇〇〇
鎭南浦局	鎭南浦港	三〇〇
元山局	元山港	四〇〇
龍岩浦局	龍岩浦錨地多獅島	六 〇〇〇
	斗流浦	一 〇〇〇
	サンドウロウ	二 〇〇〇

別紙配達料及前記以外ノ各地ニ宛テタルモノノ艀船配達料ハ金五十錢トシ配達實費之ニ超過シタルトキハ其ノ實費額ヲ受信人ヨリ徵收ス

統監府令第四十二號

理事廳看守任用及給與規則左ノ通定ム

明治四十一年九月二十二日

統監代理　副統監　子爵曾禰荒助

理事廳看守任用及給與規則

第一條　理事廳看守ノ任用ニ付テハ看守採用規則ヲ準用ス

第二條　理事廳看守ノ俸給、特別手當及勤務手當ニ付テハ奏任及判任待遇監獄職員給與令中看守ニ關スル規定ニ依ル

特別手當ハ疾病又ハ私事故障ノ爲全ク執務セサル月ハ之ヲ給セス

第三條　理事廳看手ニハ毎月月俸ト同額ノ在勤手當ヲ給ス但シ月俸十五圓未滿ノ者ニハ十五圓ヲ給ス

在勤手當ハ任地ニ到著シタル翌日ヨリ之ヲ給ス

本邦內ニ滯在三箇月ニ及ヒタルトキハ其ノ以後ハ在勤手當ヲ給セス

第四條　理事廳看守ノ俸給及手當ノ支給ニ付テハ奏任及判任待遇監獄職員給與令ニ定ムルモノノ外文官俸給支給細則ノ例ニ依ル但シ在勤手當ニ在リテハ奏任及判任待遇監獄職員給與令第十三條ノ場合ハ此ノ限ニ在ラス

第五條　理事廳看守ニハ月額十圓以下ノ宿料ヲ給ス但シ官舍內ニ居住セシムルトキハ此ノ限ニ在ラス

第六條　理事廳看守ノ療治料、給助料及弔祭料ニ付テハ巡査看守療治料、給助料及弔祭料給與令ヲ適用ス

第七條　理事廳看守ノ旅費ハ外國旅費規則ニ依リ傭員ノ額ニ準シテ之ヲ給ス」

前項ニ依リ理事廳看守ニ給スル日當ハ其ノ旅行中ノ日數ニ應シ之ヲ給シ支度料ハ韓國ニ赴任スル場合、韓國內ニ於テ任地ヲ轉スル場合及本邦內ヘ轉任スル場合ニ於テ之ヲ給ス

第八條　理事廳看守ノ本邦內ニ於ケル旅費ニ付テハ警察官吏其ノ他內國旅費概則中看守ニ關スル規定ヲ準用ス

第九條　理事廳看守ノ給與品及貸與品ニ付テハ看守給與品及貸與品規則ヲ準用ス

附　則

第十條　本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十年統監府令第十九號ハ之ヲ廢止ス

第十一條　本令施行ノ際俸給其ノ他ノ給與ニ付別ニ辭令ヲ受ケサル者ハ現ニ受クル額ヲ給セラルルモノトス

○訓令

陸軍省訓令第三十一號　陸軍一般

明治四十一年度當省所管歲入歲出科目表中左記ノ通增設ス

明治四十一年九月二十九日　陸軍大臣　子爵寺內正毅

歲出經常部　△印增設

款	項	目	節
軍事費			
	修繕費	末位ニ	
	△	臺北陸軍宿舍其他移轉模樣替	

農商務省訓令第二十七號　林區署

明治三十四年農商務省訓令第四號林區署旅費規則中左ノ通改正ス

明治四十一年九月二十九日　農商務大臣　男爵大浦兼武

第五條第一號中「小林區署署員」ノ下ニ「（沖繩小林區署長及同小林區署詰員ヲ除ク）」ヲ加フ

第六條中ヘ左ノ一項ヲ加フ

沖繩小林區署長及同小林區署詰員部內ニ出張シタルトキハ普通旅費ヲ支給ス

乙號表ノ末ニ左ノ一號ヲ加フ

一沖繩小林區署ノ保護區詰員タル判任官ノ日額ハ一圓ヲ支給ス

第7579号 本文

○達

陸達第六十三號

陸軍治罪法執行規則中左ノ通改正シ明治四十一年十月一日ヨリ施行ス

明治四十一年九月二十九日　陸軍大臣　子爵寺内正毅

第一條ノ二　刑ノ執行猶豫ヲ取消ス可キ事由アルトキハ理事陸軍檢察官若ハ陸軍治罪法第三十二條第一項ニ記載シタル諸官關係書類ヲ添ヘ其ノ旨ヲ陸軍大臣若ハ長官ニ具申スヘシ

刑法第五十二條若ハ第五十八條ノ規定ニ依リ刑ヲ定ム可キトキモ亦前項ニ同シ

第三條ノ二　陸軍刑法施行法第二十七條第二十九條ニ依リ判決ヲ爲ス可キトキハ前二條ノ例ニ依ル

第十三條　判士長理事證人鑑定人等ニ罰金科料ヲ科スルトキハ錄事ト共ニ法廷ニ臨ミ之ヲ宣告スヘシ判士長宣告ヲ爲ストキハ理事之ニ立會フヘシ

呼出ニ應セサルニ因リ罰金科料ヲ科セラレタル者營內居住ノ者ナルトキハ理事宣告書ヲ本人所屬ノ官廨若ハ本隊ニ移シテ其ノ送達ヲ求メ其ノ罰金科料ヲ納完セシムヘキ旨ヲ照會シ營外居住ノ者ナルトキハ直チニ宣告書ヲ其ノ住所ニ送達スヘシ

判士長ノ科シタル罰金科料ノ宣告書ハ判士長錄事署名捺印シ理事ノ科シタル罰金ノ宣告書ハ理事錄事署名捺印スヘシ

罰金科料ノ宣告ヲ爲シ若ハ罰金ノ宣告ヲ取消シタルトキハ第二十九條ノ例ニ從ヒ理事之ヲ本人所屬ノ官廨若ハ本隊及市町村長ニ通報スヘシ

證人鑑定人等ヲ勞役場ニ留置スル手續及留置期間內罰金科料ヲ納完シタル場合ノ處分ハ第三十一條及第三十二條ノ例ニ依ル

第二十五條第一項中「放免ス可シ」ノ下ニ「刑ノ執行猶豫ノ言渡アリタルトキ亦同シ」ヲ加ヘ第二項中「交付ス可シ」ノ下ニ「刑ノ執行猶豫ノ言渡ヲ取消シタルトキ亦同シ」ヲ加フ

第二十七條第一項末段「陸軍大臣ニ具申ス可シ」ノ下ニ「刑ノ執行猶豫ノ言渡ヲ受ケタル者及其言渡ノ取消ヲ受ケタル者帶勳者ニ係ルトキ亦同シ」ヲ加フ

第二十九條中「郡長」及「區戸長」ヲ「市町村長」ニ改ム

第二十九條ノ二　陸軍刑法施行法第二十七條乃至第二十九條ニ依リ判決ノ言渡ヲ爲シタルトキハ前條ノ例ニ依ル但シ刑ノ執行猶豫ノ言渡ヲ取消シタル軍法會議刑ノ執行猶豫ヲ言渡シタル軍法會議ト異ルトキハ猶豫ヲ言渡シタル軍法會議ニモ通報スヘシ

第二十九條ノ三　刑ノ執行猶豫ノ言渡ヲ受ケタル者ノ所屬ニ異動アリタルトキハ舊所屬長官ヨリ宣告書（別ニ刑ノ執行猶豫ノ言渡ヲ爲シタルモノナルトキハ其ノ言渡書トモ）ヲ添ヘ本人ノ刑ノ執行猶豫中ナル旨ヲ新所屬長官ニ通知スヘシ

前項ノ場合ニ於テ舊所屬長官猶豫ヲ言渡シタル軍法會議ノ長官ニ非サルトキハ本人ノ所屬ニ異動アリタル旨ヲ猶豫ヲ言渡シタル軍法會議ノ長官ニモ通知スヘシ

第三十條中「期限內ニ」ヲ削ル

第三十一條　勞役場留置ノ言渡ヲ執行スルトキハ理事錄事ト共ニ法廷ニ臨ミ其ノ旨ヲ被告人ニ告知シ勞役場ニ交付スヘシ

留置期間內罰金科料ヲ納完シタルトキハ理事放免ノ處分ヲ爲スヘシ

被告人遠隔ノ地ニ在ルトキハ勞役場留置ノ言渡書ヲ被告人所在地ノ軍法會議ノ理事ニ送付シ其ノ處分ヲ求ムヘシ但シ其ノ地ニ勞役場ナキトキハ言渡書ヲ被告人所屬ノ長官隊長若ハ其ノ地ノ憲兵隊長ニ送付シ其ノ執行ヲ求ムヘシ

長官隊長若ハ憲兵隊長ハ營倉若ハ留置場ニ於テ其ノ執行ヲ爲スヘシ

留置期間內罰金科料ヲ納完シタルトキハ勞役場留置ノ言渡書ノ送付ヲ受ケタル理事長官隊長若ハ憲兵隊長ハ放免ノ處分ヲ爲シ其ノ旨ヲ原軍法會議ノ理事ニ通報スヘシ

第三十二條　理事前條ニ依リ被告人ヲ勞役場ニ交付シ若ハ放免ノ處分ヲ爲シタルトキハ其ノ旨ヲ長官隊長監獄長ニ通報スヘシ

憲兵隊長前條ノ處分ヲ爲シタルトキハ其ノ旨ヲ長官隊長ニ通報スヘシ

陸達第六十四號

陸軍假出獄取締細則左ノ通定メ明治四十一年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十一年九月二十九日　陸軍大臣　子爵寺内正毅

陸軍假出獄取締細則

第一條　假出獄ヲ許サレタル者ヲ釋放セムトスルトキハ陸軍監獄長ハ其ノ復歸スヘキ部隊ニ到著ノ日ヲ定メ之ヲ證票ニ記載スヘシ

假出獄ヲ許サレタル者ハ前項ニ依リ證票ニ記載セラレタル日ニ部隊ニ出頭シ證票ニ部隊長ノ認印ヲ受クヘシ旅次證書ノ付與ヲ受ケタル者ナルトキハ其ノ證書ヲ部隊長ニ差出スヘシ

第二條　假出獄ヲ許サレタル者天災、疾病其ノ他ノ事故ニ依リ證票ニ記載セラレタル日ニ部隊ニ到著スルコト能ハサリシトキハ其ノ事由ヲ部隊長ニ申立ツヘシ

第三條　證票ヲ交付シタル陸軍監獄長ハ假出獄ヲ許サレタル者ノ所屬部隊ニ到著スヘキ日ヲ豫メ其ノ部隊長ニ通報スヘシ

第四條　假出獄ヲ許サレタル者ノ所屬ニ異動アリタルトキハ舊所屬部隊長ハ之ヲ證票ヲ交付シタル陸軍監獄長及所屬部隊長ニ通報スヘシ

前項ノ場合ニ於テ舊所屬部隊長ハ豫メ所屬部隊ニ到著スヘキ日ヲ定メ本人ニ告知シ且之ヲ所屬部隊長ニ通報スヘシ

第五條　假出獄ヲ許サレタル者所屬部隊ニ到著スヘキ日ニ到著セサリシ場合ニ於テハ所屬部隊長ハ意見ヲ附シテ證票ヲ交付シタル監獄長ニ通報スヘシ

第六條　所屬部隊長ハ假出獄ヲ許サレタル者ニ對シ特ニ監督ヲ嚴ニシ三月每ニ行狀ノ良否、服務ノ勉否其ノ他ノ事項ニ付調査書ヲ作リ證票ヲ交付シタル陸軍監獄長ニ通報スヘシ

第七條　假出獄ヲ許サレタル者陸軍監獄令第二條ニ記載シタル身分ヲ失フヘキ場合ニ於テハ所屬部隊長ハ其ノ身分ヲ失フヘキ日及身分ヲ失ヒタル後ノ住所地ヲ豫メ證票ヲ交付シタル陸軍監獄長ニ通報シ且其ノ通報書ト共ニ證票ヲ之ニ送付スヘシ

第八條　所屬部隊長ニ於テ假出獄ヲ許サレタル者刑法第二十九條第一項第一號乃至第三號ニ該ルコト、陸軍懲罰令若ハ文官懲戒令ニ依リ處罰セラレタルコト又ハ本則ニ違反シタルコトヲ知リタルトキハ意見ヲ附シ證票ヲ交付シタル陸軍監獄長ニ通報スヘシ

第九條　假出獄處分ノ取消アリタルトキハ證票ヲ交付シタル陸軍監獄長ハ其ノ旨ヲ本人ノ所屬部隊長ニ通報スヘシ

第十條　假出獄處分ノ取消ヲ受ケタル者證票ヲ交付シタル陸軍監獄以外ノ陸軍監獄ニ在監中ナルトキハ明治三十六年陸達第五十六號ノ規定ニ從ヒ其ノ監獄ニ於テ刑ノ執行ヲ爲スコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ證票ヲ交付シタル陸軍監獄長ハ裁判宣告書及假出獄取消書ノ寫ヲ刑ノ執行ヲ爲スヘキ陸軍監獄ニ送付スヘシ

第十一條　前條ニ依リ陸軍監獄ニ於テ刑ノ執行ヲ終了シタルトキハ其ノ監獄長ハ證票ヲ交付シタル陸軍監獄長ニ其ノ旨ヲ通報スヘシ

第十二條　假出獄處分ノ取消ヲ受ケタル者陸軍監獄ニ在監セサルトキハ證票ヲ交付シタル陸軍監獄長ハ裁判宣告ヲ爲シタル軍法會議ノ理事ニ必要ノ書類ヲ送付シ逮捕ヲ求ムヘシ

第十三條　假出獄處分ノ取消ヲ受ケタル者ニ對シ逮捕狀ヲ執行シタルトキハ理事ハ關係書類ヲ添ヘ本人ヲ證票ヲ交付シタル陸軍監獄ニ送付スヘシ

第十四條　假出獄處分ノ取消ヲ受ケタル者ハ證票ヲ還納スヘシ

第十五條　假出獄ヲ許サレタル者死亡シタルトキハ所屬部隊長ハ其ノ旨ヲ證票ヲ交付シタル陸軍監獄長ニ通報スヘシ

前項ノ通報ヲ受ケタル陸軍監獄長ハ所管長官ヲ經テ其ノ旨ヲ陸軍大臣ニ申報スヘシ

○告示

內務省告示第九十八號

一明治四十二年九星便　一册　大阪市南區心齋橋筋一丁目五百十五番屋敷　神山昇　發行

右出版物ハ略本暦類似ト認ムルヲ以テ其ノ發賣頒布ヲ禁ス

明治四十一年九月二十九日　內務大臣　男爵法學博士平田東助

陸軍省告示第二十五號

明治四十二年召募スヘキ士官候補生、主計候補生、中央幼年學校豫科生徒、地方幼年學校生徒ノ人員及志願者心得左ノ通定ム

明治四十一年九月二十九日　陸軍大臣　子爵寺内正毅

士官候補生

採用スヘキ豫定人員

歩兵	三百四十五人	工兵	三十四人
騎兵	二十三人	輜重兵	四十一人
野砲兵	五十四人	計	五百八人
重砲兵	十一人		

主計候補生　七十人

中央幼年學校豫科／地方幼年學校生徒　每校五十人　計　三百人

志願者心得

一　志願者ノ資格

(一)志願シ得ヘキ者ノ生年月日

士官候補生志願者　明治二十一年四月一日（現役各兵科下士ヨリノ志願者ニ在リテハ同十七年六月一日）ヨリ同二十四年四月一日迄ニ出生ノ者

主計候補生志願者　明治二十一年四月一日（現役經理部下士ヨリノ志願者ニ在リテハ同十七年九月一日）ヨリ同二十四年四月一日迄ニ出生ノ者

中央幼年學校豫科／地方幼年學校生徒志願者　明治二十七年四月一日ヨリ同二十九年四月一日迄ニ出生ノ者

(二)士官候補生、主計候補生ヲ志願シ得ヘキ者

(イ)中學校、學習院中等科、高等學校、專門學校本科（音樂及美術ニ關スル學術技藝ヲ教授スル專門學校ヲ除ク）、實業專門學校本科卒業者及明治四十二年七月十日迄ニ以上ノ諸學校ヲ卒業スヘキ者

(ロ)一年志願兵ニシテ隊長ノ保證ヲ得タル者

(ハ)陸軍現役各兵科（主計候補生志願者ニ在リテハ陸軍現役經理部）下士中品行方正志操確實ノ者ニシテ隊長又ハ所屬長官ノ保證ヲ得タル者

(三)採用セサル者

(イ)妻アル者

(ロ)本人竝父若ハ戸主家資分散又ハ破產ノ宣告ヲ受ケ未タ復權ヲ得サル者及身代限ノ處分ヲ受ケ辨償ノ義務ヲ終ヘサル者

(ハ)禁錮ノ刑ニ處セラレタル者及賭博犯ノ處分ヲ受ケタル者

(ニ)素行修ラサル者

第7579号 本文

二　檢査場

左ノ各地ニ檢査場ヲ設ク

第一師管	東京	横須賀	甲府	佐倉	
第二師管	福島	若松	仙臺	山形	
第三師管	名古屋	岐阜	桑名	津	
第四師管	大阪	篠山	堺	和歌山	
第五師管	廣島	松山	山口	岩國	
第六師管	熊本	八代	鹿兒島	都城	沖縄
第七師管	札幌	函館	旭川		
第八師管	青森	盛岡	秋田	弘前	
第九師管	金澤	鯖江	高岡	富山	
第十師管	姫路	鳥取	福知山	神戸	
第十一師管	丸龜	德島	善通寺	高知	
第十二師管	中津	大分	小倉	福岡	鷄知
第十三師管	新發田	村松	松本	高田	
第十四師管	水戸	宇都宮	高崎	熊谷	
第十五師管	豐橋	飯田	靜岡	濱松	
第十六師管	大津	敦賀	京都	奈良	
第十七師管	福山	岡山	濱田	松江	
第十八師管	大村	佐賀	久留米	高瀬	

陸軍部外ノ士官候補生、主計候補生志願者竝中央幼年學校豫科生徒及地方幼年學校生徒志願者ハ右ノ檢査場中ニ就キ便宜選定スヘシ但シ居住地所在師管外ノ檢査場ヲ選定スルヲ得ス

尙臺灣、樺太、清國及韓國所在諸部隊ニ在リテ士官候補生、主計候補生ヲ志願スル者ノ爲ニ左ノ各地ニ檢査場ヲ設ク

臺灣	臺北	臺南			
樺太	コルサコフ				
清國	遼陽	旅順	北京	天津	山海關
韓國	京城	平壤	咸興		

三　冀望隊及入校學校

士官候補生志願者ハ成ルヘク其ノ冀望ノ軍隊ニ配賦スヘシト雖人員ノ關係上時トシテ他ノ軍隊ニ配賦スルコトアルヘシ

士官候補生ヲ入隊セシムヘキ兵種隊號左ノ如シ

歩兵　近衛歩兵第一乃至第四聯隊及歩兵第一乃至第七十二聯隊
騎兵　近衛騎兵聯隊及騎兵第一乃至第二十六聯隊
野砲兵　近衛野砲兵聯隊及野砲兵第一乃至第二十四聯隊
重砲兵　第一乃至第六聯隊
工兵　鐵道聯隊及近衛工兵大隊、工兵第一乃至第十八大隊
輜重兵　近衛輜重兵大隊及輜重兵第一乃至第十八大隊

中央幼年學校豫科生徒及地方幼年學校生徒志願者ハ其ノ召募區域ノ學校ニ入學セシムヘキモノナリト雖合格人員過不足ノ關係ニ依リ他校ニ入學セシムルコトアルヘシ故ニ豫メ冀望ノ學校ヲ願書ニ記載スヘシ

中央幼年學校豫科生徒及地方幼年學校生徒ノ召募區域左ノ如シ

第一第十三第十四師管內居住ノ者ハ	中央幼年學校
第二第七第八師管內居住ノ者ハ	仙臺地方幼年學校
第三第九第十五師管內居住ノ者ハ	名古屋地方幼年學校
第四第十第十六師管內居住ノ者ハ	大阪地方幼年學校
第五第十一第十七師管內居住ノ者ハ	廣島地方幼年學校
第六第十二第十八師管內居住ノ者ハ	熊本地方幼年學校

四　召募試驗學科程度

士官候補生、主計候補生志願者

中學校卒業ノ程度ニ於テ行フ但シ外國語ハ英、佛、獨、露ノ內志願者ノ冀望スルモノノ一種ヲ試驗ス

（中央幼年學校豫科　地方幼年學校）生徒志願者

中學校第一學年終業ノ程度ニ於テ行フ其ノ試驗格左ノ如シ

讀書	漢字交リ文ノ講讀	算術	複比例迄
作文	漢字交リ文、書翰文	地理、歷史	日本ノ地理、歷史ノ大要

五　檢査及試驗期日

身體檢査　學科試驗期日前ニ之ヲ行フ其ノ時日ハ師團長ノ達ニ依リ承知スヘシ

學科試驗　明治四十二年四月十一日開始

六　願書ヲ差出スヘキ期日竝注意

士官候補生、主計候補生志願者

陸軍部外ノ志願者ハ明治四十一年十一月三十日迄ニ居住地ノ市町村長（陸軍召募規則第十八條ニ依リ之ニ準スヘキ者ヲ含ム以下之ニ同シ）ニ差出スヘシ

陸軍部內ノ志願者ハ明治四十一年十二月十日迄ニ所屬部隊長ニ差出スヘシ

（中央幼年學校豫科　地方幼年學校）生徒志願者

明治四十一年十一月三十日迄ニ居住地ノ市町村長ニ差出スヘシ但シ本籍地召募區域外ニ居住シ本籍地召募區ノ幼年學校ニ入學セントスル者ハ本籍地ノ市町村長ニ差出スヘシ尙檢査ヲ居住地方ニ於テ受ケントスルトキハ願書ニ其ノ旨ヲ記載スヘシ

七　願書竝之ニ添附スヘキ書類

士官候補生、主計候補生志願者

陸軍部外ノ志願者ハ父兄親族其ノ他一家ヲ爲ス身元確實ノ者二名ヲ以テ保證人（保證人ハ互ニ戸籍ヲ異ニスルヲ要ス）ト爲シ願書ニ戸籍ノ謄本、履歷書及學校長ノ證明書（陸軍召募規則第四號書式）ヲ添附スヘシ（士官候補生志願者ニシテ入隊スヘキ隊長ノ承認書（陸軍召募規則第六號書式）ヲ請ケタル者ハ亦之ヲ添附スルヲ要ス）

陸軍部內ノ志願者ハ身元保證人ヲ要セス願書ニ戸籍ノ謄本及履歷書ヲ添附スヘシ（一年志願兵ヨリ士官候補生ヲ志願スル者ニシテ入隊スヘキ隊長ノ承認書ヲ請ケタル者ハ之ヲ願書ニ添附スルヲ要ス）

（中央幼年學校豫科　地方幼年學校）生徒志願者

志願者ハ父兄親族其ノ他一家ヲ爲ス身元確實ノ者二名ヲ以テ保證人（保證人ハ互ニ戸籍ヲ異ニスルヲ要ス）ト爲シ願書ニ戸籍ノ謄本及履歷書ヲ添附スヘシ

任官後十五年以上隊附職務ニ精勤シタル陸軍下士ノ兒子又ハ家督相續者タル養子ナルトキハ其ノ父滿期歸鄕又ハ死歿ノ際軍隊官衙學校ノ長官ヨリ付與セラレタル勤務證明書寫ヲ添附スルヲ要ス

志願者中願書ヲ差出シタル後住所ヲ轉シタル爲檢査場ノ變更ヲ望ム者ハ新檢査場及新住所ヲ明記シタル願書ヲ最初出願ノ手續ニ依リ願出ヘシ但シ其ノ願書三月十日迄ニ敎育總監部ニ到著セサルモノハ採用セス

八　志願者異動屆

志願者願書ヲ差出シタル後入隊又ハ入校迄ノ間ニ於テ轉籍、轉住、氏名變更、犯罪、死亡其ノ他願書類ニ記載ノ事項及身元保證人ニ異動ヲ生シタルトキハ本人又ハ身元保證人ヨリ最初願出ノ手續ニ依リ速ニ屆出ヘシ

九　志願者宿所屆

志願者ハ檢査期日前檢査地ニ到著シ書面ヲ以テ其ノ止宿所ヲ師團長ヨリ指定セラレタル場所ニ屆出ヘシ（屆書ハ試驗開始前ニ到著セサル等ノコトナキ樣成シ得ル限リ自ラ持參出頭スヘシ）但シ檢査地ニ居住ノ者ト雖陸軍部外ノ志願者ニ在リテハ同樣屆出ヘシ

十　志願者ノ服裝

身體檢査及學科試驗ヲ受クル爲出場スルトキハ洋服ヲ著用スルカ又ハ和服ニ袴ヲ穿ツヘシ

十一　志願者ノ寫眞

志願者ハ受檢ノ爲新ニ撮影シタル寫眞ヲ携帶シ身體檢査ノ際之ヲ檢査醫官ニ差出スヘシ其ノ寫眞ハ手札形紙寫ニ限リ見苦シカラサル服裝ヲ爲シ單身脫帽ニテ撮影シタルモノナルヲ要ス寫眞ノ裏面ニ「某府（縣）華（士）族（平民）何某」ト自書スヘシ

十二　事故屆出

疾病若ハ已ムヲ得サル事故ヲ生シ檢査場ニ出頭シ難キトキハ事由ヲ具シテ屆出ヘシ但シ學科試驗ノ際遲刻若ハ闕席スル者ハ事由ヲ問ハス試驗ヲ停止ス

十三　願書竝履歷書式

士官候補生（主計候補生）願（用紙美濃紙）

某　儀

士官候補生（主計候補生）志願ニ付御許可被成下度御採用ノ上ハ御規則嚴重ニ相守リ誓テ陸軍ニ從事可仕候仍テ戸籍ノ謄本、履歷書、證明書（前年證明書ヲ添附セシ者ハ證明書トアル下ニ「明治何年何師團ヘ出願ノ際添附ス」ト割註ニテ記スヘシ）、入隊承認書（本書ハ士官候補生志願者中入隊ノ承認書ヲ得タル者ニ要スルモノニシテ之ヲ得サル者ハ入隊承認書ノ五字ヲ削ル）相添ヘ身元保證人連署此段奉願候也

年　月　日

府（縣）郡（市）町（村）番地住
府（縣）郡（市）町（村）番地寄留

府縣族籍職業（官職名等以下之ニ同シ）
戸主（戸主ニアラサレハ戸主誰子弟）（氏名ノ字體ハ戸籍謄本ノ字體ト相違ナキヲ要ス）　氏　名　印
年　月　日生

身元保證人
府縣族籍職業
府（縣）郡（市）町（村）番地住（寄留）
（出願ノ當時二十歲未滿ノ志願者ニ在リテハ身元保證人二名ノ內一名ハ親權ヲ行フ者ナルヲ要シ「親權者」若ハ「後見人」ト頭書スヘシ）　氏　名　印
同　氏　名　印

何師團長（主計候補生志願者ニ在リテハ陸軍省經理局長）爵氏名殿

追テ左ノ通冀望致候也

受驗外國語　英（獨）（佛）（露）語
受驗地　何地
冀望兵種隊號（士官候補生志願者ニ限ル）　第一何兵何隊（入隊スヘキ隊長ノ承認ヲ得タル者ハ其ノ旨ヲ記スヘシ）　第二何兵何隊

陸軍部內ノ志願者ニ在リテハ本書式ニ準シ調製スヘシ

陸軍中央幼年學校豫科（陸軍地方幼年學校）生徒願（用紙美濃白紙）

某　儀

中央幼年學校豫科（地方幼年學校）生徒志願ニ付御許可被成下度御採用ノ上ハ御規則嚴重ニ相守リ卒業ノ上中央幼年學校本科生徒被命候節ハ誓テ陸軍ニ從事可仕ハ勿論入校中ノ費用ハ御規定ノ通可相納候仍テ戸籍ノ謄本、履歷書相添ヘ身元保證人連署此段奉願候也

年　月　日

府（縣）郡（市）町（村）番地住
府（縣）郡（市）町（村）番地寄留

府縣族籍職業
戸主（戸主ニアラサレハ戸主誰子弟）（氏名ノ字體ハ戸籍謄本ノ字體ト相違ナキヲ要ス）　氏　名　印
年　月　日生

身元保證人
府縣族籍職業
府（縣）郡（市）町（村）番地住（寄留）
（身元保證人二名ノ內一名ハ親權ヲ行フ者ナルヲ要シ「親權者」若ハ「後見人」ト頭書スヘシ）　氏　名　印
同　氏　名　印

第7579号　本文

第7579号 本文

中央（何地方）幼年學校長氏名殿

追テ左ノ通冀望致候也

入校冀望ハ御校ノ外第一中央（何地方）幼年學校、第二中央（何地方）幼年學校、第三中央（何地方）幼年學校ニ有之候

受驗場　何地

入校後ノ外國語學　佛（獨）（露）語

志願者ニシテ陸軍下士以上及海軍將校ノ養子ナルトキハ本人氏名ノ肩書ニ「養子」又ハ「家督相續者タル養子」ト明記スヘシ

履歷書（用紙美濃白紙）

一何年月日何學校ヘ入學何年月日同校卒業

一何年月日何學校何年學級ヨリ何學校何年學級ニ入學何年月日同校卒業

一何年月日何所ニ於テ何研究

一何年月日何ニ從事ス

一何年月日何ニ依リ賞罰等

（右ノ例ニ依リ履歷ニ關スル事項ハ悉ク記載スヘシ）

右之通相違無之候也

年　月　日

本人　氏　名印
身元保證人　氏　名印
同　氏　名印

農商務省告示第二百三十七號

森林法第三十二條ニ依リ森林ノ開墾ヲ制限スルコト左ノ如シ但シ御料林、國有林竝砂防法其ノ他ノ法令ニ基ク開墾制限地ヲ除ク

明治四十一年九月二十九日　農商務大臣　男爵大浦兼武

一制限事項

開墾ヲ爲サムトスル者ハ所轄地方長官ノ許可ヲ受クヘシ

一制限區域

國	郡市	町村	大字	字
岩代	信夫	平野	井佐野	丸山
同	同	同	同	久保
同	同	同	同	坊川原
同	同	清水	泉	川原前
同	同	同	同	下川原
同	同	同	南澤又	柳清水
同	同	同	同	上並松
同	同	同	同	川原前
同	同	同	同	西原
同	同	同	同	水間下
同	同	同	同	北上原
同	同	同	同	北屋敷
同	同	同	同	北川原
同	同	同	同	櫻田
同	同	同	同	原町越
同	同	同	同	古舘
同	同	同	同	明神北
同	同	同	同	高木
同	同	同	北澤又	東稻荷川原
同	同	同	同	川原
同	同	同	同	稻荷川原西
同	同	同	同	上稻荷川原
同	同	庭坂	在庭坂	北河原
同	同	同	同	堰場
同	同	同	同	稻場
同	同	同	同	向川原
同	同	同	同	志津山
同	同	同	同	天戸端
同	同	同	同	川中
同	同	同	同	藪中
同	同	同	同	山岸
同	同	同	同	上ノ堂
同	同	同	同	大石
同	同	同	同	大久保
同	同	同	同	小久保
同	同	同	同	下須川端
同	同	同	同	堰口
同	同	同	同	日照澤
同	同	同	同	上屋敷
同	同	同	二子塚	天戸端
同	同	同	同	五升路
同	同	同	同	中島
同	同	同	同	呑江
同	同	同	同	天戸前
同	同	同	同	北原
同	同	同	同	上屋敷
同	同	同	同	南中谷地
同	同	同	同	須川端
同	同	同	同	川中島
同	同	同	同	須川前
同	同	同	同	河原
同	同	同	同	道下
同	同	水保	庄野	還原
同	同	同	同	立屋敷南
同	同	同	同	日ノ倉
同	同	同	同	北日ノ倉
同	同	同	櫻本	川原
同	同	同	同	森子段
同	同	同	同	遊山小屋
同	同	吉井田	方木田	仲川原
同	同	同	仁井田	八ッ割川原
同	同	同	同	西北川原
同	同	同	同	西林
同	同	同	同	羅淵
同	同	同	同	前林川原
同	同	大笹生		向平
同	同	同		石尊
同	同	同		銀山
同	同	同		片平
同	同	同		鍋釜
同	同	同		藪平
同	同	同		川前
同	同	同		赤岩
同	同	岡山	岡部	町內
同	同	同	同	舟場
同	同	鎌田	木內	南下釜
同	同	同	同	中下釜
同	同	同	同	舟戸
同	同	同	鎌田	柳立
同	同	同	同	北舟戸
同	同	同	同	東舟戸
同	同	荒井		上川原
同	同	同		水林
同	同	同		地藏原乙ノ
同	同	土湯		惡戸尻
同	同	同		見附
同	同	同		下川原
同	同	同		日向倉
同	同	同		女沼頭
同	同	同		會津道
同	同	同		舘ノ腰
同	同	同		堂ノ上
同	同	同		杉ノ下
同	同	同		天沼
同	同	同		秋伐場
同	同	同		日向
同	同	同		陳場
同	同	同		松倉
同	同	同		泉桁
同	同	同		茂田
同	同	同		赤坂
同	同	同		油畑
同	同	同		西鶏川
同	同	杉妻	黒岩	大笹
同	同	同	同	阿彌陀森
同	同	同	同	岩山
同	同	同	同	上ノ町
同	同	同	同	宮ノ下
同	同	同	田澤	川前
同	同	同	同	鎌ケ淵
同	同	同	同	獅ヶ穴
同	同	同	同	大瀧
同	同	同	同	戸ノ內川前
同	同	同	同	峠森
同	同	同	同	袖具
同	同	同	同	具沼
同	同	同	同	下河原
同	同	同	同	愛宕山
同	同	庭坂	町庭坂	寺窪
同	同	同	同	中丸
同	同	同	李平	岩ノ下
同	同	同	町庭坂	矢細工
同	同	同	同	芳ケ澤
同	同	同	李平	蛇鳴澤
同	同	同	同	井戸尻
磐城	東白川	常盤	常世中野	上原
同	同	同	同	休場
同	同	同	同	金堀場
同	同	同	同	雨谷
同	同	同	常世北野	八幡
岩代	安積	郡山		水見台
同	同	同		幕ノ外
同	同	小原田	小原田	八作內
同	同	永盛	笹川	高瀬
同	同	同	同	西長久保
同	同	同	日出山	南八作內
同	同	同	同	萩生河原
同	同	同	同	淀洲附
同	同	同	同	下葉地
同	同	同	同	神明下
同	同	同	同	大洲河原
同	同	同	同	一本松
同	同	同	同	南臺
同	同	同	同	篠原
同	同	同	同	西河原
同	同	同	同	新鍬
同	同	同	同	南川堀田
同	同	同	同	落合
同	同	穩積	駒屋	入道淵
同	同	同	同	柳田
同	同	同	同	西ノ內
同	同	同	八幡	高玉
同	同	同	同	山崎
同	同	同	山口	入六千坊
同	同	同	同	鳴神山
同	同	同	同	東阿部田
同	同	同	同	北臺田
同	同	同	同	西ノ作山
同	同	同	同	坂下山
同	同	三和	富岡	頓學
同	同	同	同	葛幡
同	同	同	同	鍛治田
同	同	片平	片平	荒久
同	同	同	同	上作田
同	同	同	同	木宮道西
同	同	同	同	木宮
同	同	同	同	木宮東
同	同	同	同	中川原南
同	同	同	同	南川原
同	同	同	同	中村川向
同	同	河內	河內	猫神
同	同	同	同	西午房澤
同	同	同	同	東長倉
同	同	同	同	原田
同	同	喜久田	堀ノ內	白岩
同	同	同	前田澤	小室山ウラ
同	同	同	堀ノ內	石阿弥陀
同	同	山野井	八丁目	小和瀧
同	同	同	梅澤	向山
同	同	同	同	北川面
同	同	月形	舟津	袴越
同	同	同	同	日ノ岡山
同	同	同	同	棧敷山
同	同	中野	中野	堰下
同	同	福良	馬入新田	家前
同	同	同	同	馬入澤
同	同	同	同	小九郎作
同	同	同	福良	福良山
同	同	三代	三代	御代
同	同	赤津	赤津	千貫石
同	同	同	同	越戸
同	同	同	同	北向家前
同	同	同	同	東羽山
同	同	同	同	日向
同	同	同	同	諏訪ノ內
同	同	多田野		西刎土原
同	同	同		地刎土原
同	同	同		山田山
同	同	同		久保原
同	河沼	登世島		中山
同	同	同		曾川原
同	同	同		頭無
同	同	同		天神下
同	同	同		中島
同	同	同		田畑
同	同	同		堀場
同	同	同		馬場下
同	同	同		舟場上
同	同	同	同	野口
同	同	同	同	宮道
同	同	金上	東原	宮後
同	同	群岡		御舘野
同	同	同		中村
同	同	同		中崎
同	同	同		藥田
同	同	同		境ケ澤
同	同	同		瀧內
同	同	同		六曾下
同	同	同		德澤
同	同	同		猿橋
同	同	同		西川
同	同	同		高反
同	同	同		小田野
同	同	同		蟹澤
同	同	上野尻		戸中向
同	同	同		南十二林
同	同	同		木十二林
同	同	同		南上下平
同	同	同		岩ケ崎
同	同	同		中上下平
同	同	同		大田尻
同	同	同		東林崎
同	同	同		西林崎
同	同	同		名吉打田
同	同	同	同	北上下平
同	同	千咲	三津谷	番田
同	同	同	同	蕪ノ北
同	同	同	同	大田向
同	同	同	同	堰澤
同	同	同	同	北大地藏
同	同	柳津	柳津	樋ノ浦
同	同	同	同	下川原
同	同	同	同	下原道西
同	同	同	同	家ノ北山
同	同	同	同	大安久津
同	同	同	同	川前山
同	同	同	同	井戸尻
同	同	同	同	川前
同	同	同	同	杉倉山
同	同	同	細八	川前
同	同	同	同	下中澤
同	同	飯谷	飯谷	村山
同	同	同	同	居平
同	同	同	同	中山
同	同	同	同	横立
同	同	同	同	一ッ田
同	同	同	藤	大巻
同	同	川西	長井	萩窪
同	同	同	同	工長井
同	同	同	同	上長井原
同	同	同	同	家ノ下
同	同	同	同	舘越
同	同	同	同	横岩
同	同	同	同	篭
同	同	同	津尻	坂谷
磐城	西白河	大沼	大	揃目山
同	同	同	同	善知島坂
同	同	同	同	揃目ヶ入
同	同	同	同	岩倉山
同	同	同	水沼	雁巢
同	同	同	同	手代坂
同	同	同	同	芦野口前山
同	同	白河		金子平
同	同	同		白井掛下
同	同	同		寒酒山
同	同	同		友月山
同	同	同		向新蕨
同	同	同		白井掛
同	同	同		鳳神下
同	同	同		鳳神山東
同	同	西郷	長坂	西垂
同	同	同	熊倉	高ボッチ
同	同	同	眞船	觀音山
同	同	同	羽太	向山
同	同	同	同	保兎津
同	同	同	同	上鈴
同	同	同	同	田入
同	同	同	同	一本木
同	同	同	同	篠倉
同	同	同	同	清水窪
同	同	同	同	安良田山
同	同	同	鶴生	揩臼山
同	同	同	同	萱橋
同	同	同	同	家老地
同	同	同	同	澤小屋
同	同	同	同	向山
同	同	同	同	石切場
同	同	白坂		中蛇ヶ平
同	同	同		松木前
同	同	信夫	下新城	桑木田
同	同	同	同	和久
岩代	安達	嶽下	成田	地藏山
同	同	岩根	岩根	黒岩山
同	同	同	同	小屋舘山
同	同	同	同	龍山
同	同	同	關下	向川原
同	同	高川	高玉	鍋ノ倉
同	同	同	同	大志津
同	同	石井	平石	江口山
同	同	同	同	川原
同	同	同	同	下ノ山
同	同	同	同	一盃森
同	同	同	同	八幡森
同	耶麻	松山	鳥見山	大道東上ノ切
同	同	同	同	大道東中ノ切
同	同	同	大飯坂	切添
同	同	同	同	山道
同	同	同	同	東高儒
同	同	同	村松	寺分
同	同	同	同	馬道下
同	同	同	同	馬道上
同	同	同	同	上川原
同	同	熱鹽	山田	大明神
同	同	同	同	關根道下
同	同	同	同	ムク田
同	同	同	同	荒新田
同	同	同	同	稻子場
同	同	同	同	栗生澤道下
同	同	同	熱鹽	間瀬上
同	同	同	同	明戸下
同	同	同	同	仲田
同	同	同	同	舞代田
同	同	同	同	日中
同	同	同	同	大坪
同	同	同	同	明戸平
同	同	同	同	石後原
同	同	同	同	後田
同	同	同	同	崩澤
同	同	同	同	馬木道東
同	同	同	同	窪
同	同	同	同	古屋敷
同	同	同	同	川前
同	同	同	同	ヘック
同	同	同	同	明石澤
同	同	同	同	土ヘック
同	同	同	同	大檜澤山
同	同	同	同	寺山
同	同	同	相田	八森
同	同	同	同	向山
同	同	同	同	村北
同	同	同	同	横道
同	同	同	同	赤澤向
同	同	同	同	下萩平
同	同	同	同	冥加坂
同	同	同	同	下川原
同	同	同	同	工川原
同	同	同	同	打越
同	同	同	同	野邊澤山
同	同	一ノ木	一ノ木	荏澤
同	同	同	同	西子山
同	同	同	同	西高石
同	同	相川	相川	西廻戸
同	同	同	同	東廻戸
同	同	同	同	中崎
同	同	同	同	古川
同	同	同	同	向新田
同	同	同	同	松坂
同	同	同	同	金附澤
同	同	新郷	三河	上眞板
同	同	同	同	下眞板谷
同	同	同	同	舟場通
同	同	同	同	大見
同	同	同	同	下前山後
同	同	同	同	捕太林
同	同	同	豐洲	瀧坂界
同	同	同	同	引板
同	同	同	同	秣中
同	同	岩月	入田付	七同山
同	同	同	同	殿林
同	同	同	同	根本山
同	同	同	同	円角澤山
同	同	同	同	驛ノ口澤山
同	同	同	同	大平
同	同	同	同	箱ノ倉入
同	同	同	宮津	上力
同	同	同	同	三十刈
同	同	同	同	小原
同	同	同	同	柏原廻り
同	同	同	同	元漆
同	同	同	同	烏ケ屋敷
同	同	同	同	道下西
同	同	喜多方		落合
同	同	同		慶德道上
同	同	同		飯田道上
同	同	同		上川原
同	同	同		沼田
同	同	同		小田付道下
同	同	上三宮	上三宮	越戸
同	同	同	同	藤採新田
同	同	同	同	東川原
同	同	同	吉川	長流
同	同	關柴	關柴	家ノ後
同	同	同	同	堂ノ下
同	同	同	同	川原
同	同	同	下柴	堰根
同	同	同	同	西川原
同	同	同	同	向川原
同	同	同	平林	八幡
同	同	同	同	蟹澤
同	同	同	三津井	唐八
同	同	同	同	原前
同	同	同	同	堰下
同	同	同	同	畑ケ中
同	同	同	同	稻荷前
同	同	同	同	下川原
同	同	同	同	小川原
同	同	同	西勝	上川原
同	同	同	同	家ノ下
同	同	長瀬	三郷	西川原
同	同	同	同	姥原
同	同	同	八幡	下川原
同	同	同	同	屋敷北
同	同	吾妻	鐵養	西牡丹原
同	同	同	同	中島
同	同	同	同	下平
同	同	月輪	中小松	松橋
同	同	同	同	中目
同	同	同	同	小平潟
同	同	同	金田	砂濱
同	同	同	同	金曲
同	同	大鹽	大鹽	遲澤入
同	同	同	同	八森山
同	同	同	同	稗畑
同	同	同	同	中澤尻
同	同	同	同	大淵
同	同	北山	北山	岩下
同	同	同	同	出合
同	南會津	檜澤	靜川	林ノ澤山
同	同	同	同	寺澤山
同	同	同	金井澤	向山
同	同	同	福米澤	向山
同	同	同	鹽江	向山
同	同	田島	田島	山弗
同	同	同	永田	峠外手
同	同	同	長野	向山
同	同	同	田島	向山
同	同	同	丹藤	前川原
同	同	楢原	豐城	林中
同	同	同	同	山崎
同	同	旭田	澳田	塔ノ脇
同	同	同	同	栗林
同	同	同	鹽生	前原
同	同	長江	湯野上	大道下山
同	同	同	小沼崎	曾ヶ木
同	同	大宮	大橋	船場
同	同	同	揚巢	猿子澤
同	同	同	宮床	愛宕山
同	同	同	大新田	松原
同	同	同	山口	北原

同 同 同 木伏 大久保
同 同 富田 下山 京路
同 同 同 和泉田 大林
同 同 小梁 小林 上川原
同 同 同 同 下ノ下
同 同 同 同 下ノ山
同 同 八幡 鹽ノ岐
同 同 同 大倉 前田
同 同 同 同 向山
同 同 同 同 前澤口
同 同 同 同 礓ノ口
同 同 伊南 濱野 堀向
同 同 同 同 水門口
同 同 同 同 向山
同 同 同 同 糸澤山
同 同 同 青柳 東久川
同 同 同 白澤 沼ノ平
同 同 大川 内川 上ノ平
同 同 同 恥風 鬼丸山
同 同 同 同 向山
同 同 同 大原 居平
同 同 同 同 後山
同 同 同 同 向山
同 同 同 小立岩 安越又
同 同 同 同 川向
同 同 同 同 瀬戸山
同 同 同 大桃 衆向山
同 同 同 同 平澤山
同 同 同 同 後山
同 同 檜枝岐 黒岩山
同 同 同 帝釋山
同 同 同 駒ヶ岳
同 同 朝日 福井 中島
同 同 同 同 前田表
同 同 同 同 清水田表
同 同 同 檜戸 下中島
同 同 同 小川 瀧ノ替根
同 同 同 同 下付
同 同 同 同 大金澤
同 同 同 熊倉 坂下
同 同 同 同 女沼山
同 同 伊北 只見 柴倉
同 同 同 同 向山
同 同 同 石伏 西一ツ橋
同 同 同 同 小戸山
同 同 同 同 熊澤

同 同 同 田子倉 向戸山
同 同 同 同 宮原
同 同 同 同 入山
同 同 同 同 鬼面山
同 同 同 蒲生 五祇
同 同 同 同 中島
同 同 同 同 宮原
同 同 同 寄岩 細田
同 同 同 鹽澤 上瀧
同 同 同 同 上川原
同 同 同 十島 沼田原
同 同 同 叶津 入叶津
同 同 同 同 入中島
同 同 同 同 北山
同 同 同 同 上白岩
同 同 同 同 中島
同 同 同 同 下原
同 同 同 同 木ノ根山
磐城 田村 谷田川 上道渡 中山
同 同 同 同 澤目水
同 同 同 谷田川 運宮
同 同 同 同 例場
同 同 同 同 西曲淵
同 同 同 同 葭地
同 同 同 同 鈴ケ内
同 同 同 同 樋ノ口
同 同 芦澤 芦澤 根柄
同 同 同 同 小倉
同 同 宮城 高倉 八木田
同 同 同 赤沼 西平
同 同 同 高倉 下新田
同 同 同 同 斧作
同 同 同 同 羽黒堂
同 同 同 同 古御舘
同 同 同 同 宮脇
同 同 同 同 松山
同 同 同 赤沼 下永田
同 同 常葉 西向 中
同 同 同 同 米紛原
同 同 同 常葉 荻之目
同 同 同 同 前田
同 同 片曾根 船引 川代
同 同 同 上江
同 同 瀬川 石澤 桑柄水
同 同 同 同 高橋
同 同 同 新舘 下

同 同 同 大倉 大久保
同 同 同 同 水町
同 同 同 同 追舘
同 同 同 同 前田
同 同 同 同 清水田
同 同 同 同 川下
同 同 同 同 廣平
同 同 同 同 鴨ヶ澤
同 同 同 同 上台
同 同 山根 早稻川 土橋
同 同 同 同 西片草
同 同 同 堀田 岡ノ内
同 同 夏井 北田原井 穴子入
同 同 同 南田原井 北ノ内
同 同 巖江 下舞 間明田
同 同 同 同 蛇田
同 同 同 同 四合田
同 同 同 同 正神平
同 同 同 上舞木 福内
同 同 同 同 宮ノ前
同 同 同 同 平
同 同 同 同 具貸田
同 同 同 同 向田
同 同 同 山田 瀧田
同 同 同 同 竹ノ内
同 同 同 同 大久保
同 同 同 同 福内
同 同 同 安原 向舘
同 同 中郷 込木 駒込
同 同 同 同 川平
同 同 同 同 大志田
同 同 同 柴原 大平
同 同 同 同 杉山
同 同 同 同 蒲又
同 同 同 同 萩ノ久保
同 同 同 瀧 五倉田
同 同 同 同 久保
同 同 同 同 吉田
同 同 同 春田 沼倉
同 石城 夏井 下大越 川畑
同 同 同 山崎 梅福山
同 同 飯野 北白土 札場
同 同 上小川 上小川 當太郎内
同 同 同 同 川古屋

同 同 同 上平 中島
同 同 同 同 大河原
同 同 同 同 前田
同 同 同 同 関場
同 同 草野 下野谷 仲代
同 同 同 同 杭沼
同 同 小名濱 後場
同 同 山田 小山田 新谷
同 同 同 同 梅平
同 同 同 同 獄登
同 同 同 上山田 寺作
同 同 同 下山田 岸ノ内
同 同 同 同 橋木
同 同 同 同 関場
同 同 澤渡 下市萱 遅川
同 同 同 同 根古屋
同 同 同 同 片岸
同 同 同 同 竹ノ内
同 同 同 同 竹ノ下
同 同 同 同 北
同 同 同 同 楚部穴
同 同 同 同 楚部大
同 同 三坂 中三坂 湯ノ向
同 同 同 同 向
同 同 同 同 湯ノ向
同 同 同 下三坂 向谷
同 同 同 同 南山
同 同 同 同 東山
同 同 澤渡 上市萱 諏訪
同 同 同 同 町頭
同 同 磐崎 藤原 牛還
同 同 同 同 川原前
同 同 同 同 廐平
同 同 同 同 原内
同 同 同 同 川張田
同 同 同 同 信田御代
同 同 同 同 机田
同 同 同 白島 鹽打
同 同 同 西郷 落合
同 同 神谷 鹽 上川原
同 同 箕輪 榊小屋 大石
同 同 同 同 居掛
同 同 同 同 生木葉

同 同 同 同 雀取
同 同 同 大利 小川崎
同 同 同 同 篠登城
同 同 永戸 合戸 浮矢
同 同 同 同 細戸
同 同 同 同 入敷
同 同 同 同 驛
同 同 好間 渡戸 前久保田
同 同 同 川中子 愛子後
同 同 同 中好間 上川原
同 同 同 同 中川原
同 同 同 下好間 沼田
同 同 同 同 中島
同 同 同 同 遠井
岩代 伊達 川俣 寺前
同 同 同 道場
同 同 同 屯曲
同 同 同 新宮
同 同 立子山 大瀧
同 同 同 井戸淵
同 同 同 蛇塚
同 同 同 藥師ノ上
同 同 同 觀音山
同 同 同 長瀧根
同 同 同 鮎山
同 同 同 川前
同 同 同 馬場平
同 同 同 鬼窪
同 同 同 雀石
同 同 同 梁場
同 同 同 瀧前
同 同 同 猪久保
同 同 同 荒瀬
同 同 同 大淵
同 同 小島 所ケ作山
同 同 同 大壇山
同 同 同 岩井澤山
同 同 同 細越前
同 同 同 一本松山
同 同 同 長根山
同 同 湯野 高清水
同 同 保原 北河原
同 同 小手 下手渡 高山
同 同 同 同 口明石
同 同 同 同 財子内

同 同 同 同 岩崎
同 同 森江野 森山 上野臺
同 同 同 同 瀧東
同 同 掛田 山野川 隱里
同 同 同 同 大平
同 同 小手川 月舘 延田山
同 同 同 同 後作田山
同 同 同 同 出光山
同 同 同 同 白山
同 同 同 御代田 堀舘山
同 同 同 同 白王山
同 同 同 同 蛇山
同 同 山舟生 七ツ釜
同 同 同 瀧前
同 同 同 鹿野新田
同 同 同 日厩
同 同 同 高名倉
同 同 同 上ケ場
同 同 同 樽井森
同 同 同 寶郎場
同 同 同 八ノ内
同 同 同 北向
同 同 同 高沼橋
同 同 同 广平
同 同 同 鉢屋澤
同 同 同 屏風ケ作
同 同 同 番前
同 同 飯坂 高昌田
同 同 同 水シ山
同 同 同 ヱ石堂
同 同 同 月橋山
同 同 大木戸 具田 石ノ入
同 同 同 同 竹内
同 同 同 同 車
同 同 同 高城 岩ノ澤
同 同 同 同 岩淵
同 同 小國 上小國 大正寺
同 同 同 下小國 拍平
同 同 同 同 舘田
同 同 同 同 須
同 同 同 同 松ノ口
同 同 同 同 若宮
同 同 同 同 中島
同 同 同 同 廣畑

同 同 同 同 鐙石
同 同 同 同 畑尻
同 同 石戸 石田 界
同 同 同 同 田開作
同 同 同 同 堤下
同 同 同 同 境ノ目
同 同 同 同 坂惣田
同 同 同 山戸田 土關向
同 同 同 同 福田坂
同 同 同 同 熊ノ山
同 同 同 同 大條舘
同 同 同 同 菅野入
同 同 同 石田 中山
同 同 同 同 谷田岸
同 同 同 同 五升蒔
同 同 同 同 中城
同 同 同 同 東又
同 同 同 同 古屋數
同 同 同 同 彌五郎
同 同 同 同 高田
同 同 同 同 道入
同 同 同 同 中ケ戸
同 同 同 同 岩ノ崎
同 同 同 同 井戸澤
同 同 同 同 小市ケ入
同 同 同 同 中瀨
同 同 同 同 舘
同 同 同 同 藤ケ入
同 同 同 同 大小
同 同 同 同 百目木
同 同 同 同 後大小
同 同 同 同 佐須波
同 同 同 同 嘉地田
同 同 同 同 橋本
同 同 同 同 番屋
同 同 同 同 孫老内
同 同 同 同 向平
同 同 同 同 行入平
同 同 同 同 塗釜
同 同 同 同 桂畑
同 同 同 同 荒田
同 同 同 同 半房作
同 同 同 同 北向
同 同 同 同 六蓋内
同 同 同 同 余淵
同 同 同 同 道坂
同 同 同 同 熊屋數
同 同 同 同 田場場

同 同 同 同 釜ケ平
同 同 同 同 庄司淵
同 同 同 同 行合道
同 同 同 同 伊達
同 同 同 同 川向
同 同 同 同 川面
同 同 同 同 地藏前
同 同 同 同 天貝
同 同 同 同 葛窪
同 同 同 同 戸草
同 同 同 同 上戸草
同 同 同 同 彦四郎
同 同 同 同 八木平
同 同 同 同 川岸屋數
同 同 睦合 万正寺 河端
同 同 同 同 北向
同 同 同 同 舘窪
同 同 飯野 飯野 大稲場
同 同 同 同 長畑
同 同 同 同 長畑山
同 同 同 同 大稲場山
同 同 同 同 三升蒔田
同 同 同 同 後田山
同 同 同 同 山川前
同 同 同 同 西新田
同 同 同 同 北蟹澤
同 同 同 同 新田
同 同 同 同 猪山
同 同 同 同 猫山
同 同 同 同 大黒田山
同 同 同 同 仲平
同 同 同 同 梨子木
同 同 同 西飯野 月貫
同 同 同 同 論傳
同 同 同 同 木田
同 同 同 同 澤尻
同 同 同 同 蛇ケ藤
同 同 同 同 石川原
同 同 同 同 西舟場
同 同 同 同 東舟場
同 同 同 同 羽柴
同 同 同 同 相模取場
同 同 同 同 箱石
同 同 同 同 ソバカり
同 同 同 同 西鹿子島
同 同 同 同 新田
同 同 同 同 瀧山

同 同 白根 大木
同 同 同 古田
同 同 同 高萩
同 同 同 畑メキ
同 北會津 神指 北四合 西堀
同 同 川南 下米塚 堀込
同 同 門田 御山 靈釜
同 同 同 同 井手守
同 同 同 同 行貫
同 同 同 同 重地
同 同 同 同 瀬ノ木澤
同 同 同 黒岩 青水清水
同 同 大戸 大川 野馬平
同 同 同 同 松上
同 同 同 同 澤向
同 同 同 同 川原崎
同 同 同 同 笠松
同 同 同 芦牧 天神前
同 同 同 上小鹽 牛木棒
同 同 同 同 反間
同 同 東山 湯本 村東
同 同 同 同 川向
同 同 同 同 上原
同 同 同 同 蛭平
同 同 同 同 漆島
同 同 同 湯川 梨本向
同 同 同 同 タゞり岩
同 同 同 同 上ノ山
磐城 相馬 原 南新田 西原
同 同 同 同 高田
同 同 同 上佐瀬 穴田
同 同 同 下佐瀬 西田
同 同 同 同 後川
同 同 太田 片倉 市波戸
同 同 同 同 岩下
同 同 同 矢川原 隈根
同 同 同 同 川久保
同 同 同 同 堂前
同 同 同 同 下川原
同 同 同 同 堂内
同 同 同 同 割田
同 同 同 同 川原
同 同 同 上太田 石積

同 同 同 同 堰場
同 同 同 同 中平
同 同 同 同 北中平
同 同 同 同 醴堂内
同 同 同 同 町川原
同 同 同 中太田 川原
同 同 同 下太田 宇多
同 同 同 益田 石六
同 同 同 同 雫川
同 同 同 高 大豆柄内
同 同 同 同 杉内
同 同 同 同 古内
同 同 石神 大原 細畑
同 同 同 大谷 山王林
同 同 同 同 中原
同 同 同 同 下原
同 同 同 同 中川原
同 同 同 深野 荒戸澤
同 同 同 同 川原
同 同 同 北新田 東畑
同 同 同 同 中川原
同 同 同 同 前澤目
同 同 同 馬場 瀧
同 同 松ケ江 小泉 根岸
同 同 八幡 今田 西田
同 同 同 同 山野
同 同 山上 山上 明神
同 同 同 同 問ノ次郎
同 同 同 同 堀切
同 同 同 同 中井塚
同 同 鹿島 鹿島 台川原
同 同 同 北右田 藥師堂
同 同 同 同 袖原田
同 同 同 同 榎内
同 同 同 南右田 西畑
同 同 同 同 竹花
同 同 同 同 瀬内
同 同 同 同 大戸内
同 同 同 同 石古淵
同 同 上眞野 上根澤 上野
同 同 同 同 花和
同 同 同 同 西内
同 同 同 同 久ノ町
同 同 同 同 澤保正

同 同 同 同 東原
同 同 同 同 宮下
同 同 同 栃窪 菅ノ澤
同 同 同 同 營原
同 同 同 同 南田
同 同 同 同 御畑
同 同 同 御山 一山下
同 同 同 同 朝木松
同 同 同 同 鑓河彌田
同 同 同 同 取
同 同 同 山下 安倉
同 同 同 同 田尻
同 同 同 同 割田
同 同 同 同 中林
同 同 同 同 狸内
同 同 同 同 川原
同 同 同 同 中ノ内
同 同 同 角川原 西川原
同 同 同 同 前川原
同 同 同 同 江合
同 同 同 同 中川原
同 同 同 岡和田 北向
同 同 同 同 細内
同 同 同 同 鍵畑
同 同 同 同 旭内
同 同 同 同 八郎内
同 同 同 横手 金谷前
同 同 同 同 堂前
同 同 同 同 前川原
同 同 同 同 壇膝
同 同 同 同 一壺清水
同 同 同 楢原 新平
同 同 同 同 釜地灰
同 同 同 同 中平
同 同 同 同 宮前
同 同 同 小池 宮下
同 同 同 同 作前田
同 同 同 同 新山
同 同 同 同 立澤
同 同 同 同 台ノ畑
同 同 同 同 原畑
同 同 同 同 中川原
同 同 同 同 菅徳
同 同 同 同 長沼
同 同 同 牛河内 學五印内
同 同 同 同 榎平

同 同 高平 上高平 中川原
同 同 同 泉 須賀内
同 同 同 同 前向
同 同 金房 大田和 南河原
同 同 同 川房 向畑
同 同 同 南鳩原 合畑
同 同 同 同 川久保
同 同 眞野 羽倉 落合
同 同 同 寺内 雲内
同 同 同 小島田 古川
同 同 同 同 屋入
同 石川 石川 境ノ内
同 同 同 鹿ノ坂
同 同 同 下泉
同 同 同 立ケ岡
同 同 同 猫嶋
同 同 同 王子平
同 同 同 和久
同 同 同 田川
同 同 澤田 澤井 眞明田
同 同 同 同 川井
同 同 同 同 小金石
同 同 同 同 熊ノ堂
同 同 同 同 藤澤
同 同 同 新屋數 梁前
同 同 同 同 長路
同 同 同 同 背土戸
同 同 同 同 小高内
同 同 川東 市野關 湯前
同 同 母畑 母畑 樋田
同 同 同 同 清水作
同 同 同 同 大作
同 同 同 同 邊栗
同 同 同 湯郷渡 米子平
同 同 同 同 前ノ内
同 同 同 同 立兎澤
同 同 同 同 山島平
岩代 岩瀬 須賀川 森宿 中宿
同 同 同 同 古屋數
同 同 同 須賀川 長蹊寺西
同 同 習田 前田川 深田
同 同 同 同 靈澤

第7579号　本文

第7579号 本文

同	同	同	同	古沼
同	同	同	同	雷畑
同	同	同	同	宿
同	同	同	澄尾	舟付
同	同	鏡石	鏡田	大發
同	同	稲田	岩淵	川崎
同	同	同	稲	下原
同	同	牧本	牧ノ内	向田
同	同	同	同	兒渡森
同	同	同	同	西町
同	同	同	同	鷲人
同	同	同	同	大岩
同	同	同	同	清水山
同	同	同	同	黒澤山
同	同	同	同	立石
同	同	同	同	向山
同	同	同	同	川除向
同	同	同	同	ブスケ澤
同	同	同	上松本	大明神
同	同	同	同	給分山
同	同	同	同	小豆平
同	同	同	同	元人澤
同	同	同	同	西沼ケ入
同	同	同	同	沼ケ入
同	同	同	同	要沼久保
同	同	同	下松本	鈴ケ崎
同	同	同	牧ノ内	向山
同	同	長沼	勢至堂	岩崎
同	同	同	同	風出森
同	同	同	同	金山
同	同	同	同	鳥島
同	同	同	同	銚子口
同	同	同	同	銅屋坂
同	同	同	同	瀧ノ澤
同	同	同	同	長坂
同	同	同	同	大岩
同	同	同	同	姫子山
同	同	同	江花	湯澤
同	同	同	同	雨降平
同	同	同	同	踏掛
同	同	同	同	地理
同	同	同	同	エリ釜
同	同	同	同	山居山
同	同	同	長沼	愛宕山
同	同	同	同	白ケ堂山
同	同	仁井田	舘ケ岡	舘山
同	同	同	同	里ノ浦
同	同	同	滑川	關ノ上
同	同	同	仁井田	一夜舘
同	同	白方	守屋	向山
同	同	同	同	一ノ堰
同	同	同	同	下河原
同	同	同	瀧	八幡渡
同	同	同	梅田	柳原
同	同	同	同	古手宮
同	同	同	同	雪舟田
同	同	同	同	上古舘
同	同	同	同	下古舘
同	同	同	同	西ノ畑
同	同	同	同	梅ノ木
同	同	同	同	七ツ石
同	同	同	桂田	寄井
同	同	同	今泉	堀ノ内
同	同	同	同	中川原
同	同	同	同	落合
同	同	大屋	隈戸	夏井
同	同	同	同	境ノ澤
同	同	同	同	井戸上
同	同	同	同	大久保
同	同	同	同	岩谷堂
同	同	同	同	石倉山
同	同	同	同	時ノ澤
同	同	同	同	蛇作
同	同	同	同	岡ノ内
同	同	同	下小屋	坂下山
同	同	同	同	石久保
同	同	同	同	前山
同	同	同	同	深澤山
同	同	同	下小屋	圭山
同	同	西袋	西川	金山
同	同	同	同	行澤
同	同	同	森宿	スウカ
同	同	同	同	前川原
同	同	同	同	縮ノ下
磐城	雙葉	新山	石熊	七日澤
同	同	同	同	上石熊
同	同	同	同	コリトリ場
同	同	同	山田	木通澤
同	同	同	同	備前内
同	同	濱江	川添	北川原
同	同	同	權現堂	順禮川原
同	同	同	高瀬	手渡川原
同	同	同	樋渡	土淵川原
同	同	同	同	田和津田
同	同	同	同	前田
同	同	幾世橋	幾世橋	古川
同	同	同	同	落合
同	同	同	同	長田前
同	同	同	北幾世橋	幾内
同	同	同	同	町尾
同	同	同	同	荒井前
同	同	大堀	小野田	下川原
同	同	同	酒井	藤下
同	同	同	同	西口
同	同	同	谷津田	川原
同	同	同	同	馬場
同	同	同	井手	椚平
同	同	上岡	上手岡	片倉
同	同	同	同	大木戸川原
同	同	同	同	片倉
同	同	同	同	大石原
同	同	同	本岡	坊小屋
同	同	同	同	田ノ口澤
同	同	木戸	前原	作助
同	同	同	上小塙	天太郎
同	同	同	前原	宿田
同	同	川内	上川内	西迎
同	同	同	下川内	西迎
同	同	同	同	國見
同	同	同	同	早渡
同	同	同	同	町分
同	同	同	同	宮渡
同	同	同	同	沼田
同	同	同	同	熊ノ坪

農商務省告示第二百三十八號

森林法ニ依リ左記ノ保安林ヲ解除ス

明治四十一年九月二十九日　農商務大臣　男爵大浦兼武

國	郡	村	大字	字	地番	面積 步
美濃	加茂	坂祝	深田	中屋	二六八ノ二	一一〇五
飛驒	益田	竹原	宮地	宮ノ前	二六八ノ三	一〇〇〇

農商務省告示第二百三十九號

森林法ニ依リ左記ノ保安林ヲ解除ス

明治四十一年九月二十九日　農商務大臣　男爵大浦兼武

國	郡	村	大字	字	地番	面積 步
信濃	西筑摩	新開		宮	二六八三ロ	一、二八二八ノ内實測四五二六
同	上伊那	中箕輪	澤	白山	二〇五七	一、一七一六

農商務省告示第二百四十號

森林法ニ依リ左記ノ保安林ヲ解除ス

明治四十一年九月二十九日　農商務大臣　男爵大浦兼武

國	郡	町	大字	字	地番	面積
安房	安房	舘山	舘上眞倉	高島	一、五六一	二、四二一一ノ内一、一〇五

遞信省告示第八百九十五號

郵便局所ニ於テ外國爲替金ノ換算ニ適用スヘキ外國貨幣換算割合左ノ如シ

明治四十一年九月二十九日　遞信大臣　男爵後藤新平

英貨	一パウンド		九圓七九・五九二	一圓ニ付2/0½即チ二「シルリング」〇「ペンニー」五〇〇
	一シルリング		四八・九八〇	
	一ペンニー		四・〇八二	
佛貨	一フランク		三九・〇九〇	一圓ニ付二「フランク」五十五「サンチーム」八二〇
米貨	一ダラー		二〇二・〇二〇	一圓ニ付49½即チ四十九「セント」五〇〇
	一セント		二・〇二〇	
獨貨	一マルク		四八・〇七〇	一圓ニ付二「マルク」〇八「フェンニッヒ」〇三〇
蘭貨	一フロリン		八一・五八〇	一圓ニ付一「フロリン」二十二「セント」五七九
墺地利洪葛利貨幣	墺一クローネ 洪一コロナ		四一・二九〇	一圓ニ付二「クローネ」「コロナ」四十一「ヘルレル」「フイルレル」六〇四
那威瑞典貨幣	那一クローネ 瑞一クローナ		五四・三〇〇	一圓ニ付一「クローネ」「クローナ」八十四「オール」一六二
＊香港洋銀	一ダラー		八七・九五〇	一圓ニ付一「ダラー」十三「セント」七〇一
	一セント		・八八〇	
＊墨銀	一ダラー		八六・五〇〇	一圓ニ付一「ダラー」十五「セント」六〇七
	一セント		・八六五	

（備考）羅馬尼貨幣「ルー」及「バニ」ノ換算割合ハ佛貨換算割合ニ同シ＊香港爲替中劉公島及寧波ニ振宛ツルモノニハ墨銀換算割合ヲ適用シ其他ノ地方ニ振宛ツルモノニハ香港洋銀換算割合ヲ適用ス

遞信省告示第八百九十六號

來十月一日ヨリ左記郵便局ニ電話通話事務ヲ開始ス

明治四十一年九月二十九日　遞信大臣　男爵後藤新平

名稱	位置
和歌山東長町郵便局	和歌山市東長町

遞信省告示第八百九十七號

來十月一日ヨリ左記郵便局ニ電信事務ヲ開始ス

明治四十一年九月二十九日　遞信大臣　男爵後藤新平

名稱	位置
長津呂郵便局	靜岡縣賀茂郡南崎村

遞信省告示第八百九十八號

本月三十日限リ左記電信取扱所ヲ廢止ス但シ當該取扱所ニ於テ取扱ヒタル事務ハ下記郵便局之ヲ承繼ス

明治四十一年九月二十九日　遞信大臣　男爵後藤新平

名稱	位置	承繼局名
長津呂海軍望樓電信取扱所	靜岡縣賀茂郡南崎村	長津呂郵便局

遞信省告示第八百九十九號

來十月一日ヨリ左記郵便局ニ電話交換業務ヲ開始シ電報規則第七十五條ニ依ル電話加入者ノ託送電報ヲモ取扱フ

明治四十一年九月二十九日　遞信大臣　男爵後藤新平

名稱	位置
見付郵便局	靜岡縣磐田郡見付町

遞信省告示第九百號

明治三十九年六月遞信省告示第二百六十四號加入區域外通話區域及電話料、電話呼出料中左ノ通追加シ來十月一日ヨリ施行ス

明治四十一年九月二十九日　遞信大臣　男爵後藤新平

加入區域外通話區域	一通話ノ電話料	一回ノ電話呼出料
「川越足利間」ノ次ニ		
川越古河間	金二十錢	金十五錢
「横濱鹿沼間」ノ次ニ		
横濱今市間	金四十五錢	金二十錢
「江尻輿津間」ノ次ニ		
江尻藤枝間	金二十錢	金十五錢
江尻燒津間	金二十錢	金十五錢
「清水輿津間」ノ次ニ		
清水島田間	金二十錢	金十五錢
「池田有馬間」ノ次ニ		
池田三田間	金十五錢	金十錢
「下關小竹間」ノ次ニ		
長下關八代間	金七十錢	金二十錢
「門司小竹間」ノ次ニ		
長門司八代間	金六十五錢	金二十錢
「伊勢崎吉井間」ノ次ニ		
伊勢崎伊香保間	金二十錢	金十五錢
「桐生吉井間」ノ次ニ		
桐生伊香保間	金二十錢	金十五錢
「佐野鹿沼間」ノ次ニ		
佐野下舘間	金二十錢	金十五錢
佐野古河間	金十五錢	金十錢

遞信省告示第九百一號

來十月一日ヨリ左記郵便局ヲ移轉改稱ス

明治四十一年九月二十九日　遞信大臣　男爵後藤新平

現名稱	現在位置	改稱	移轉位置
芝白金臺町二郵便局	東京市芝區白金臺町二丁目	芝白金臺町（シバシロカネダイマチ）郵便局	東京市芝區白金臺町一丁目

遞信省告示第九百二號

來十月一日ヨリ左記郵便局ニ電話通話事務ヲ開始ス

明治四十一年九月二十九日　遞信大臣　男爵後藤新平

名稱	位置
草津郵便局	滋賀縣栗太郡草津町
坂本郵便局	滋賀縣滋賀郡坂本村
須知郵便局	京都府船井郡須知町

遞信省告示第九百三號

明治三十三年八月遞信省告示第三百十四號電話呼出地域中左ノ通追加ス

明治四十一年九月二十九日　遞信大臣　男爵後藤新平

「近江國滋賀郡石山村大字寺邊ノ内茶屋ノ前」ノ項ノ次ニ

一近江國栗太郡草津町大字草津、同矢倉（字大塚、同新田ヲ除ク）、同大路井、治田村大字澁川

一近江國滋賀郡坂本村大字坂本（字馬道、同比叡山ヲ除ク）

「丹波國多紀郡篠山町」ノ項ノ次ニ

一丹波國船井郡須知町大字須知、同蒲生字三日市、同上蒲生、大字曾根字深シ野、竹野村大字水戸字水戸、同山崎

遞信省告示第九百四號

明治三十九年六月遞信省告示第二百六十四號加入區域外通話區域及電話料、電話呼出料中左ノ通追加ス

明治四十一年九月二十九日　遞信大臣　男爵後藤新平

	加入區域外通話區域	一通話ノ電話料	一回ノ電話呼出料
「京都溝谷間」ノ次ニ	京都草津間	金十五錢	金十錢
	京都坂本間	金十錢	金十錢
	京都須知間	金二十錢	金十五錢
「嵯峨伏見間」ノ次ニ	嵯峨須知間	金二十錢	金十五錢
「龜岡伏見間」ノ次ニ	龜岡須知間	金十五錢	金十錢
「大津伏見間」ノ次ニ	大津草津間	金十錢	金十錢
	大津坂本間	金十錢	金十錢
「福知山溝谷間」ノ次ニ	福知山須知間	金二十錢	金十五錢
「彥根伏見間」ノ次ニ	彥根草津間	金二十錢	金十五錢
「桂伏見間」ノ次ニ	桂草津間	金二十錢	金十五錢
	桂坂本間	金十五錢	金十錢
	桂須知間	金二十錢	金十五錢
「園部餘部間」ノ次ニ	園部須知間	金十錢	金十錢
「伏見木津間」ノ次ニ	伏見草津間	金十五錢	金十錢
	伏見坂本間	金十五錢	金十錢
「溝谷神戸間」ノ次ニ	草津坂本間	金十五錢	金十錢
	草津大阪間	金二十五錢	金十五錢
	草津神戸間	金二十五錢	金十五錢
	坂本大阪間	金二十五錢	金十五錢
	須知大阪間	金二十五錢	金十五錢
	須知神戸間	金二十五錢	金十五錢

遞信省告示第九百五號

明治三十九年六月遞信省告示第二百六十四號加入區域外通話區域及電話料、電話呼出料中左ノ通追加シ來十月一日ヨリ施行ス

明治四十一年九月二十九日

遞信大臣　男爵後藤新平

	加入區域外通話區域	一通話ノ電話料	一回ノ電話呼出料
「茨木濱寺間」ノ次ニ	茨木八尾間	金十五錢	金十錢
「池田濱寺間」ノ次ニ	池田八尾間	金二十錢	金十五錢
「奈良郡山間」ノ次ニ	奈良八尾間	金十五錢	金十錢
「岸和田神戸間」ノ次ニ	八尾岸和田間	金二十錢	金十五錢
	八尾郡山間	金十五錢	金十錢

遞信省告示第九百六號

來十月一日ヨリ左記郵便局ニ明治三十九年六月遞信省令第二十五號電話規則ニ依ル電話交換業務ヲ開始ス

明治四十一年九月二十九日

遞信大臣　男爵後藤新平

名稱	位置
岩內郵便局	北海道後志國岩內郡岩內町

遞信省告示第九百七號

明治三十九年六月遞信省告示第二百六十四號電話加入登記料、電話使用料、名義書換料及電話番號簿掲載料ニ關スル土地種別中丁地「桐生」ノ次ニ左記箇所ヲ追加ス

明治四十一年九月二十九日

遞信大臣　男爵後藤新平

岩內

遞信省告示第九百八號

明治三十年十二月遞信省告示第三百五十七號電話加入區域中「柏崎」ノ次ニ左ノ通追加ス

明治四十一年九月二十九日

遞信大臣　男爵後藤新平

局名	普通加入區域	特別加入區域
岩內	北海道後志國岩內郡岩內町大字御鉾內町、同稻穗崎町、同吹上町、同三島町、同堀江町、同橋町、同鷹台町字清住町、同岩ヶ嶺通（自一丁目至十一丁目）、同八幡通（自一丁目至十丁目）、同老松通（自五丁目至十丁目）、同蒲田通（自五丁目至十丁目）、同芦田通（自五丁目至十丁目）、野東村ノ內（自一番地至九十四番地）、同新道路番外地	北海道後志國岩內郡岩內町大字鷹台町字岩ヶ嶺通（自十二丁目至二十二丁目）、同八幡通（自十一丁目至二十二丁目）、同老松通（自一丁目至四丁目自十一丁目至二十二丁目）、同蒲田通（自一丁目至四丁目自十一丁目至二十二丁目）、同芦田通（自一丁目至四丁目自十一丁目至二十二丁目）、大字老古美村、野東村字嵛山、敷島內村ノ內（自一番地至百五十番地）、同字ニツナイ

遞信省告示第九百九號

來十月一日ヨリ左記郵便局ニ電話交換業務ヲ開始シ電報規則第七十五條ニ依ル電話加入者ノ託送電報ヲモ取扱フ

明治四十一年九月二十九日

遞信大臣　男爵後藤新平

名稱	位置
島田郵便局	靜岡縣志太郡島田町

統監府告示第百五十二號

明治四十一年九月統監府令第三十七號電話規則第四十九條第一項第一號乃至第三號甲地乙地ノ區別同第五號以外ノ通話區域及其ノ電話料左ノ通定メ來十月一日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十一年九月十六日

統監代理　副統監　子爵曾禰荒助

電話規則第四十九條第一項第一號乃至第三號甲地乙地ノ區別

甲地　京城

乙地　仁川　木浦　群山　釜山　平壤　元山　龍山　江景　馬山　大邱　鎭南浦

電話規則第四十九條第一項第五號以外ノ通話區域及電話料表中「長」ヲ冠スルハ長距離電話通話區域トス

區域	一通話時ノ通話料	一回ノ電話呼出料
京城龍山間	金五錢（但シ自働電話ニ依ルモノ金十錢）	金五錢
京城廠浦間	金十錢	金五錢
京城永登浦間	金十錢	金五錢
京城仁川間	金二十錢	金十錢
京城水原（梅山里ヲ含ム）間	金二十錢	金十錢
京城春川間	金四十錢	金二十錢
「長」京城平壤間	金七十錢	金三十錢
「長」京城鎭南浦間	金九十錢	金三十錢
仁川龍山間	金二十錢	金十錢
仁川廠浦間	金二十錢	金十錢
仁川永登浦間	金二十錢	金十錢
仁川水原（梅山里ヲ含ム）間	金二十錢	金十錢
「長」仁川平壤間	金八十錢	金三十錢
「長」仁川鎭南浦間	金九十錢	金三十錢
龍山廠浦間	金五錢（但シ自働電話ニ依ルモノ金十錢）	金五錢
龍山永登浦間	金十錢	金五錢
龍山水原（梅山里ヲ含ム）間	金二十錢	金十錢
龍山春川間	金四十錢	金二十錢
「長」龍山平壤間	金七十錢	金三十錢
「長」龍山鎭南浦間	金九十錢	金三十錢
永登浦廠浦間	金十錢	金五錢
永登浦水原（梅山里ヲ含ム）間	金二十錢	金十錢
水原（梅山里ヲ含ム）廠浦間	金二十錢	金十錢
開城延安間	金二十錢	金十錢
開城海州間	金四十錢	金二十錢
海州延安間	金二十錢	金十錢
忠州堤川間	金十五錢	金十錢
忠州平昌間	金二十錢	金十錢
忠州江陵間	金三十錢	金十五錢
堤川平昌間	金十錢	金五錢
江陵平昌間	金二十錢	金十錢
江陵堤川間	金二十五錢	金十五錢
木浦羅州間	金三十錢	金十五錢
木浦榮山浦間	金三十錢	金十五錢
木浦光州間	金三十錢	金十五錢
光州羅州間	金二十錢	金十錢
光州榮山浦間	金二十錢	金十錢
羅州榮山浦間	金十錢	金五錢
群山江景間	金二十錢	金十錢
群山全州間	金二十錢	金十錢
群山論山間	金三十錢	金十五錢
全州論山間	金三十錢	金十五錢
江景全州間	金二十錢	金十錢
江景論山間	金十錢	金五錢
釜山（草梁ヲ含ム）釜山鎭間	金十錢	金五錢
釜山（草梁ヲ含ム）東萊間	金十錢	金五錢
釜山（草梁ヲ含ム）馬山（舊馬山浦ヲ含ム）間	金三十錢	金十五錢
釜山（草梁ヲ含ム）大邱間	金四十錢	金二十錢
馬山（舊馬山浦ヲ含ム）釜山鎭間	金三十錢	金十五錢
馬山（舊馬山浦ヲ含ム）東萊間	金三十錢	金十五錢
馬山（舊馬山浦ヲ含ム）大邱間	金四十錢	金二十錢
釜山鎭東萊間	金十錢	金五錢
大邱釜山鎭間	金四十錢	金二十錢
大邱東萊間	金四十錢	金二十錢
平壤鎭南浦間	金三十錢	金十五錢
義州新義州間	金二十錢	金十錢
義州龍岩浦間	金三十錢	金十五錢
新義州龍岩浦間	金二十錢	金十錢
咸興西湖津間	金十錢	金五錢
鏡城羅南間	金十錢	金五錢
清津鏡城間	金二十錢	金十錢
清津羅南間	金二十錢	金十錢

統監府告示第百五十三號

明治四十一年十月一日ヨリ左記各地間ニ下記ノ區別ニ依リ長距離電話通話ヲ開始ス

明治四十一年九月十六日

統監代理　副統監　子爵曾禰荒助

區域	通話區別
京城鎭南浦間	鎭南浦ハ鎭南浦郵便局ニ來リ通話スル者ニ限ル
龍山鎭南浦間	同上
仁川鎭南浦間	仁川鎭南浦共兩地郵便局ニ來リ相互通話スル者ニ限ル
仁川平壤間	

統監府告示第百五十四號

明治四十一年十月一日ヨリ左記郵便取扱所ニ電信事務ヲ開始シ下記ノ通改稱ス但シ諺文電文ハ當分ノ內之ヲ取扱ハス

明治四十一年九月十七日

統監代理　副統監　子爵曾禰荒助

所名	位置	改稱
碧潼郵便取扱所	平安北道碧潼郡碧潼邑	碧潼（ヘキドウ）郵便電信取扱所

統監府告示第百五十五號

明治四十一年十月一日ヨリ左記郵便所ヲ下記ノ通移轉改稱ス

明治四十一年九月二十二日

統監代理　副統監　子爵曾禰荒助

現在		改正	
所名	位置	所名	位置
日影村郵便所	忠淸南道扶餘郡淺乙面上道洞	窺岩里（キガンリ）郵便所	忠淸南道扶餘郡淺乙面窺岩里

統監府告示第百五十六號

明治四十一年十月一日以降管理事務分掌郵便局ヲ外國郵便爲替交換局トス

明治四十一年九月二十二日

統監代理　副統監　子爵曾禰荒助

統監府告示第百五十七號

明治四十一年十月一日ヨリ左記郵便所ニ電話通話事務ヲ開始ス但シ通話料前納證書ノ發行交付事務ハ之ヲ取扱ハス

明治四十一年九月二十三日

統監代理　副統監　子爵曾禰荒助

所名	位置
京城東大門通郵便所	京畿道京城東大門通一丁目

正誤

昨二十八日海軍省令第十一號海軍監獄令施行細則中第四十條監獄ハハ監獄長ハ第九十五條監獄之ヲハ監獄長之ヲノ孰モ誤第百三十條金額ノ下ニ、ヲ脫ス　海軍省副官

本月二十二日農商務省告示第二百三十三號中免許番號第一、二六〇號飯地曳網漁業ノ漁獲物ノ種類ニ飯、鰆ヲ脫ス同二十五日同告示第二百三十五號中免許番號第一二八六號おゝいか漁業ハおゝいか建網漁業同第一二九二號政津村漁業組合ハ光政村漁業組合ノ孰モ誤　農商務書記官

昨二十八日遞信省告示第八百八十六號中スワジランド」ハ「スワジランド」「モアイアン、コン、ゴー」

第7579号　本文

ハ「モアイアン、コンゴー」ノ孰モ誤　遞信省參事官

同日海軍省令第十一號海軍監獄令施行細則第四十二條中場所ニハ場所ヲ第五十二條毎月ハ毎月ノ孰モ誤植

○敍任及辭令

○明治四十一年九月二十八日

敍從六位　正七位勳五等　石立　通雄
任山林事務官　山林事務官補正八位　永山止米郎
敍高等官七等

御用有之淸國ヘ被差遣　帝國鐵道廳技師　工藤　謙
御用有之英領香港佛領柴棍英領新嘉坡暹羅國盤谷和蘭領バタビヤ米領マニラヘ被差遣（以上九月二十八日內閣）　帝國鐵道廳參事　三上　眞吾
特旨ヲ以テ位一級被進（九月二十八日宮內省）　陸軍步兵大尉正七位勳五等　石立　通雄
一級俸下賜　香川縣仲多度郡長　伊熊　貞寶
（各通）　香川縣木田郡長　樋口德太郎
五級俸下賜（以上九月二十六日內務省）　香川縣小豆郡長　細谷　關雄
年俸貳百圓下賜　群馬縣技師　新　萬
一級俸下賜　廣島縣事務官補　原　郡藏
二級俸下賜　神宮皇學館教授　廣池千九郎
五級俸下賜（以上九月二十八日同）　國幣中社貫前神社宮司　朝枝　惟一
免兼職　步兵第五十二聯隊附兼韓國駐箚平壤衛戍病院長陸軍三等軍醫正　北山　啓助
兼補韓國駐箚平壤衛戍病院長（以上九月二十五日陸軍省）　步兵第二十三聯隊附陸軍三等軍醫正　內藤　敬一
（各通）
陸地測量師　山際　市松
陸地測量師　永持　多忠
陸地測量師　村山　維精
陸地測量師　伊藤　祐中
九級俸下賜
（各通）
陸地測量師　山際　市松
陸地測量師　永持　多忠
陸地測量師　伊藤　祐中
陸地測量部班員ヲ命ス
陸地測量部班員兼陸地測量部修技所敎官ヲ命ス　陸地測量師　村山　維精
故陸軍步兵二等卒石田平次明治三十七八年戰役ノ功ニ依リ特ニ金貳百貳拾圓ヲ賜フ　山口縣都濃郡富岡村大字小畑八百七十八番地　石田　ヨナ
故陸軍輜重輸卒牛島淺吉明治三十七八年戰役ノ功ニ依リ特ニ金貳百貳拾圓ヲ賜フ　福岡縣八女郡上妻村大字馬場八百五十六番地　牛島　彌一

故陸軍通譯森種一明治三十七八年戰役ノ功ニ依リ特ニ金百八拾圓ヲ賜フ　長崎縣北高來郡小長井村大字小川原浦百十番戶　森　サエ
（以上九月二十六日同）
免本職補對馬重砲兵大隊中隊長　對馬重砲兵大隊附陸軍重砲兵大尉　若林　長喜
免本職補對馬重砲兵大隊附　對馬重砲兵大隊中隊長陸軍重砲兵大尉　室島鶴吉郎
弘前聯隊區司令部附勤務ヲ命ス　步兵第五十二聯隊附陸軍步兵中尉　阪元　鼎
休職被仰付　佐世保重砲兵大隊附陸軍砲兵少尉　竹森　高介
退役被仰付　陸軍砲兵少尉　野島　忠雄
免本職竝兼職東京帝國大學大學院入學被仰付　陸軍獸醫學校敎官兼同校病馬廠廠員陸軍一等獸醫　宮本　曉誕
免本職補陸軍獸醫學校敎官兼職如故　近衛輜重兵大隊附兼陸軍獸醫學校病馬廠廠員陸軍一等獸醫　渡邊滿太郎
免本職近衛輜重兵大隊附一等獸醫職務心得被仰付　陸軍重砲兵射擊學校附陸軍二等獸醫　岩谷　虎雄
免本職補陸軍重砲兵射擊學校附　騎兵第十四聯隊附陸軍三等獸醫　井上正太郎
免本職補軍馬補充部鍛冶谷澤支部附　野砲兵第二十聯隊附陸軍三等獸醫　長知惣右エ門
免本職補騎兵第十二聯隊附　軍馬補充部鍛冶谷澤支部附陸軍三等獸醫　小原　胞吉
免本職野砲兵第六聯隊附被仰付　騎兵第十二聯隊附陸軍二等獸醫　西田榮次郎
免本職騎兵第六聯隊附被仰付（以上九月二十八日同）　野砲兵第十八聯隊附陸軍三等獸醫　松永　信敬
休職被仰付　海軍大佐　高橋助一郎
免本職補秋津洲軍醫長　橫須賀海兵團附海軍大軍醫　丸田　茂助
免本職　秋津洲軍醫長海軍大軍醫　山口　磐根
待命被仰付但佐世保ニ滯在スヘシ　海軍大軍醫　山口　磐根
（各通）　海軍兵曹長　相良嘉三郎
　海軍兵曹長　志水　恆雄
休職被仰付（以上九月二十八日海軍省）　海軍兵曹長　榊　吉之助
敎科用圖書調查委員會委員　辻　新次
敎科用圖書調查委員會委員理學博士　山川健次郎
敎科用圖書調查委員會委員法學博士　一木喜德郎
敎科用圖書調查委員會委員法學博士　穗積　八束
敎科用圖書調查委員會委員醫學博士　森　林太郎
敎科用圖書調查委員會委員文學博士　井上哲次郎
敎科用圖書調查委員會委員文學博士　中島　力造
敎科用圖書調查委員會委員文學博士　三上　參次
敎科用圖書調查委員會委員文學博士　芳賀　矢一

（各通）
敎科用圖書調查委員會委員文學博士　萩野　由之
敎科用圖書調查委員會委員　渡部董之介
敎科用圖書調查委員會委員文學博士　三宅　米吉
敎科用圖書調查委員會委員　松村　茂助
敎科用圖書調查委員會委員文學博士　田中　義成
敎科用圖書調查委員會委員文學博士　市村瓚次郎
敎科用圖書調查委員會委員　和田　萬吉
敎科用圖書調查委員會委員　牧瀨五一郎
敎科用圖書調查委員會委員　下田　次郎
敎科用圖書調查委員會委員　槇山　榮次
敎科用圖書調查委員會委員　森岡　常藏
敎科用圖書調查委員會委員　吉田　熊次
敎科用圖書調查委員會委員　喜田　貞吉
敎科用圖書調查委員會委員　乙竹　岩造
敎科用圖書調查委員會委員　三土　忠造
主査委員ヲ命ス　敎科用圖書調查委員會委員理學博士　山川健次郎
第一部長ヲ命ス　敎科用圖書調查委員會委員理學博士　山川健次郎
敎科用圖書調查委員會委員法學博士　一木喜德郎
敎科用圖書調查委員會委員法學博士　穗積　八束
（各通）　敎科用圖書調查委員會委員醫學博士　森　林太郎
敎科用圖書調查委員會委員文學博士　中島　力造
敎科用圖書調查委員會委員　渡部董之介
敎科用圖書調查委員會委員文學博士　三宅　米吉
敎科用圖書調查委員會委員　森岡　常藏
敎科用圖書調查委員會委員　吉田　熊次
第一部員ヲ命ス　敎科用圖書調查委員會委員　辻　新次
第二部長ヲ命ス　敎科用圖書調查委員會委員　辻　新次
敎科用圖書調查委員會委員文學博士　三上　參次
敎科用圖書調查委員會委員文學博士　萩野　由之
（各通）　敎科用圖書調查委員會委員文學博士　田中　義成
敎科用圖書調查委員會委員　牧瀨五一郎
敎科用圖書調查委員會委員　槇山　榮次
敎科用圖書調查委員會委員　喜田　貞吉
第二部員ヲ命ス　敎科用圖書調查委員會委員文學博士　井上哲次郎
第三部長ヲ命ス　敎科用圖書調查委員會委員文學博士　井上哲次郎
敎科用圖書調查委員會委員文學博士　芳賀　矢一
敎科用圖書調查委員會委員　松村　茂助
（各通）　敎科用圖書調查委員會委員文學博士　市村瓚次郎
敎科用圖書調查委員會委員　和田　萬吉

敎科用圖書調查委員會委員　下田　次郎
敎科用圖書調查委員會委員　乙竹　岩造
敎科用圖書調查委員會委員　三土　忠造
第三部員ヲ命ス（以上九月二十八日文部省）
東京大林區署在勤ヲ命ス　山林技師　篠澤半五郎
東京大林區署特別經營課長ヲ命ス（以上九月二十八日農商務省）　山林技師　篠澤半五郎
文官普通試驗委員長ヲ免ス　遞信省通信局長　小松謙次郎
文官普通試驗委員長ヲ命ス　遞信省參事官　中谷　弘吉
大臣官房文書課長心得兼務ヲ命ス　遞信省參事官　中谷　弘吉
統計主任及官報報告主任ヲ命ス　遞信省參事官　中谷　弘吉
大臣官房文書課長ヲ免ス　遞信省參事官　棟居喜九馬
統計主任及官報報告主任ヲ免ス　遞信省參事官　棟居喜九馬
千葉縣下ヘ出張ヲ命ス　海事局技師　小林　晋
高知縣下ヘ出張ヲ命ス（以上九月二十六日遞信省）　海事局技師　津田　靜一
十級俸下賜（九月十八日北海道廳）　北海道師範學校敎諭　小田四十一
八級俸下賜（九月二十一日同）　北海道師範學校敎諭　莊司　萬六
休職ヲ命ス（九月二十二日同）　北海道廳立函館商船學校敎諭　章　克巳
八級俸下賜（九月十五日大阪府）　市立大阪高等商業學校敎諭　森下　勇馬
八級俸下賜　長野縣師範學校敎諭　田中福太郎
十級俸下賜（以上九月十五日長野縣）　長野縣松本女子師範學校敎諭　瀨戶福之助
十一級俸下賜（九月二日秋田縣）　秋田縣師範學校敎諭　白坂　高重

正誤

本月二十六日本欄五七三頁上段柴內豪吉ノ辭令文石見水雷長心得兼分隊長心得被仰付ハ補石見水雷長兼分隊長ノ誤同橫地錠二ノ辭令文中水雷長ノ下ニ兼分隊長ノ四字ヲ脫ス五七六頁上段久保平吉ノ辭令文中宗谷ハ八雲ノ誤（以上報告誤）　海軍省副官

○宮廷錄事

○拜謁竝賢所參拜　今般獨逸國ヨリ歸朝ノ陸軍砲兵少佐山崎友造ハ昨二十八日午前十時三十分拜謁仰付ケラレ又米國ヨリ歸朝ノ陸軍砲兵大尉近藤兵三郎ハ同時拜謁竝ニ賢所參拜仰付ケラレタリ

○皇族發著　載仁親王殿下ハ御職務ヲ以テ一昨二十七日御出發千葉縣下ヘ御出張アラセラレタリ

○彙報

○官廳事項

○官吏發著　東園侍從ハ一昨二十七日出發京都及正倉院ヘ出張セリ

仙波步兵第十八旅團長ハ步兵第九聯隊隨時檢閱ニ臨場ノタメ大津地方ニ向ヒ本月二十日內山由良要塞

第7579号 本文

司令官ハ重砲兵第三聯隊秋季野外演習實施ノタメ淡路港村地方ニ向ヒ同二十三日、仁田原歩兵第七旅團長ハ演習地地理實査ノタメ滋賀縣高島郡饗庭村附近ニ向ヒ同二十四日、渡邊第八師團長ハ　皇太子殿下奉送ノタメ青森縣盛岡地方ニ向ヒ梅澤近衞歩兵第二旅團長ハ地理實査ノタメ埼玉縣下ニ向ヒ島村歩兵第四旅團長ハ特別工兵演習ニ關シ盛岡地方ニ向ヒ伊崎歩兵第三十二旅團長ハ歩兵第六十三聯隊檢閲射擊實視ノタメ兵庫縣武庫郡西宮地方ニ向ヒ陸軍被服本廠長矢野正躬ハ支廠事務視察ノタメ大阪及廣島地方ニ向ヒ同二十五日、西教育總監ハ特別工兵演習實視竝ニ仙臺陸軍地方幼年學校教育實視ノタメ仙臺、盛岡地方ニ向ヒ同二十六日、奥參謀總長ハ盛岡地方ニ向ヒ陸軍獸醫學校長今泉六郎ハ內地各師團ノ獸醫部教育及勤務ノ狀態竝ニ裝蹄業務ノ景況其他馬匹衞生ニ關スル現情等視察ノタメ北海道地方ニ向ヒ一昨二十七日、大澤參謀本部第三部長事務取扱ハ盛岡地方ニ向ヒ昨二十八日孰モ出發◎嚮ニ札幌、月寒、函館地在諸部隊臨時檢閲ノタメ同地方ヘ出張ノ第七師團參謀長小池安之ハ本月二十一日、熊本地方ヘ出張ノ須永歩兵第三十六旅團長ハ同二十三日、伏見、敦賀、大津地方ヘ出張ノ中館第四師團軍醫部長ハ同二十五日、定期檢閲ノタメ岐阜ヘ出張ノ大久保第三師團長、伏見、敦賀、大津地方ヘ出張ノ井上第四師團長ハ同二十六日孰モ歸著◎又千葉縣習志野原ヘ出張ノ神尾近衞歩兵第一旅團長ハ一昨二十七日歸京セリ

福井縣事務官池松時和ハ本月二十五日上京セリ

○官吏死去　豫備陸軍二等軍醫從七位勳六等五十嵐良功ハ本月三日、同三等獸醫正八位勳六等中目正ハ同六日、現役陸軍歩兵少尉正八位西尾吏一ハ同十六日孰モ死去セリ

司法及警察

○放免　群馬縣碓氷郡東橫野村大字中野谷村平民串田まんハ故殺ノ罪ニ因リ明治三十八年五月十日前橋地方裁判所ニ於テ、新潟縣南魚沼郡伊米ケ崎村大字千溝平民富永「ナカ」ハ同罪ニ因リ同三十七年十一月九日同裁判所ニ於テ各、重懲役九年ニ處セラレ服役中ノ處本月二十三日孰モ特典ヲ以テ放免シ併テ監視ヲ免セラレタリ

○判決確定　內務大臣ニ於テ曩ニ發賣頒布ヲ停止シ假差押ヲ爲シタル熊本評論第二十七號ハ本月二十一日有罪ノ判決確定セリ

○辯護士名簿登錄　高知縣士族正木宗十ノ請求ニ依リ本月十八日長崎地方裁判所檢事局ニ於テ辯護士名簿ニ登錄セリ

○破產管財人任命　山口地方裁判所管內破產管財人山口縣士族秦包道、野村儀助、泉田幹太郎、市岡禎、勳八等細迫常太、山口縣平民勳七等弘中祭次、兒玉喬治、石津稔介、福田八五郎、平井清作、國光滿太郎、山口縣士族吉富寅太ハ任期滿了ニ付キ本月十五日、山形地方裁判所管內破產管財人山形縣平民關根源治、國井常吉、渡邊彌太郎、笹原清吉、鎌田三右衞門、正六位勳五等橫山知正、山形縣士族林鐵太郎、大泉傳內、香坂官助、茂木邦太郎、長谷川德治、山形縣平民勳八等堀越源四郎ハ同上ニ付キ同十七日、奈良地方裁判所管內破產管財人奈良縣平民磯田復藏、寺田修、玉置格、玉田金三郎、上田龜太郎、鹿兒島縣士族丸尾昌雄、高知縣士族蓼原好規、弘末義路、岡山縣士族從七位松本强二、神奈川縣平民正七位中島信夫、大阪府平民森脇駒次郎ハ同上ニ付キ同十八日孰モ再任ヲ命セラレ、長野縣平民小林明三、山形縣士族西海枝信一、同縣平民田邊豐治ハ同十七日山形地方裁判所管內破產管財人ヲ命セラレタリ

○發賣頒布停止　熊本縣下ニ於テ本月二十日發行ノ熊本評論第三十一號ハ新聞紙條例第三十三條違反ト認メ告發シタルニ付キ同條例第二十三條ニ依リ同二十四日內務大臣ニ於テ其發賣頒布ヲ停止シ假ニ之ヲ差押ヘ且ツ「幸カ不幸カ」「運動ノ新時期」「ドーアルキヤー」ト題スル記事ト同一主旨事項ノ記載ヲ停止セリ

○淸國在留禁止　淸國奉天駐在帝國總領事代理領事ハ左記ノ者ニ對シ明治二十九年法律第八十號淸國及朝鮮國在留帝國臣民取締法第一條ニ依リ本月十六日ヨリ向フ二箇年間淸國在留禁止ノ命令ヲ發セリ

當時淸國奉天十間房第三區警第六十五號
福岡縣福岡市博多大濱町二丁目十四番地平民戶主　料理店業　藤　甚太郎　明治四年十一月十九日生

當時淸國奉天十間房第三區警第六十五號料理店藤甚太郎方同居
福岡縣福岡市博多大濱町三丁目二十二番地平民戶主彌七長男　無職　久保　兵吉　明治十一年六月生

當時淸國奉天十間房第三區警第六十五號料理店藤甚太郎方雇人
福岡縣福岡市東湊入町十三番地平民戶主安太郎二男　料理職　笠　良吉　明治十一年九月二十六日生

當時淸國奉天十間房第三區警第六十八號ノ一
福岡縣小倉市東紺屋町九十九番地平民　料理店業　中里　市松　文久二年四月生

當時淸國奉天十間房第三區警第六十八號ノ一中里市松方同居
和歌山縣海部郡山口村字里二十五番地平民戶主富太郎弟　大工職　西口　龜太郎　明治三年一月生

當時淸國奉天十間房第三區警第十號裏松方同居
山口縣吉敷郡小郡村字東津七百三十番屋敷平民　雜業　秋本　榮太郎　明治七年六月生

當時淸國奉天十間房第三區警第十六號
香川縣丸龜市御供新町五十六番地平民　土木請負　守谷　久太郎　明治十一年生

○豫戒命令執行　大阪府ニ於テ本月二十四日左ノ通豫戒命令ヲ執行セリ

大阪府三島郡三島村大字田中三十四番屋敷平民住所同上無職　森岡　藤次郎　明治十一年十一月十三日生

豫戒令第一條第一號第三號ニ該當スルヲ以テ同令第二條第一項第一號乃至第三號ヲ命令ス

○出火　兵庫、山形二縣ニ於ケル出火左ノ如シ

兵庫縣　本月二十三日午後八時三十分宍粟郡三河村ノ內船越村宍粟製材株式會社工場內ヨリ出火同工場燒失同十一時三十分鎭火セリ

山形縣　本月二十三日午後一時十分飽海郡酒田港ニ繋留ノ汽船渡津丸（百十一噸）ヨリ出火同船一艘燒失燒死者一同三時鎭火セリ

○陸海軍

○停職滿期　停職陸軍三等軍醫諏訪安太郎ハ停職滿期ニ付キ去月二十九日豫備役ト爲レリ（陸軍省）

○儀仗兵歸著取消　昨二十八日本欄內揭載奉天省總督徐世昌ニ對スル儀仗兵歸著ノ項ハ取消ス（陸軍省）

○不要徵兵終決處分者　所在不明ノ徵兵終決處分未濟者中徵兵處分濟、滿四十歲超過、死亡等ノタメ爾後調査ヲ要セサル者左ノ如シ（神奈川縣）

本籍	氏名	生年月日（明治）
橫濱市西戶部町九五七	飯塚　義數	一五、五、一
同足曳町二ノ一五	牧野　周一	一五、八、一
同花咲町八ノ八六	春田　賢太郎	一九、一〇、二七
同西戶部町一六	南雲　市之助	一九、七、一五
同南吉田町九二六	田島　德藏	二〇、二、一四
同伊勢町五ノ九七	高橋　山太郎	二〇、七、二八
同石川町六ノ二八	今井　力太郎	二〇、三、一三
同西戶部町三九	中村　松之助	二〇、八、二四
同北方町一九四	平山　樹藏	一七、一、二九
同松影町三ノ一二四	中村　銀次郎	一九、二、一
同根岸町八六一	富井　松太郎	二〇、五、二四
同長者町八ノ八二	鈴木　菊藏	一五、五、二四
同羽衣町一ノ八	金澤　清太郎	一六、二、二
同神奈川町五〇	北島　伊之助	一七、三、三
同南太田町一四七〇	伊藤　藤吉	二〇、六、二九
高座郡六會村龜井野一三五八	小野　藤藏	二〇、二、一三
同藤澤町四〇四八	三堀　良藏	一九、七、一五
同松林村香川一三二六	岡本　利助	一九、九、三
三浦郡南下浦村菊名四七	石井　兵吉	一八、三、二七
同浦賀町谷戶六三	山北　恭三	一八、三、三
都筑郡柿生村王禪寺三一九	小松　安太郎	一九、二、一七
足柄下郡大窪村入生田一一五	府川　安太郎	一八、二、八
同眞鶴村六七三	青木　信太郎	二〇、一、一五
同小田原町幸二ノ二九一	笠原　米吉	一八、四、六
同新玉四ノ七一一	豐田　善吉	二〇、三、一五
橘樹郡橘村千年五六六	石井　辰五郎	一九、四、一三
同高津村下作延五四三	森谷　平八	一九、三、八
橫濱市海岸通五ノ二〇	近藤　龜太郎	一五、三、八
同青木町二八八	並木　久四郎	一八、五、三〇
同眞砂町三ノ三七	榊　傳藏	一九、三、八
同上野町二	小田　德太郎	一七、一、二七
同眞鶴村（六七三八八六）	吉澤　伊之助	二〇、一、二
中郡須馬村馬入二六八五	大野　時次郎	一八、一、二
同相川村岡田一三五〇	飯田　重太郎	一九、三、七
同秦野町曾屋二三三六	杉山　猪之助	二〇、四、四
同西秦野村千村二一九	小野　房藏	一九、三、七
鎌倉郡本郷村小菅谷二六一九	水野　竹三郎	二〇、九、二一

○軍艦發著　各港灣ニ於ケル軍艦發著左ノ如シ

艦名	月日	著	發	行先
鎭遠	九、二六	品川		
周防 曙 有明	同	橫須賀		
明石	同	玖波		
文月	同	竹敷		
宇治	九、二七	佐世保		
長月 卯月 潮 子日 若葉 朝風	同		別府	吳
吾妻	九、二七	橫須賀		
比叡	同		穴水	小濱
新高	同		津	橫須賀
相模	同	館山		
松江	九、二八	釜山		
赤城	同		旅順	
淺間	同		吳	廣島灣
壹岐	同	橫須賀		

（海軍省）

米國軍艦「レインボー」、「コンコード」、「デンヴァー」、「ガルヴェストン」、「チヤタヌーガ」ハ本月二十三日マニラニ向ヒ長崎拔錨、佛國軍艦「ダントルカストー」ハ同二十四日同所ヘ投錨（長崎縣）◎佛國軍艦「デシデー」ハ本月二十三日唐津ヘ投錨セリ（佐賀縣）

○學事

○教科用圖書調査委員會規則及教科用圖書調査委員會會長職務規程　文部省ニ於テ今般教科用圖書調査委員會規則及教科用圖書調査委員會會長職務規程ヲ左ノ如ク定メタリ（文部省）

教科用圖書調査委員會規則

第一條　主査委員ハ文部大臣ノ命ニ依リ左ノ三部ニ分屬ス

第一部　修身教科用圖書
第二部　歷史教科用圖書
第三部　國語教科用圖書

第二條　各部ニ部長ヲ置キ部員中ヨリ文部大臣之ヲ命ス

部長ハ會長ノ指揮ヲ承ケ部ノ事務ヲ整理ス

第三條　各部ノ部員ハ九名以內トシ內四名以內ヲシテ起草ヲ擔任セシム

第四條　各部ニ補助員若干名ヲ置キ起草員ノ職務ヲ補助セシムルコトアルヘシ

第五條　會議ハ總會及部會トス總會ハ委員全部ノ會議トシ部會ハ部員ノ會議トス

總會ニ於テハ會長其ノ議長ト爲リ部會ニ於テハ部長其ノ議長トナル

第六條　總會ニ於テ議スヘキ事項左ノ如シ

一　編纂ニ關スル大體ノ主義方針
二　部ノ主査ヲ經タル圖書ノ確定
三　文部大臣ヨリ諮詢シタル事項
四　其ノ他會長ニ於テ必要ト認メタル事項

第七條　部會ニ於テ議スヘキ事項左ノ如シ

一　編纂ニ關スル要目
二　起草員ノ起草シタル圖書ノ審議
三　會長ヨリ調査ヲ付託シタル事項
四　其ノ他部長ニ於テ必要ト認メタル事項

第八條　他部ニ關涉スル事項ニシテ協定ヲ要スルモノアルトキハ聯合部會ヲ開キテ之ヲ定ムヘシ

聯合部會ニ於テハ部長中ノ年長者其ノ議長ト爲ル

第九條　會長副會長及當該部ニ屬セサル委員ハ隨時部會ニ出席シテ意見ヲ陳述スルコトヲ得但シ議決ノ數ニ加ラス

第十條　會議ノ議事ハ出席委員ノ過半數ニ依リ之ヲ決ス

總會及部會ノ議長ハ議決ノ數ニ加ラス但シ可否同數ナルトキハ議長之ヲ決ス

第十一條　會長副會長共ニ事故アルトキハ委員ノ一人ヲシテ其ノ職務ヲ代理セシムルコトヲ得

部長事故アルトキハ部員ノ一人ヲシテ其ノ職務ヲ代理セシムルコトヲ得

第十二條　總會ノ議事ニ際シ會長自ラ意見ヲ陳述セントスルトキハ副會長ヲシテ其ノ職務ヲ行ハシメ副會長事故アルトキハ委員ノ一人ヲシテ議長ノ職務ヲ行ハシムルコトヲ得

前項ノ規定ハ部會ノ議事ニ關シ之ヲ準用ス

教科用圖書調査委員會會長職務規程

第一條　會長ハ副會長、委員、幹事、書記ノ進退ニ付文部大臣ニ稟申スルコトヲ得

第二條　教科用圖書調査委員會規則第四條ニ依リ補助員ヲ置クノ必要アルトキハ會長ハ文部大臣ノ許可ヲ受ケ之ヲ囑託スルコトヲ得

第三條　會長ニ於テ必要ナリト認メタルトキハ文部大臣ノ許可ヲ受ケ在官者若ハ官職ヲ有セサル者ニ調査事務ヲ臨時囑託スルコトヲ得

第四條　左ニ揭クル事項ハ會長ニ於テ專行スヘシ

一　事務ノ整理ニ必要ナル細則ヲ定ムルコト
二　雇員ノ進退ニ關スルコト
三　副會長、委員、幹事、囑託員、書記及雇員ノ除服出仕及請暇ニ關スルコト
四　諸規則及報告等ノ印刷ニ關スルコト
五　其ノ他委員會ノ常務ヲ處理スルコト

第五條　前條ニ揭ケタル事項ノ外總テ文部大臣ノ許可ヲ受ケテ施行スヘシ

○入學許可　第二高等學校ニ於テ山形縣士族降旗龜次郎（第二部乙類）ニ本年大學豫科新入生補闕トシテ來ル十月一日ヨリ入學ヲ許可セリ（文部省）

○產業

○牛疫　本月十二日ヨリ同十八日マテニ府縣ヨリ報告シタル牛疫發病、斃死、撲殺頭數左ノ如シ（農商務省）

府縣	發病	斃死	撲殺
大阪	八	｜	八
神奈川	二〇	｜	二〇
奈良	八	一	七
德島	三八	｜	三八
計	七四	一	七三

（備考）初發ヨリ本月十八日マテニ發病二千五百二十九頭、斃死百三十三頭、撲殺二千三百八十二頭ナリ

○通運

○官設鐵道收入概算旬報　官設鐵道去月二十一日ヨリ同三十一日ニ至ル收入概算左ノ如シ　△印ハ減（遞信省）

線名／件目	平均營業哩 本年度	平均營業哩 前年度比較增減	旅客人員 本年度	旅客人員 前年度比較增減	貨物噸數 本年度	貨物噸數 前年度比較增減	客車收入 本年度	客車收入 前年度比較增減	貨車收入 本年度	貨車收入 前年度比較增減	收入總計 本年度	收入總計 前年度比較增減
東海道線	四一三	五	六八一、七一六	七四、九九六	七六、八八九	二三、三一五	三八二、九三八圓	六九、八一八圓	一八三、四一二圓	七七、六〇一圓	五六六、三五〇圓	一四七、四一九圓

第7579号 本文

第7579号 本文

北陸線	一五四	—	九六、四九〇	二、六九一	六、九五六	五九九	四七、六四一	六、六五五	一八、五〇一	四、八七八	六六、一四二	一一、五三三
信越線	一一八	—	六五、四四一	五、五七九	五、九七一	△二一七	三〇、六九一	六、〇九八	一二、八〇二	二、七〇九	四三、四九三	八、八〇七
奥羽線	三〇六	三	一〇四、一八八	△二、八四一	一三、九八二	四、三五九	四〇、〇二二	四七六	三七、九五四	一五、三七〇	七七、九七六	一五、八四六
中央東線 元局	一五九	—	八九、二七七	二、三六八	六、六八八	三、七四七	二九、六〇一	六、五五四	一一、八四七	六、八二七	四一、四四八	一三、三八一
中央東線 元甲武	二八	—	一〇三、七一二	二三、四二〇	八、二〇二	四、八五六	一四、一一〇	七、一一〇	九、五〇八	五、九六二	二三、六一八	一三、〇八二
山陰西線	七四	七	三一、四七二	二、七〇〇	二、一九二	一、一三八	九、六七七	三、三一二	五、五一〇	四、二六〇	一五、一八七	七、五七二
鹿兒島線	四一	—	一九、八四〇	△四、〇八一	一、四七九	△一九	六、〇九〇	△八七	一、七九五	三七	七、八八五	△五〇
中央西線	五六	六	二六、五三七	一、二〇〇	二、六三〇	△一、〇七二	九、七二一	一、〇七一	五、三七三	二、〇六二	一五、〇九四	三、一三三
北海道線 元局	二七五	四四	四二、八六二	二、九六七	二一、四四四	三、四〇八	二四、七五六	五、四六八	三七、六八〇	七、三二六	六二、四三六	一二、七九四
北海道線 元炭礦	二一一	三	六九、七〇七	△一三六	八二、〇七三	二六、六一六	三四、三八七	△一六四	九六、七二一	三、七五六	一三一、一〇八	二七、九九四
北海道線 元北海道	一五九	—	三四、四五一	△六、〇四八	八、六八六	一七六	二六、七二三	△六一八	一三、五〇八	二八、一五八	四〇、二三一	三、一三八
元日本線	八六〇	一	五三四、五六九	一九、〇九七	一〇四、〇二五	六〇、八六七	二二六、七五八	三二、一四〇	二三四、七四五	一三五、四九四	四六一、五〇三	一六七、六三四
元岩越線	五〇	—	一三、九三九	一、二五三	三、〇七〇	一、九四九	五、九三二	一、三一三	七、七四〇	四、三六七	一三、五七二	五、六八〇
元讃岐線	二七	—	四四、四七五	△一二三	九五七	一四、四〇〇	九、三五五	六、一五六	六一一	三一、一五一	九、九六六	三七、三〇七
元山陽線	四〇四		二九八、三八五		三八、四六六		二九、九六〇		八七、四五八		二一七、四一八	
元九州線	四九四	三九	四二二、二八七	△二七、五六一	二三三、六八一	八九、七四二	一四三、二一二	三、五五一	一九五、〇一六	七一、一五六	三三八、二二八	七四、七〇七
元北越線	八六	—	五一、三一三	二一、三一四	六、四四九	△三〇九	二二、五四六	五、三七二	一六、三八〇	六、四八三	三八、九二六	一一、八五五
元京都線	二二	—	二四、八六四	二、一二八	二、八七九	一、五五一	四、二〇二	七一九	二、五四三	一、二三三	六、七四五	一、九五二
元阪鶴線	九五	一	四九、九八〇	一一、七九八	六、七七〇	四、〇七九	一五、八一五	三、三二八	一〇、九一七	六、三五一	二六、七三二	九、五七九
元總武線	七三	—	一〇六、三五八	（一七、一三四）	八、三六八	（二、六二九）	二八、八八一	（四、六八九）	一二、五〇三	（五、二〇五）	四一、三八四	（九、八九四）
元房總線	三九	—	二三、八五四	（六、二一九）	二、八〇三	（七六四）	六、八四八	（一、一二四）	三、二五九	（八三一）	一〇、一〇七	（一、九五五）
元七尾線	三四	—	一三、一八五	（四、七五四）	八三三	△（二二六）	四、六六四	（一、二一四）	一、八八九	（一五三）	六、五五三	（一、三六七）
元德島線	二二	—	一八、八〇八	△（一、六一一）	九二一	△（一、一七四）	二、七三七	△（六二）	八〇〇	△（一〇三）	三、五三七	△（一六五）
元關西線	二七四	△（六）	二八一、九三一	（三二、二三五）	二五、四六七	（三、六八六）	七三、〇九三	（一、二七三）	四〇、〇六八	（一二、四六〇）	一一三、一六一	（一三、七三三）
元參宮線	二六	—	三二、六四一	（九、三八五）	一、三三〇	（四二四）	一、七八五	（二、七九二）	二、四二九	（九一二）	一四、二一四	（三、七〇四）
山陰東線	八	八	三、八一四	三、八一四	六二六	六二六	二、二七三	二、二七三	一、七一八	一、七一八	三、九九一	三、九九一
合計	四、五〇八	五八五	三、二八六、〇九六	二〇二、六五一	六七二、八二七	二四五、九一四	一、三四四、四一八	一七一、四八五	一、〇五二、五八七	四三六、三五七	二、三九七、〇〇五	六〇七、八四二

（備考）表中括弧ヲ附スルモノハ會社經營時代ノ數ニ比較シタルモノナリ阪鶴線ハ前年度材料不備ナルヲ以テ比較セス

○雜事

○感化法施行　內務大臣ハ感化法第十四條ニ依リ來ル十月一日ヨリ京都府及廣島香川兩縣ニ感化法ヲ施行スルコトニ定メタリ（內務省）

○日本海員掖濟會月報　日本海員掖濟會各地出張所及高等海員養成所ニ於ケル去月中ノ事業成績左ノ如シ（遞信省）

科目　所名	橫濱	品川	大阪	神戶	函館	長崎	門司	小樽	[illegible]	四日市	計	本年度累計
養成水火夫採用人員	三九	—	三八	三六	一三	一二	一四	七	三三	—	一九二	八七四
同成業人員	二三	—	一八	五	七	八	二	四	二四	—	八一	三七五
同廢業人員	一五	—	三七	一五	六	四	六	二	一	—	八六	五〇二
高等海員入學者	—	一三	—	三	—	—	—	—	—	—	一六	一五七
同卒業者	—	二	—	一	—	—	—	—	—	—	三	一一七
同退學者	—	一〇	—	二	—	—	—	—	—	—	一二	七六
各船舶ニ供給シタル海員數	二三八	六八	四〇七	一九七	一〇五	四九	二二五	一三二	—	—	一、四二一	七、六七一
寄宿所入舍海員數	六一	一〇	一九	二五	五〇	一〇	二二	—	—	三八	二三五	八六五
傷病海員收容數	八三	四	一〇二	一〇	六	二六	九一	四七	—	—	三六九	一、二〇九

本月分會員入會數通常會員二百四十八、現在會員總計六万六百六十九人ナリ

正誤

本月二十五日本欄鴨綠江採木公司業務章程及同業務章程ニ關スル覺書ノ項中五三四頁上段二行一万九千元ハ一万五千元ノ誤同下段初行濵江沿岸ノ下、ハ衍同三十三行要スルハ要セルノ誤（以上誤植）

○地方行政

○縣會　富山縣ニ於テ本月二十四日招集ノ臨時縣會ハ同二十五日議了閉會セリ（富山縣）

○在外公館報告

○遼陽傳染病病況　遼陽ニ於ケル傳染病病況ニ付キ同地駐在副領事鈴木要太郎ヨリ本月十八日附ヲ以テ左ノ如ク報告アリ（外務省）

本年五月以來當地方ニ腸窒扶私發生シ今日マテノ取調ニ依レハ邦人罹病者男十三、女四ニシテ死亡者女三ナリ

○香港傳染病病況　香港ニ於ケル傳染病病況ニ付キ同地駐在副領事船津辰一郎ヨリ本月十六日附ヲ以テ左ノ如ク報告アリ（本月二十二日本欄內參看）（外務省）

九月六日ヨリ同十二日ニ至ル一週間當地傳染病ハ「ペスト」新患者及死亡者共皆無ニシテ虎列剌新患者五人、同死亡者四人ナリ今本年初發以來ノ累計ヲ示セハ左ノ如シ

	患者	死亡者
「ペスト」	一、〇八七	九〇七
虎列剌	五三	四四

○オデッサ虎列剌病況　オデッサニ於ケル虎列剌病況ニ付キ同地駐在副領事福田直彥ヨリ本月二十四日發ヲ以テ左ノ如ク電報アリ（外務省）

露都ノ虎列剌ハ南露地方ニ蔓延シ當地ニモ十五人ノ患者ヲ出シ當地出帆ノ汽船ハ君士但丁ニ於テ五日間檢疫ヲ受クルコトヽ爲レリ

○上海綿花及綿絲市況　上海ニ於ケル綿花及綿絲市況ニ付キ同地駐在總領事永瀧久吉ヨリ本月二十六日發ヲ以テ左ノ如ク電報アリ（本月二十二日本欄內參看）（外務省）

綿花ハ荷回稍〻增加シタレトモ手合薄相場強含ミ四牌十九兩二十錢、印度綿ハ各方面共一層需要盛ナルタメ二兩高ニテ五〇〇俵商ヒアリ在荷三〇三九三」本邦絲ハ在荷薄ト大阪高ノタメ相場釣上リタレトモ商談少ク印度及支那絲ノ安物ニ壓倒セラル、傾向アリ外商ハ輸出獎勵案ヲ不成效ト稱ヘリ在荷二八七七、鐘ヶ淵藍魚十六手一〇一兩、倉敷三馬十六手九七兩五〇錢、平野立馬十六手九七兩七五錢

○孟買綿花市況　孟買ニ於ケル綿花市況ニ付キ同地駐在領事藤田敏郎ヨリ本月二十六日發ヲ以テ左ノ如ク電報アリ（本月二十二日本欄內參看）（外務省）

產地作柄極テ好シ需要可ナリアリテ現物手堅シ先物ハ英米市況弱氣「マンチェスター」罷工ノタメ底意弱シ現「ファインブローチ」二一八、「ファインベンガル」同事、一月積「ベンガルアコラ」同事、「ファインナグプール」二一一、三月積「グードブローチ」二二九在荷二十八万

○上海經濟狀況　上海ニ於ケル去月中ノ經濟狀況ニ付キ同地駐在總領事永瀧久吉ヨリ本月十一日附ヲ以テ左ノ如ク報告アリ（去月二十九日本欄內參看）（外務省）

銀塊相場及爲替相場　天下ノ事一トシテ不確定ナラサルモノナシト雖モ銀塊相場ノ動搖程豫測シ難キモノハ甚タ稀ナリ卽チ昨年十月以來倫敦銀塊相場ハ急轉直下シテ三十一片臺ヨリ本年五月ニ至リテ遂ニ二十四片ニ下落シ三十三年以來（二十一片十六分ノ十一）未曾有ノ低價ヲ示シタレハ之ヨリ以下ニ下落セントハ萬々ナカルヘシト豫想セシニ豈ニ圖ランヤ本月ニ入リテ遂ニ二十三片臺ニ落込マントハ蓋シ是レ三十三年以來未曾有ノ低落ニシテ其原因ハ倫敦及紐育市場ニ於テ銀相場ノ先高ヲ見越シ思惑買セシ者多カリシニ印度及支那共需要依然多カラサルタメ遂ニ投賣セシニ在ルカ如シ

銀塊相場ノ低落ト共ニ爲替相場モ亦大騰落ヲ來シ橫濱宛ハ最高八十七兩四分ノ一、倫敦宛電信ハ最低二志四片八分ノ一ニ上下シ昨年同季ニ比較スレハ前者ハ百圓ニ付キ約二十兩、後者ハ百圓ニ付キ約二磅半方ノ差ヲ生スルニ至リシヲ以テ新規手合ノ出來サルノミナラス約定物モ受授スル能ハサルニ至リ市場益〻沈靜ニ陷ラントシツヽアリ左ニ八月中銀塊相場及倫敦竝ニ橫濱宛電信爲替ノ主ナル變動ヲ示サン

日附	銀塊相場 片	倫敦宛電信 志 片	橫濱宛電信 兩
一日	二四[illegible]	二 四[illegible]	八六
五日	二四[illegible]	二 四[illegible]	八五[illegible]
八日	二四[illegible]	二 四[illegible]	八六[illegible]
十一日	二四	二 四[illegible]	八五[illegible]
十二日	二三[illegible]	二 四[illegible]	八六[illegible]
十三日	二四[illegible]	二 四[illegible]	八六[illegible]
十四日	二四[illegible]	二 四[illegible]	八五[illegible]
十五日	二三[illegible]	二 四[illegible]	八六[illegible]
十七日	二三[illegible]	二 四[illegible]	八六[illegible]
二十二日	二三[illegible]	二 四[illegible]	八六[illegible]
二十六日	二三[illegible]	二 四[illegible]	八七[illegible]
二十八日	二三[illegible]	二 四[illegible]	八七[illegible]
三十一日	二三[illegible]	二 四[illegible]	八七[illegible]

銀行正貨在高及金利　七月末錦銀千七百万兩、墨銀八百四十万弗ヲ存セシ當地外國銀行ハ新綿及新米ノ開市ト共ニ錦銀墨銀共各〻約百万兩（弗）ヲ減少シ本月二十八日ニ於ケル高ハ錦銀千六百十九万兩、墨銀七百六十三万弗ヲ示セリ支那銀行ノ借入高ハ約百万兩增加シテ同日二千百三十万兩ヲ數ヘリ獨リ外國銀行利子ハ千兩ニ付キ日歩七分乃至一匁一分ノ間ヲ往來シ前月ト大差ナク比較的低率ヲ保テリ支那銀行利子ハ最高二匁五分最低四分ノ一匁ノ間ヲ往來シ其差僅ホ一匁一分ヲ示セトモ是レ主トシテ月初及月杪ノ變動ノタメニシテ多クハ一匁三四分ノ所ニ在リテ是レ亦比較的低率ヲ保チ金融極テ緩慢ヲ示セリ左ニ主ナル金利ノ變動及月初月末ニ於ケル正貨在荷高ヲ示サン

金利ノ高低（日歩千兩ニ付キ）

日附	外國銀行利子 匁	上海銀行利子 匁
一日	〇・八	一・二
五日	一・〇	一・八
六日	〇・七	〇・七
十日	〇・九	一・四
十五日	〇・八	一・五
十九日	一・〇	一・二
二十二日	〇・七	一・二
二十四日	〇・八	一・五
二十九日	一・一	一・一
三十一日	一・四	二・九

銀行正貨在高及支那銀行借入高

		千位兩		千位弗		千位兩
月初	錦銀	一七、二六〇	墨銀	八、六六〇	借入高	二一、四二五
月末	同	一六、二八〇	同	七、五二〇	同	二一、八七〇

金塊及墨銀相場　銀塊相場ノ大崩落ト共ニ金塊相場ハ最低四百六兩ヨリ最高四百十九兩ニ上騰シ實ニ未曾有ノ高價ヲ示セリ墨銀相場ハ在荷約百万弗ノ減少ト新綿及新米買入資金ノ需要起リシタメ百弗ニ付キ約一兩方昂騰シ百弗ニ付キ七十三兩臺ヨリ七十四兩臺ニ上リ漸次昂騰ノ傾向ヲ示セリ卽チ左ニ金塊及墨銀相場ノ主ナル變動ヲ示サン

日附	金塊相場（百兩ニ付キ） 兩	墨銀相場（百弗ニ付キ） 兩
一日	四一〇	七三・四八七五
六日	四〇六	七三・四三七五
十日	四〇九	七三・四八七五
十五日	四一四	七三・八三七五
十八日	四一六[illegible]	七四・二五
二十日	四一九	七三・九八七五
二十五日	四一五[illegible]	七四
二十六日	四一八	七四・〇三七五
二十九日	四一七[illegible]	七四・〇二二五
三十一日	四一七[illegible]	七四・二七五

一般商況　既述ノ如ク銀價ハ二十四片臺ヨリ二十三片ニ落チ銅價モ依然トシテ下落ノ傾向ヲ呈シ一弗ニ付キ千二百四十文替ヨリ千二百五十文替ニ下リ內外爲替ノ關係竝ニ小商人ノ取引上甚タ不利ナルノミナラス長江筋及南淸一帶ノ水災竝ニ北淸方面ノ旱魃等外界ノ不景氣ニ連レ當市場モ依然不景氣ノ渦中ヨリ脫スル能ハス一時活況ニ向ヒタル綿物モ米綿及印度綿ノ下落ト共ニ再ヒ下落シ尙ホ一層下落ノ傾向アルヲ以テ長江筋四川方面トモ更ニ買進マス牛莊方面ハ一時爲替ノ恢復セシタメ稍〻景氣付キタルヤノ觀アリシモ月末ニ及ヒテ又〻下落セシタメ再ヒ沈靜ノ狀態ト爲リ天津方面モ依然トシテ振ハス信用取引ニ依ル直接輸入ノ新方面モ見ルヘキ效果ヲ齎サヽルカ如シ獨リ朝鮮方面ハ比較的好況ヲ呈シ便船每ニ千乃至二千ノ荷物ヲ積送リツヽアリテ前新米及新綿モ目下弗〻寧波及浦東地方ヨリ出荷シツヽアリ新綿作柄ハ各地共頗ル好況ヲ呈シ毛筋モ佳良ニシテ相場ハ機械繰上等九月末渡十八兩半內外ヲ唱ヘ昨年同季ノ相場ヨリモ稍〻強氣ヲ呈セリ新米作柄ニ付キ最近各地ノ情報ニ依レハ江蘇、湖南及雲南ノ一部ヲ除ク外出來合甚タ宜カラス直隸、河南、山東ノ一帶及江蘇、安徽ノ一部ハ入夏以來殆ト降雨皆無ノタメ今ヤ旱魃ノ姿ト爲リ長江筋卽チ湖南、安徽、江蘇及廣西ノ一部ハ水災ノタメ著シク損傷ヲ被リ特ニ河南省彰德府下ノ如キハ收穫皆無ノ豫想ナルタメ各地共米價騰貴シ小民ノ困苦一方ナラサル模樣ナリ獨リ上海附近ハ甚シキ水災モナク天候適順ニシテ「タイフーン」ノ厄モ無難ニ免レシタメ目今ノ處生立頗ル滿足ニテ昨今續〻新米入市シ在荷寧ロ停滯ノ姿ナルタメ相場モ漸次下落ノ傾向ヲ呈シ先月末上等白米一石ニ付キ八弗七十仙ヲ唱ヘシモノ昨今ハ八弗內外ニ止リ昨年同季ヨリモ二三十仙方下位ニ在ルニ至レリ

商況ノ前途如何　今ヤ上海ハ近來稀有ノ不景氣ナル時季ヲ經過シツヽアルモノニシテ此不景氣ハ果シテ何時恢復スヘキカトハ誰モ憂慮スル所ナレトモ前述ノ如ク銀價依然恢復ノ兆アリ市況恢復ノ唯一ノ依賴トセシ米作モ甚タ滿足ナリト謂フヲ得ス米價日ニ騰リテ小民ノ困苦漸ク加ラントスルノ勢アリ之ニ加ヘテ南淸ノ水災、北淸ノ旱魃、長江筋ニ於ケル惡疫ノ流行ハ一般ノ人氣ヲ沮喪セシムルコト尠カラス且ツ近時流行ノ利權回收熱ハ其勢益〻旺ニシテ續〻鐵道、鑛山及航海權等ノ回收ヲ實行セントスルニ從ヒ國民ノ負擔ヲシテ益〻重カラシメントスルノ傾向アリ之カタメニ抑テ地方產業ノ勃興ヲ妨ケ國民ノ購買力ヲ一層殺減セントシツヽアリ若シ斯ノ如クニシテ已マスンハ上海市場ハ勿論淸國市場ノ恢復ハ容易ニ希望スヘカラサルニ似タリ

第7579号 本文

○觀象

○全國氣象

九月二十四日

區	測候所	氣壓 午前六時	氣壓 八時間差	溫度 午前六時	溫度 最高	溫度 最低	風 風向	風 風速	雨量 廿四時間	天氣
一	恆春	七五六・五	一一・九	二六・七	三〇・五	二五・六	北東	一〇	二	晴
	臺南	七五八・二	一二・〇	二三・〇	三〇・八	二四・一	北北西	四	一	快晴
	澎湖島	七五六・二	一一・七	二四・二	三三・二	二四・五	南東	二	一	快晴
	臺中	七五六・五	一一・七	二六・三	三〇・四	二六・三	北北東	七	一	快晴
	臺北	七五六・七	一〇・八	二二・三	三三・九	二三・六	一	一	一	快晴
	石垣島	七五八・七	一一・四	二四・八	三二・七	二四・四	東	六	一	快晴
	那覇	七五九・九	一一・七	二四・九	三〇・九	二六・九	東北東	四	三	晴
	名瀬	七六一・七	一一・四	二四・八	三一・〇	二三・八	東南東	三	一	快晴
二	佐多岬	七六二・二	一〇・七	二一・〇	三〇・一	二一・二	南南西	二	一	曇
	都井岬	七六二・二	一〇・四	二三・〇	二六・六	二〇・六	北東	二	一	曇
	鹿兒島	七六二・九	一〇・三	二〇・三	二四・七	一九・三	北	二	一	曇
	宮崎	七六二・八	一〇・一	一九・七	二七・七	一九・〇	一	四	一	曇
	熊本	七六二・二	〇・〇	一七・一	二六・九	一八・三	一	一	一	雨
	足摺	七六三・〇	十〇・二	二二・五	二六・九	一五・八	北	〇	一	曇
	高知	七六三・六	十〇・四	二一・八	二七・二	一九・九	北	二	一	曇
	廣島	七六二・五	十〇・一	一九・四	二五・七	一五・〇	南西	八	一	曇
	和歌山	七六二・一	十〇・六	一八・六	二六・二	一四・三	一	二	一	曇
	日ノ御崎	七六三・六	十〇・四	一九・三	二四・六	一四・六	東	一	一	曇
	潮岬	七六三・三	十〇・八	二〇・七	二五・五	一六・四	北	四	一	曇
三	大分	七六三・三	十〇・四	一七・〇	二四・六	一四・七	一	二	一	曇
	松山	七六三・四	一・九	一七・一	二五・五	一五・一	南南東	〇	一	曇
	多度津	七六三・三	十〇・三	一八・二	二六・九	一四・九	一	〇	一	曇
	嚴島	七六三・九	十〇・三	一七・五	二七・〇	一七・七	一	二	一	曇
	呉	七六三・六	十〇・五	一七・四	二八・一	一七・七	北北東	〇	一	曇
	岡山	七六三・八	十〇・六	一七・六	二六・〇	一七・六	一	一	一	曇
	神戸	七六三・七	十一・五	一七・九	二七・二	一五・四	一	一	一	曇
	大阪	七六三・〇	十〇・七	一八・三	二五・五	一四・九	一	三	一	曇
	京都	七六四・〇	十〇・四	一六・二	二六・〇	一三・五	北東	一	一	曇
	八木	七六四・一	十一・〇	一七・〇	二六・〇	一三・七	一	〇	一	曇
四	大瀬崎	七六二・二	〇・九	一八・三	二一・四	一八・八	北	五	一	曇
	長崎	七六三・二	一〇・二	一八・〇	二五・八	一八・二	北北西	二	一	曇
	佐世保	七六三・七	一〇・二	一六・〇	二六・五	一七・三	北北西	二	一	雨
	佐賀	七六三・六	一〇・二	一七・〇	二五・九	一七・一	東南東	二	一	雨
	福岡	七六三・六	一〇・四	一六・〇	二四・八	一四・七	一	一	一	曇
	嚴原	七六三・八	一〇・三	一六・二	二四・二	一八・一	一	一	一	曇
	下關	七六三・九	一〇・一	一七・〇	二四・〇	一五・〇	北北東	四	一	雨
	濱田	七六四・四	十一・〇	一五・七	二二・三	一五・六	一	〇	一	曇
	西郷	七六四・二	十〇・一	一六・三	二二・五	一五・〇	北	三	一	曇
	經ヶ岬	七六二・七	一〇・二	一八・〇	二三・九	一三・七	北東	二	一	曇
	舞鶴	七六四・〇	〇・〇	一六・八	二四・九	一五・四	一	〇	一	曇
五	波切	七六三・六	十〇・五	一九・九	二四・九	一七・四	一	一	一	曇
	津	七六三・四	十〇・九	一七・五	二六・六	一三・六	一	〇	一	曇
	岐阜	七六三・三	十〇・四	一六・三	二六・七	一五・六	北	二	一	曇
	名古屋	七六二・七	十〇・五	一六・九	二七・五	一五・四	北西	二	一	曇
	濱松	七六二・九	十〇・八	一八・八	二六・六	一七・〇	西	三	一	曇
	長津呂	七六二・八	十一・四	二一・六	二四・四	一八・八	北	三	一	曇
	沼津	七六二・八	十一・九	一八・三	二六・四	一五・九	東北東	二	一	曇
	横須賀	七六三・〇	十二・一	一八・八	二四・四	一八・〇	一	一	一	曇
	横濱	七六二・九	十二・一	一八・七	二四・八	一八・五	北西	四	一	曇
	東京	七六三・六	十一・九	一六・三	二六・一	一六・四	北西	三	一	曇
	熊谷	七六二・九	十二・六	一六・六	二六・六	一四・一	北北西	二	一	曇
	布良	七六二・五	十一・〇	二〇・二	二五・一	二〇・四	北	二	一	曇
	銚子	七六二・三	十一・九	二三・六	二四・一	一九・一	東北東	六	一	曇
	八丈島	七六二・六	十〇・一	二三・八	二五・四	二一・三	南	四	一	雨
	父島	七六一・六	〇・七	二五・〇	三一・〇	二五・三	東北東	三	一	晴
六	高山	七六五・七	十一・二	一一・〇	二四・三	一〇・四	一	〇	一	曇
	飯田	七六五・三	十二・一	一三・〇	二四・四	一一・六	一	一	一	曇
	松本	七六五・〇	十二・三	一一・三	二四・八	七・九	一	〇	一	曇
	長野	七六五・一	十二・二	一三・二	二六・九	一三・〇	一	〇	一	曇
	甲府	七六三・八	十二・二	一一・二	二七・〇	一四・二	一	一	一	霧
	前橋	七六三・四	十二・〇	一五・五	二五・二	一五・一	北北西	二	一	曇
	足尾	七六三・九	十一・五	一二・四	二一・五	一〇・八	一	〇	一	曇
	宇都宮	七六三・四	十二・〇	一五・三	二五・五	一一・七	南東	二	一	曇
	福島	七六三・三	十一・四	一六・一	二六・二	一四・八	一	一	一	曇
七	彦根	七六三・九	十〇・四	一六・五	二三・七	一三・八	一	一	一	曇
	福井	七六四・一	十〇・一	一五・一	二五・五	一六・〇	一	〇	一	曇
	金澤	七六四・二	十〇・五	一五・〇	二四・八	一五・一	東北東	三	一	曇
	[illegible]	七六三・四	十〇・五	一六・二	二三・三	一五・一	北	四	一	曇
	伏木	七六一・八	十・七	一五・五	二六・〇	一五・一	南	二	一	曇
	新潟	七六四・七	十一・八	一七・四	二四・〇	一六・四	西北西	五	一	曇
	山形	七六四・二	十一・一	一二・六	二九・一	一二・五	一	一	一	曇
	加茂	七六四・二	十一・七	一七・一	二三・三	一六・六	北西	三	六	曇
	秋田	七六三・六	十一・三	一五・五	二三・八	一三・五	西北西	九	一	曇
八	水戸	七六二・一	十二・二	一七・二	二六・二	一六・二	北	二	一	曇
	[illegible]	七六三・三	十一・三	一七・〇	二四・五	一四・〇	一	一	一	曇
	金華山	七六二・二	十一・九	一一・〇	一八・九	一六・〇	北	二	一	曇
	石卷	七六三・六	十一・七	一四・二	二三・二	一五・四	北西	五	一	曇
	水澤	七六三・五	十一・八	一一・四	二三・二	一一・四	一	一	一	曇
	宮古	七六三・〇	十一・九	一〇・六	二五・五	一三・一	西	四	一	曇
九	[illegible]	七六一・四	十一・八	一四・一	一九・六	一四・四	西	六	三	曇
	青森	七六二・八	十一・六	一三・二	二一・二	一一・九	西	二	三	曇
	函館	七六一・三	十一・四	一三・一	二二・五	一一・三	北西	六	九	晴
	壽都	七六〇・〇	十一・四	一三・二	一七・七	一一・四	西	八	三	晴
	札幌	七六〇・〇	十一・三	九・六	一八・二	一一・一	一	〇	一	曇
	上川	七五九・七	十一・〇	九・八	一六・六	一〇・一	一	〇	四三	雨
一〇	十勝	七六〇・三	十一・六	一五・〇	二三・二	一三・四	一	一	一	快晴
	宗谷	七五七・六	十一・六	一四・一	一六・六	一〇・八	西	二	二	曇
	網走	七五八・七	十一・五	九・二	一九・一	一〇・〇	南西	五	一	晴
	釧路	七五八・四	十一・四	一三・〇	二一・一	一一・八	一	〇	一	曇
	根室	七五八・六	十一・三	一三・八	一九・七	一一・二	西南西	三	一	快晴
	紗那	七五五・三	十〇・八	一二・三	一七・七	八・九	南西	五	一	曇
	大泊	七五五・三	十二・〇	八・四	一五・二	一〇・四	北北西	二	三	快晴
	釜山	七六四・〇	〇・〇	一七・〇	二三・一	一三・二	北北東	七	一	曇
	木浦	七六四・二	〇・二	一五・三	二三・七	一六・五	北	五	一	曇
	仁川	七六五・一	〇・〇	一三・六	二〇・〇	一四・三	一	一	一	曇
	平壤	七六五・一	一〇・一	一〇・〇	一九・六	九・〇	南東	二	一	曇
	元山	七六四・九	十〇・八	八・四	二三・〇	一三・七	南西	二	一	快晴
	城津	七六五・一	十一・二	八・二	二〇・七	九・二	一	一	一	曇
	龍巖浦	七六四・三	一〇・四	九・一	二〇・五	九・一	北	五	一	晴
	大連	七六二・三	一一・九	一八・六	二〇・一	一二・三	南南西	一	一	晴
	旅順	七六二・三	一一・七	一九・二	二三・六	一一・四	南南西	四	一	晴
	營口	七六一・八	一〇・七	一三・九	二二・三	八・七	南東	五	一	晴
	奉天	七六二・五	一〇・九	八・二	二二・一	四・〇	東南東	五	一〇	快晴
清國	天津	七六四・六	一	一五	一	一	東	二	一	晴
	芝罘	七六六・〇	一	二五	一	一	西	二	一	快晴
	[illegible]州	一	一	一	一	一	一	一	一	一
	上海	七六六・〇	一	二〇	一	一	一	〇	一	霧
	南京	七六六・七	一	二三	一	一	北東	一	一	曇
	漢口	七六二・七	一	二三	一	一	一	〇	一	雨
	沙市	七六三・一	一	二三	一	一	一	〇	一	[illegible]
	廈門	七六一・二	一	二八	一	一	南	一	一	快晴
	筑波山	六九〇・八	十一・五	一四・四	二二・七	一五・三	南西	四	一	曇

○天氣概況　昨朝四國ノ沖ニ在リシ低氣壓ノ中心ハ東北東ニ進行シ今朝三宅島附近ニ在リ又四國沖ニハ小低氣壓存在ス呂宋ノ南東海上ニ在ル低氣壓ハ尙ホ同島附近ニ在リテ北西ニ進行ス琉球及臺灣ニ於テハ天氣晴朗ナレトモ其他ノ地方ハ概シテ曇天ニシテ九州北部ニハ降雨セル處アリ氣溫ハ山陰道及東北地方ニ於テハ下降シタレトモ其他ニテハ概シテ上昇シタリ然レトモ平年ニ比スレハ概シテ低度ヲ示セリ

○全國天氣豫報

自九月二十八日午後六時
至九月二十九日午後六時　二十四時間ノ天氣豫報　二十八日發

第一區　北又ハ東ノ風、概ネ晴
第二區　北又ハ東ノ風、概ネ曇
第三區　北ノ風、概ネ晴但シ雨模樣ノ處アリ
第四區　第三區ニ同シ
第五區　北ノ風、概ネ晴
第六區　第五區ニ同シ
第七區　南ノ風、概ネ晴但シ雨模樣ノ處アリ
第八區　第七區ニ同シ
第九區　南又ハ東ノ風、概ネ曇但シ雨模樣アリ
第十區　第九區ニ同シ

○東京地方天氣豫報

北ノ風晴

○東京氣象

九月二十七日

氣壓（海面ノ度）　平均　七六五・一粍
氣溫　平均　一七・〇度（平年ヨリ二・二度低シ）
　　　最高　二二・五度
　　　最低　一一・五度
濕度　平均　七九・三％
水蒸氣張力　平均　一一・三粍
雲量　平均　五・〇
日照時間　八・五時
風　平均速度　三・五米
　　最大速度　四・八米
　　最多方向　北東
降水　總量　一粍
　　　一時間最大量　一粍
蒸發　總量　三・一粍
記事　朝夜結露午前及午後日暈現ハル

○地震

十勝外三箇所ノ地震報告左ノ如シ

十勝　九月二十五日　午後十時三十一分十三秒　弱（震度弱キ方）　性質緩
宮古　同　午後十時三十二分餘秒　弱（震度弱キ方）　性質急、上下動アリ
函館　同　午後十時三十三分五十一秒　弱（震度弱キ方）　性質急
東京　同二十七日　午前九時四十四分十七秒　微（感覺ナシ）

（以上中央氣象臺）

○廣告

○圖書發行

本局編纂
一法令全書　明治四十一年第八號　全一冊　代價郵稅共金十八錢　但シ郵送ヲ要セサルモノハ金四錢ヲ減ス

右本月二十五日發行本局直賣ノ外左記官報販賣所ニ於テ販賣ス

明治四十一年九月　印刷局

官報販賣所

販賣區域	位置	
東京府、群馬縣、千葉縣、茨城縣、栃木縣、 神奈川縣、埼玉縣、山梨縣	東京市京橋區銀座一丁目	大日本圖書株式會社
大阪府、兵庫縣、和歌山縣、鳥取縣	大阪市西區靭中通一丁目	玉手弘通
京都府、奈良縣、滋賀縣	京都市上京區三條通東洞院東入	合資會社商報會社
靜岡縣、愛知縣、三重縣、岐阜縣	名古屋市東區京町四丁目	合名會社永東書店
廣島縣、岡山縣、島根縣、山口縣	廣島市大手町二丁目	早速勝三
香川縣、愛媛縣、德島縣	丸龜市大字富屋町	木村許一郎
福岡縣、長崎縣、佐賀縣	福岡市博多中島町	石田忠兵衞
熊本縣、大分縣、宮崎縣、鹿兒島縣、沖繩縣	熊本市新町二丁目	長崎次郎
新潟縣、長野縣	新潟市本町通四番町	高橋モト
石川縣、富山縣、福井縣	金澤市片町	宇都宮源平
北海道、宮城縣、福島縣、岩手縣、青森縣、 山形縣、秋田縣	仙臺市東三番丁	佐々木重兵衞

○通商彙纂發行日定價竝販賣所許可

當局編纂ノ通商彙纂ハ從來左記ノ所ヲ以テ發行兼販賣所ト定メ來リシカ今般其發行ヲ當局ニ於テ經營スルト共ニ同所ヲ以テ販賣所ト定メ從前ノ通左記ノ發行日竝ニ定價ニ依リ一般公衆ニ發賣セシムルコトヽ爲シタルヲ以テ本誌購讀希望者ハ從前ノ通同所ニ申込ミ購求セラルヘシ

通商彙纂販賣所　東京市日本橋區本町三丁目八番地　博文館
發行日　定期刊行　毎月六回　三日、八日、十三日、十八日、二十三日、二十八日（但シ毎年一月三日及十二月二十八日ハ休刊ノコト）
　　　　索引目錄　翌年二月中　但シ前年分發行總目次ノ索引ニ便ス
定價　定期刊行　一冊金十四錢　索引目錄金十三錢
　　　半箇年　三十五冊前金四圓六十錢（前金拂込ニテ一箇年以上ノ向ヘハ索引目錄ヲ無代送付ノコト）
　　　一箇年　七十冊前金九圓十錢（一箇年前金拂込ノ向ヘハ索引目錄ヲ無代送付ノコト）
郵便料ハ總テ販賣所ニ於テ負擔ノコト

明治四十一年九月　外務省通商局

○免許證再下付

醫師法施行規則第四條ニ依リ本月二十五日醫師免許證ノ再下付ヲ爲シタル者左ノ如シ但シ從前ノ免許證ハ無效トス

登錄番號	族籍	氏名
三二九五二	岡山縣平民	日笠剛二

事由　紛失

明治四十一年九月　內務省

○工場財團公告中訂正

明治四十一年八月八日本欄內揭載和歌山區裁判所工場財團公告中左ノ通更正ス

一和歌山縣海草郡中ノ島村字向芝第百八十九番ヨリ第百九十七番ノ一ニ至ル郡村宅地四千六百三十九坪ニ建設シアル建物ノ內第一號ノ(い)瓦葺煉瓦造平屋汽罐室工場內トアルヲ左ノ通更正ス

一和歌山縣海草郡中ノ島村字向芝第百八十九番ヨリ第百九十七番ノ一ニ至ル田一筆郡村宅地九筆合段別一町五段四畝十九歩ニ建設シアル第一號煉瓦造瓦葺平家本工場建物ノ內第一號ノ(い)瓦葺煉瓦造平屋汽罐室工場內

一和歌山縣海草郡中ノ島村字向芝第百八十九番ヨリ第百九十七番ノ一ニ至ル郡村宅地四千六百三十九坪及同宮村大字吉田第百三十五番第百三十五番ノ二第百三十七番第百三十八番及第百三十九番ニ至ル千七百二十九坪ニ築造及取付ケアルトアルヲ左ノ通更正ス

一和歌山縣海草郡中ノ島村字向芝第百八十九番ヨリ第百九十七番ノ一ニ至ル田一筆郡村宅地九筆合段別一町五段四畝十九歩及同郡宮村大字吉田字石原第百三十五番第百三十五番ノ二第百三十七番第百三十八番及第百三十九番ニ至ル畑五筆合段別四段八畝二十八歩外ニ畦畔二歩ニ築造及取付ケアル

明治四十一年九月　和歌山區裁判所

○教員檢定豫備試驗合格者

去月二十四日施行ノ師範學校、中學校、高等女學校動物及生理科教員檢定豫備試驗ニ合格セシ者ノ族籍、氏名等左ノ如シ但シ氏名ノ上ニ※印アル者ハ師範學校女子部、高等女學校ノミノ教員志願者トス

明治四十一年九月　教員檢定委員會會長　理學博士　山川健次郎

族籍	氏名	願書進達地方廳
大分縣平民	津江清太	東京府
德島縣平民	內田薦	同
長野縣平民	松田宇助	同
福岡縣平民	※岡ハルヲ	同
東京府士族	澤田順次郎	同
埼玉縣平民	長谷川藤吾郎	埼玉縣
埼玉縣平民	西岡三郎	同
埼玉縣平民	富山賢淨	同
埼玉縣平民	高柳悅三郎	同
千葉縣平民	※河野忠助	千葉縣
德島縣士族	河野一平	同
茨城縣平民	淺田重良	茨城縣
群馬縣平民	中島濟三	群馬縣
靜岡縣士族	糟谷綱藏	靜岡縣
山形縣士族	平山常太郎	北海道
滋賀縣平民	加藤鐵治郎	宮城縣
三重縣平民	植松榮次郎	同
長野縣平民	森小三郎	同
宮城縣士族	※森下洸	同
茨城縣平民	鈴木靖	同
福島縣平民	※谷內宗惇	福島縣
巖手縣平民	新田直躬	巖手縣
兵庫縣平民	橋本伊太郎	兵庫縣
兵庫縣平民	上原春吉	同
和歌山縣平民	細川正之助	奈良縣
京都府平民	藤原官次郎	同
愛知縣平民	大矢重治郎	愛知縣
茨城縣士族	川角寅吉	同
岐阜縣平民	窪田信之	同
愛知縣平民	小林至幸	同
岡山縣平民	※井上清一	岡山縣
岡山縣士族	※鹽田佐野	同
山口縣平民	常藤右吉	廣島縣
山口縣士族	※河野淵介	山口縣
山口縣平民	※山本祥一	同
山口縣平民	※藤谷織之助	同
山口縣平民	小林幾太郎	同
德島縣士族	田村富藏	德島縣
香川縣平民	※立石藤吉	香川縣
香川縣平民	※來田市太郎	同
香川縣平民	※野島勳	同
福岡縣平民	※厨豐	福岡縣
大分縣平民	山本義光	大分縣
宮崎縣士族	山名憲三	宮崎縣

○證狀無效

第五六號　帆船第武號共盛丸甲種船舶檢査證書（滅失）　所有者　田中菲吉
第二一五號　三等機關士免狀（無期限）（明治四十年七月二十五日附）　中谷喜久三
第五六四一號　丙種運轉士免狀（明治四十年十一月二十六日附）（以上流失）　川口馬吉

右孰モ屆出ニ依リ無效トス

明治四十一年九月　遞信省

○證券保管通帳亡失

左記證券保管通帳亡失ニ付キ自今無效トス但シ其所在ヲ發見シタルトキハ速ニ郵便爲替貯金管理所ニ通報スヘシ

明治四十一年九月　郵便爲替貯金管理所

記號	番號	預ケ入氏名
か	四六六	森田德島
―恩り	三五〇三	佐竹玄盛

○口座脫退

左記ノ者ヨリ郵便振替貯金口座脫退ノ請求アリ

明治四十一年九月　郵便爲替貯金管理所

番號	住所	氏名
一二六五八	福島市豐田町一番地	石山愼吾
九〇〇九	福島縣田村郡三春町北町九番地	渡邊英一
五一五三	島根縣邇摩郡大森町ハ六十三番地	熊谷三左衞門
一一六三	千葉縣夷隅郡勝浦町勝浦百七十七番地	關野周藏
五七九九	愛媛縣新居郡金子村金子乙千八百二十二番地	山口正
五二八一	石川縣江沼郡橋立村小鹽ヤ十九番地	西原重次郎

○賜金辭令書竝從軍記章拜受者居所不明

左記ノ者明治三十七八年戰役ノ功ニ依リ賜金辭令書竝ニ從軍記章ヲ交付スヘキノ處居所不明ニ付キ本人又ハ心當ノ者ハ至急申出ツヘシ但シ本人死亡シタルトキハ戶籍謄本ヲ添ヘ其遺族ヨリ申出ツヘシ

明治四十一年九月　旅順　關東都督府陸軍部

所屬部隊	賞件	本籍	居住地	摘要	官	氏名
遼東兵站監部	旭八賜金一〇〇 從軍記章	秋田縣北秋田郡大館町六四	山形縣山形市香澄町新道岡口正路方	本籍地及居住地ニ在住セス	陸軍通譯	若林次藏
同	賜金五〇 從軍記章	香川縣香川郡栗林村字松島	東京市赤阪區赤阪溜町三一	同	代用馬卒	大西忠次郎

○町村役場位置變更

中島郡祖父江町役場位置ヲ今般大字上牧字下川四百十番、四百十一番、四百十六番、四百十七番、四百十四番ノ一ニ變更セリ

明治四十一年九月　愛知縣

玉名郡清里村役場位置ヲ今般大字梅田字西原ニ變更セリ

明治四十一年九月　熊本縣

○購買入札

一葵炭　一万三千七百七十五貫匁　内本局構內納九千七百二十五貫匁俵數凡ソ二千二百五十俵／抄紙部構內納四千五十貫匁俵數凡ソ九百俵

但シ本年十一月十四日マテ納

入札保證金各自見積代價百分ノ五、契約保證金落札代價百分ノ十(圓未滿圓位ニ切上ク)、入札者ハ二年以上其業ニ從事セル旨市區町村長ノ證明アル者ニ限ル

右購買ス入札望ノ者ハ來ル十月十三日マテニ當部ニ出頭標本及入札契約心得書熟覧ノ上同十四日午前十時マテニ證明書及入札保證金ヲ、同十時三十分マテニ入札書ヲ當部ニ差出スヘシ同日午前十時三十五分開札ス

此契約ハ印刷局長神野勝之助擔任ス

明治四十一年九月二十九日　印刷局會計部

一糯米　五十石　下志津當校廠舍納
一同　三十八石　習志野同上

以上入札保證金各自見積價格百分ノ五以上、入札者ハ二年以上引續キ且ツ現實其營業ニ從事スル證明アル者ニ限ル

右購買ス入札望ノ者ハ當校ニ就キ契約書案及入札心得書等熟覧ノ上來ル十月十三日マテニ營業證明書ヲ差出シ同十四日午前十時限入札スヘシ同時開札ス

此契約ハ陸軍戸山學校長山田忠三郎擔任ス

明治四十一年九月二十九日　陸軍戸山學校

一獸毛　二千基
一椅子以下四廉
一厚布蛇管　三百五十條
一衣服函以下三廉
一鐵紋鐶以下四廉
一配食器以下二廉
一白麻織　三千「メートル」
一洋食器類　二十一廉

以上入札保證金各自見積代價百分ノ五以上、契約保證金請負代價百分ノ十(圓未滿切上ケ、圓止トス)入札者ハ二年以來其業ニ從事スル者ニ限ル

右購買ス入札望ノ者ハ當部計算課ニ就キ入札心得書及契約書案等熟覧ノ上來ル十月十四日午後一時限營業證明書及入札保證金ヲ添ヘ同課ニ入札書差出スヘシ同時三十分同課ニ於テ開札ス

一管引機械　一臺

入札保證金各自見積代價百分ノ五以上、契約保證金請負代價百分ノ十(圓未滿切上ケ、圓止トス)入札者ハ二年以來其業ニ從事スル者ニ限ル

右購買ス入札望ノ者ハ當部計算課ニ就キ入札心得書及契約書案等熟覧ノ上來ル十月二十七日午後一時限營業證明書及入札保證金ヲ添ヘ同課ニ入札書差出スヘシ同時三十分同課ニ於テ開札ス

以上契約ハ孰モ横須賀海軍工廠會計部長櫻孝太郎擔任ス

明治四十一年九月二十九日　横須賀海軍工廠會計部

一松薪　名古屋納　一點

右來ル十月十四日名古屋營業事務所ニ於テ入札執行

入札保證金賣買總代金百分ノ五以上(圓未滿切上ク)

一電燈用品　十七點
一麻網外三點
一金物製品　三點
一銅管及銅板　三點

以上新橋納

右來ル十月六日當部ニ於テ入札執行

一金剛砥　新橋納　二十四箇

一轉轍器用枕木　新宿甲府間納　九點

右來ル十月十四日當部ニ於テ入札執行

一磨窓硝子板　上野納　二十八點

右來ル十月六日上野營業事務所ニ於テ入札執行

一石材類　上野高崎間又ハ前橋小山友部間納　六點

右來ル十月十四日上野營業事務所ニ於テ入札執行

以上入札保證金各自見積代價百分ノ五以上(圓未滿切上ク)

右購買ス入札望ノ者ハ前記各部所ニ就キ入札人心得書及契約書案等熟覧ノ上當日午前十一時限入札書ヲ同所ニ差出スヘシ即時開札ス

一外注第四百八十七號　電車用車臺其他共　四點　橫濱納

入札保證金各自見積代價百分ノ五以上(圓未滿切上ク)

右購買ス入札望ノ者ハ會計規則第六十九條第一項ノ證明書竝ニ明治三十三年（五月八日）遞信省令第二十號第一條ノ資格證明書ヲ當部倉庫課ニ差出シ入札人心得書及契約書案等熟覧ノ上本年十一月十日午前十一時限入札書ヲ同所ニ差出スヘシ即時開札ス

以上契約ハ孰モ帝國鐵道廳計理部長圖師民嘉擔任ス

明治四十一年九月二十九日　帝國鐵道廳計理部

一轉轍器用栗枕木　九點
一轉轍器用檜枕木　九百挺
一橋上用檜枕木　三千挺
一栗竝枕木　七万挺
一同　七万挺
一同　七万挺
一同　七万挺

以上門司又ハ八代納

以上入札保證金各自見積代價百分ノ五以上(圓未滿切上ク)

右購買ス入札望ノ者ハ當局ニ就キ入札人心得書及契約書案等熟覧ノ上來ル十月十四日午前十一時限入札書ヲ當局ニ差出スヘシ即時開札ス

此契約ハ九州帝國鐵道管理局長植村俊平擔任ス

明治四十一年九月二十九日　九州帝國鐵道管理局

○工事請負入札

一若松歩兵聯隊及同衞戍病院構內砂利敷工事

入札保證金各自見積金高百分ノ五以上、契約保證金請負金高百分ノ十、入札者ハ滿二年以來其業ニ從事シアル旨竝ニ金高千圓以上ニ在リテハ明治四十一年六月十九日陸軍省令第十三號ノ資格アル旨市區町村長ノ證明アル者ニ限ル總テノ資格證明書ハ入札前日マテニ、入札保證金ハ入札當日午前九時マテニ當部若松出張所ニ差出スヘシ

右請負望ノ者ハ入札前日マテニ當部若クハ當部若松出張所ニ就キ入札心得、契約書案、設計書、圖面及現場等熟覧ノ上來ル十月八日午前十時限當部若松出張所ニ入札スヘシ即時開札ス

此契約ハ臨時陸軍建築部仙臺支部長西村貿之助擔任ス

明治四十一年九月二十九日

新潟縣中頸城郡高城村大字岡島二十七番地

臨時陸軍建築部仙臺支部

一工機學校機械工場（兵器工場電氣工場）新營工事　但シ鐵骨平家建四百五十五坪

入札保證金各自見積價格百分ノ五、契約保證金落札高百分ノ十(圓未滿切上ケ圓止トス)、入札者ハ二年以來其業ニ從事スル者ニ限ル

右請負望ノ者ハ本部建築科ニ就キ仕樣書、圖面、契約書案、工事請負心得書、入札人心得書及現場等熟覧ノ上來ル十月十四日午前十時限同科ニ入札スヘシ同十一時同科ニ於テ開札ス但シ現場ハ同十二日指示スルニ依リ同日午前十時マテニ建築科ニ參集スヘシ

此契約ハ横須賀海軍經理部長相原益功擔任ス

明治四十一年九月二十九日　横須賀海軍經理部

若松區裁判所附屬

一二階建土藏一棟竝ニ渡廊下共　此建坪十一坪五合

入札保證金各自見積代價百分ノ五以上、入札者ハ二年以上其業ニ從事セル旨證明アル者ニ限ル此證明書ハ開札二時間以前ニ差出スヘシ

右請負望ノ者ハ來ル十月十三日マテニ若松區裁判所書記課ニ就キ入札心得書、設計書、圖面、契約書案及現場等熟覧ノ上入札保證金ヲ添ヘ同十四日午前十時マテニ入札書差出スヘシ即時開札ス

此契約ハ若松區裁判所書記長尾初太郎擔任ス

明治四十一年九月二十九日　若松區裁判所

東京府荏原郡目黒村山林局林業試驗所構內

一木材工藝試驗室附屬細工場外三廉　新築及物置場模樣替工事

入札保證金各自見積金額百分ノ五以上(圓未滿切上ク)

右請負望ノ者ハ當局ニ出頭入札手續、仕樣書、圖面及契約書案熟覧ノ上來ル十月十五日午前十時マテニ入札スヘシ即時開札ス

此契約ハ農商務省山林局長上山滿之進擔任ス

明治四十一年九月二十九日　農商務省山林局

奥羽線土崎工場內第一及第二工場內部造作其他新設工事

一「コンクリート」帶　約一立坪
一穴藏　十二箇所
一細工臺　延長三百九十四呎
一研臺　四箇所
一掃除桝埋込　六箇
一塵除網　四十八箇所
一床板張　約四百十八面坪
一萬力臺　延長三百六十四呎
一土管伏込　九百四十九本
一掃除桝　十六箇
一「シャフト」油注用棚　延長千百九十六呎

以上入札保證金各自見積代價百分ノ五以上(圓未滿切上ク)

右請負望ノ者ハ當所ニ就キ入札人心得書、示方書、圖面、契約書案及現場等熟覧ノ上來ル十月十四日午前十一時限入札書ヲ當所ニ差出スヘシ即時開札ス

此契約ハ帝國鐵道廳秋田建設事務所長粟野定次郎擔任ス

明治四十一年九月二十九日　帝國鐵道廳秋田建設事務所

○工事請負入札公告中訂正

本月二十八日本欄內掲載當部工事請負入札公告中弘前出張所ニ入札スヘキ分ノ入札期日「十月四日」ヲ「十月五日」ニ改ム

明治四十一年九月二十九日

新潟縣中頸城郡高城村大字岡島二十七番地

臨時陸軍建築部仙臺支部

○入札拂下

一　一號鐵削粉　千二百車

但シ來ル十月一日ヨリ明治四十二年三月三十一日マテ小銃製造所ヨリ生スル分

一　二號鐵削粉　二百七十車

但シ來ル十月一日ヨリ明治四十二年三月三十一日マテ砲具及火具製造所ヨリ生スル分

以上入札保證金各自見積代價百分ノ五以上(圓未滿切上ク)ヲ開札當日午前十時マテニ差出スヘシ

右賣却ス買受望ノ者ハ今二十九日ヨリ來ル十月三日マテニ當廠調度掛ニ出頭現品、入札心得書及契約書案等熟覧ノ上區五日午前十一時マテニ入札スヘシ即時開札ス但シ入札保證金及入札書ヲ郵送スルモ妨ナシ其手續ハ同掛ニ就キ承知スヘシ

此契約ハ東京砲兵工廠附陸軍三等主計正金子義友擔任ス

明治四十一年九月二十九日　東京砲兵工廠

一紙屑及反古紙　三點　名古屋渡

以上入札保證金賣買總代金百分ノ五以上(圓未滿切上ク)

右賣却ス買受望ノ者ハ名古屋營業事務所ニ就キ入札人心得書及契約書案等熟覧ノ上來ル十月十四日午前十一時限入札書ヲ同所ニ差出スヘシ即時開札ス

此契約ハ帝國鐵道廳計理部長圖師民嘉擔任ス

明治四十一年九月二十九日　帝國鐵道廳計理部

○入札拂下公告取消

本月二十五日本欄內掲載「第三百十二號木造建家一棟」ノ當廠入札拂下公告ハ取消ス

明治四十一年九月二十九日　東京砲兵工廠

○林野賣拂

昨二十八日本欄內掲載東京大林區署公告ノ續

千第一一八一五號
同上大字小谷流字馬道台四八五番(上地林)
一國有林實測面積三畝十八歩(元四八三番四八五番ノ內)
一スギ五十七本　此材積四十二尺〆七一
一サワラ一本　同一尺〆六三
一ナラ十七本　同○棚二九
一ザツ二十五本　同○棚二六
一マツ二本　同○棚○一

千第一一八一六號
同上四八三番(上地林)
一國有林實測面積一段二十六歩(同上)
一スギ八十八本　此材積三十三尺〆三六
一サワラ八本　同一尺〆八三
一ナラ三十八本　同一棚九○
一ザツ七十五本　同一棚一二

千第一一八一七號
同上大字根古谷字後澤九六一番ノ二
一國有原野面積一段四畝歩
此見込面積一段四畝歩

千第一一八一八號
同上字澤ノ台九○二番ノ二
一國有原野面積二段二十四歩
此見込面積二段二十四歩

千第一一八一九號
同上字ブタイ七六四番ノ二
一國有原野面積三歩
此實測面積四歩

千第一一八二○號
同上大字岡田字北ノ台一五八番
一國有原野面積一段四畝十三歩
此實測面積一段三畝二歩

千第一一八二一號
同上大字用草字鄉中一二五二番
一國有原野面積四歩
此見込面積七歩
一ザツ二十本　此材積○棚○九

千第一一八二二號
同上一二六五番
一國有原野面積二十歩
一此見込面積一畝歩
一ザツ二十本　此材積○棚○九

千第一一八二三號
同上一二二四番
一國有原野面積二十歩
此見込面積二十歩

千第一一八二四號
同上字車田一二二番
一國有原野面積一畝十二歩
此見込面積一畝二十歩

千第一一八二五號
同上字井戸谷津六八二番
一國有原野面積十歩
此見込面積二十歩

千第一一八二六號
同上六八六番
一國有原野面積一畝歩
此見込面積二畝歩

千第一一八二七號
同上六九三番
一國有原野面積一畝歩
此見込面積二畝歩

千第一一八二八號
同上七二七番
一國有原野面積一畝十五歩
此見込面積三畝歩
一クヌギ三本　此材積○棚○二
一ザツ二十本　同○棚○九

千第一一八二九號
同上字井戸谷津七二五番
一國有原野面積一畝歩
此見込面積一畝十五歩

千第一一八三○號
同上七四二番
一國有原野面積二十歩
此見込面積一畝歩

千第一一八三一號
同上字向田台四四六番
一國有原野面積一畝歩
此見込面積一畝歩

千第一一八三二號
同上四三五番
一國有原野面積一畝歩
此見込面積一畝歩

千第一一八三三號
同上字天神山一七八番
一國有原野面積十五歩
此見込面積十五歩

千第一一八三四號
同上二二二番ノ二
一國有原野面積一畝二十二歩
此見込面積一畝二十二歩

千第一一八三五號
同上字瀧ノ谷台二四六番
一國有原野面積二段歩
此見込面積二段歩
一マツ二本　此材積○棚○三
一ザツ三十三本　同○棚一五

千第一一八三六號
同上字鹿拜塚四八四番
一國有原野面積四畝歩
此見込面積一段歩

第7579号 本文

千第一一八三七號
同上字向田三八四番ノ二
一國有原野面積一畝六歩
此見込面積一畝六歩
一クヌキ七本　此材積〇棚〇四
千第一一八三八號
同上三八七番
一國有原野面積二十歩
此見込面積二十歩
千第一一八三九號
同上字中田下六〇六番
一國有原野面積一畝十五歩
此見込面積二畝歩
千第一一八四〇號
同上字稻荷山八〇五番
一國有原野面積一畝十五歩
此見込面積五畝歩
一ザッ二十三本　此材積〇棚一四
千第一一八四一號
同上八〇四番
一國有原野面積一畝歩
此見込面積一畝歩
千第一一八四二號
同上字稻葉作七八六番
一國有原野面積二十歩
此見込面積一畝歩
千第一一八四三號
同上字遠手八一九番
一國有原野面積一畝歩
此見込面積一畝歩
千第一一八四四號
同上字柴ケ谷ツ九六一番
一國有原野面積一畝歩
此見込面積一畝十五歩
千第一一八四五號
同上字花口九九一番
一國有原野面積一段歩
此見込面積一段五畝歩
千第一一八四六號
同上字宮田谷ツ一〇〇〇番
一國有原野面積二十歩
此見込面積二十歩
千第一一八四七號
同上九九二番ノ二
一國有原野面積五畝十歩
此見込面積五畝十歩
千第一一八四八號
同上字前畑一三〇九番
一國有原野面積二十五歩
此見込面積二畝歩
一クヌキ四本　此材積〇棚〇二
一ザッ十本　同〇棚〇四
千第一一八四九號
同上一二九八番
一國有原野面積六歩
此見込面積六歩

千第一一八五〇號
同上字谷ノ作一四八四番
一國有原野面積二十歩
此見込面積四畝歩
一クヌキ十一本　此材積〇棚〇六
一ザッ十本　同〇棚一一
一苦竹百本　二束
千第一一八五一號
同上大字東吉田字越戸四番ノ二
一國有原野面積一畝歩
此見込面積六畝歩
一ザッ三本　此材積〇棚〇四
千第一一八五二號
同上字大宮三四七番ノ二
一國有原野面積一畝歩
此見込面積一畝二十歩
一ザッ三十本　此材積〇棚一九
千第一一八五三號
同上三四八番ノ二
一國有原野面積一畝歩
此見込面積一畝二十歩
一ザッ十七本　此材積〇棚〇九
一苦竹二十本　同〇束六七
千第一一八五四號
同上香取部栗源村大字西田部字宮後八五六番（上地林）
一國有林面積七畝十四歩
此實測面積一段三畝十二歩
一スギ三十一本　此材積百四十一尺〆二四
一シイ六十七本　同三棚四九
一カシ六本　同一棚〇六
千第一一八五五號
同上大字澤字飯沼台二〇一七番
一部分林面積十一町一段九畝二十二歩
此實測面積十三町九段一畝十五歩
一存續期限　明治四十九年三月マテ
一收益分收部合三官七民
一官收樹種及現在材積左ノ如シ
一マツ　此材積六十二棚一二
一クヌキ　同二棚四八
千第一一八五六號
同上字瀬谷台三〇三番ノ一
一部分林面積四町四段八畝十四歩
此實測面積三町三段九畝十八歩
一存續期限　明治四十九年三月マテ
一收益分收部合三官七民
一官收樹種及現在材積左ノ如シ
一マツ　此材積二十四棚三五
千第一一八五七號
同上字平山一九三九番ノ一
一部分林面積三町五段九畝三歩
此實測面積三町四段九畝十五歩
一存續期限　明治四十九年三月マテ
一收益分收部合三官七民
一官收樹種及現在材積左ノ如シ
一マツ　此材積三十棚七〇

千第一一八五八號
同上字瀬谷台五七七番ノ一
一部分林面積四段四畝二十四歩
此實測面積四段二畝二十四歩
一存續期限　明治四十九年三月マテ
一收益分收部合三官七民
一官收樹種及現在材積左ノ如シ
一マツ　此材積三棚二一
千第一一八五九號
同上字平山四三七番ノ一
一部分林面積一町九段八畝二十三歩
此實測面積四町六段六畝歩
一存續期限　明治四十九年三月マテ
一收益分收部合三官七民
一官收樹種及現在材積左ノ如シ
一マツ　此材積三十棚二一
千第一一八六〇號
同上字瀬谷台五七四番ノ一
一部分林面積一町三段六畝十九歩
此實測面積一町四段三畝二十一歩
一存續期限　明治四十九年三月マテ
一收益分收部合三官七民
一官收樹種及現在材積左ノ如シ
一マツ　此材積十棚三〇
千第一一八六一號
同上字平山三八三番ノ一
一部分林面積一町八段二畝五歩
此實測面積二町六段二畝六歩
一存續期限　明治四十九年三月マテ
一收益分收部合三官七民
一官收樹種及現在材積左ノ如シ
一マツ　此材積十二棚八六
千第一一八六二號
同上三九四番ノ一
一部分林面積五町七段三畝二十四歩
此實測面積二町七段五畝十二歩
一存續期限　明治四十九年三月マテ
一收益分收部合三官七民
一官收樹種及現在材積左ノ如シ
一マツ　此材積十九棚七五
一クヌキ　同〇棚七五
千第一一八六三號
同上三六五番ノ一
一部分林面積五町一段八畝十歩
此實測面積三町八段二畝十五歩
一存續期限　明治四十九年三月マテ
一收益分收部合三官七民
一官收樹種及現在材積左ノ如シ
一マツ　此材積二十七棚四三
千第一一八六四號
同上字瀬谷台二二四八番ノ一
一部分林面積十二町一段五畝二十三歩
此實測面積十町九段七畝三歩
一存續期限　明治四十九年三月マテ
一收益分收部合三官七民
一官收樹種及現在材積左ノ如シ
一マツ　此材積八十四棚八二
一クヌキ　同二棚〇四

千第一一八六五號
同上久賀村字木ノ根田二二二四番
一國有林面積六町八段歩
此實測面積二十六町五段二十七歩
一マツ六十三本　此材積二棚〇九
千第一一八六六號
同上多古町大字多古字谷上三九〇三番（上地林）
一國有林面積二段三畝十六歩
此實測面積一段三畝歩
一マツ九本　此材積四十四尺〆〇六
一スギ七本　同三尺〆四九
一マツ十本　同二棚六〇
一モミ十六本　同一棚四八
一ザッ五本　同〇棚一五
千第一一八六七號
同上字大原内三八七一番（上地林）
一國有林面積二段三畝十五歩
此實測面積一段二十一歩
一スギ五十九本　此材積四十四尺〆二九
一マツ二十九本　同五棚〇六
一ザッ十四本　同一棚六四
千第一一八六八號
同上大字一鍬田字台山二一四番（上地林）
一國有林面積七畝一歩
此實測面積七畝三歩
一スギ三本　此材積七尺〆三四
一シイ六本　同三棚二〇
一ザッ十四本　同二棚七〇
千第一一八六九號
同上大字喜多字大谷台五〇四番ノ一、五〇四番ノ二（上地林）
一國有林面積一段三畝十八歩
此實測面積一段七畝二十一歩
一マツ十七本　此材積八十三尺〆九八
一スギ十本　同十二尺〆七〇
一マツ九本　同三棚一二
一シイ十九本　同四棚三三
一ザッ十一本　同〇棚九二
千第一一八七〇號
同上字東坪一二六番（上地林）
一國有林面積七畝八歩
此實測面積七畝二十七歩
一スギ四本　此材積十二尺〆〇二
一マツ三本　同十二尺〆九二
一マツ四本　同〇棚二一
一ザッ九十七本　同三棚〇八
千第一一八七一號
同上字犬ケ谷三一九番ノ一
一部分林面積七段二十八歩
此實測面積七段三畝十八歩
一存續期限　明治九十四年三月マテ
一收益分收部合三官七民
一官收樹種及現在材積左ノ如シ
一クヌキ　此材積〇棚三一

千第一一八七二號
同上字宮前五〇三番ノ一
一部分林面積一段五畝三歩
此實測面積一段五畝三歩
一存續期限　明治九十四年三月マテ
一收益分收部合三官七民
一官收樹種及現在材積左ノ如シ
一クヌキ　此材積〇棚一三
千第一一八七三號
同上字羽黒台五二五番ノ一
一部分林面積七段四畝十三歩
此實測面積七段四畝十三歩
一存續期限　明治九十四年三月マテ
一收益分收部合三官七民
一官收樹種及現在材積左ノ如シ
一クヌキ　此材積〇棚二八
千第一一八七四號
同上字大谷台三九二番ノ一
一部分林面積一町七段七畝四歩
此見込面積一町八段歩
一存續期限　明治九十四年三月マテ
一收益分收部合三官七民
一官收樹種及現在材積左ノ如シ
一クヌギ　此材積〇棚五八
千第一一八七五號
同上字上谷台三〇〇番ノ一
一部分林面積三町九段九畝六歩
此實測面積三町八段歩
一存續期限　明治九十四年三月マテ
一收益分收部合三官七民
一官收樹種及現在材積左ノ如シ
一クヌギ　此材積四棚三七
千第一一八七六號
同上字長者谷三五六番ノ一
一部分林面積四段五畝十三歩
此實測面積四段五畝十三歩
一存續期限　明治九十四年三月マテ
一收益分收部合三官七民
一官收樹種及現在材積左ノ如シ
一クヌキ　此材積〇棚五六
千第一一八七七號
同上字並木三二一番ノ一
一部分林面積一段八畝四歩
此實測面積一段八畝四歩
一存續期限　明治九十四年三月マテ
一收益分收部合三官七民
一官收樹種及現在材積左ノ如シ
一クヌキ　此材積〇棚〇二
千第一一八七八號
同上大字飯笹字宿六八七番（上地林）
一國有林面積六段九畝十歩
此實測面積七段七畝六歩
一スギ三十三本　此材積九十六尺〆七七
一マツ十六本　同百二十六尺〆六八
一カシ十本　同十三尺〆九二

一ナラ二十一本　同五棚三〇
一シイ八十一本　同十二棚一七
一マツ七本　同九棚〇二
一ザッ六十四本　同五棚二四
千第一一八七九號
同上字雨堤台二九八番
一國有原野面積二段二畝六歩
此實測面積一段九畝三歩
千第一一八八〇號
同上中村大字南中字薗木一八八四番（上地林）
一國有林面積一町二段二畝十五歩
此實測面積一町四段二畝二十七歩
千第一一八八一號
同上字松原一八五八番（上地林）
一國有林面積一町五段二十四歩
此實測面積二町二段一畝十二歩
千第一一八八二號
同上字大門脇一八一八番一八二二番（上地林）
一國有林面積一町七段九畝二十二歩
此實測面積一町五畝三歩
千第一一八八三號
同上大字北中字大鯉一三〇九番（元一三〇九、一三二四ノ一ノ一、一三五二ノ二、一三二四ノ二ノ一、一三五二ノ一、一三五三番合併）
一部分林面積二十五町九段八畝二十七歩
此實測面積二十一町六段五畝二十四歩
一存續期限　明治五十四年三月マテ
一收益分收部合三官七民
一官收樹種及現在材積左ノ如シ
一マツ　此材積百四十五棚八七
千第一一八八四號
同上字德明一二〇〇番ノ二
一部分林面積六段二畝五歩
此實測面積五段七畝三歩
一存續期限　明治五十四年三月マテ
一收益分收部合三官七民
一官收樹種及現在材積左ノ如シ
一マツ　此材積三棚二七
一スギ　同一尺〆三五
千第一一八八五號
同上字信濃台一〇〇三番
一部分林面積一町八段三畝四歩
此實測面積一町七段十五歩
一存續期限　明治五十四年三月マテ
一收益分收部合三官七民
一官收樹種及現在材積左ノ如シ
一マツ　此材積六棚三二
千第一一八八六號
同上日吉村大字新井字白幡前一八一番ノ二（上地林）
一國有林面積六畝二十七歩
此見込面積八畝歩
一マツ二本　此材積〇棚六五
一シイ二十本　同二棚八七
一ザッ二十六本　同一棚三四

千第一一八八七號
同上字馬場台三六八番ノ一（上地林）
一國有林面積四段二畝八歩
此實測面積二段七畝二十七歩
一マツ十三本　此材積六十八尺〆三四
一カシ十七本　同三十二尺〆二一
一マツ十本　同六棚二九
一シイ十七本　同三棚八二
一ザッ四十四本　同六棚二五
千第一一八八八號
同上四三三番
一國有林面積三畝二十四歩
此實測面積四畝十八歩
一スギ七本　此材積三尺〆五〇
一カシ五本　同〇棚三〇
千第一一八八九號
同上四三五番
一國有林面積六畝歩
此見込面積一段歩
一スギ一本　此材積〇尺〆三九
一ザッ三十三本　同一棚六七
千第一一八九〇號
同上字白幡前一二一四番
一國有林面積四畝二十四歩
此見込面積一段四畝歩
一スギ三本　此材積一尺〆七二
一ザッ九本　同〇棚四四
千第一一八九一號
同上大字篠本字宮前四八三番
一國有林面積五畝八歩
此見込面積七畝歩
一ザッ六本　此材積〇棚二八
千第一一八九二號
同上字榎台一七〇三番ノ一
一國有林面積六畝四歩
此見込面積六畝三歩
一シイ十本　此材積〇棚九七
一ザッ六本　同〇棚一六
千第一一八九三號
同上飯高村大字小高字宿台三八二番ノ二
一國有原野面積一畝二十歩
此見込面積一畝二十歩
千第一一八九四號
同上字内野一三九番ノ三
一國有原野面積五畝四歩
此見込面積二畝十歩
千第一一八九五號
同上字後田五四〇番ノ二
一國有原野面積十五歩
此實測面積十三歩
千第一一八九六號
同上字山田四七七番ノ二

一國有原野面積二畝歩
此實測面積六歩
千第一一八九七號
同上山倉村大字新里字諏訪六八〇番（上地林）
一國有林面積三畝二歩
此實測面積一段歩
一スギ六本　此材積十三尺〆一四
一マツ十二本　同四十二尺〆二七
一シイ七十四本　同五棚一四
一カシ五本　同〇棚八三
一マツ九本　同二棚四七
千第一一八九八號
同上大字小川字馬場先九四六番（上地林）
一國有林面積二畝二十二歩
此實測面積八畝二十一歩
一スギ六本　此材積二十一尺〆三二
一カシ三本　同四尺〆五三
一ザッ五十八本　同三棚三一
千第一一八九九號
同上字應神台一〇一五番（上地林）
一國有林面積七畝十八歩
此實測面積一段八畝二十五歩
一スギ十八本　此材積百八十七尺〆三九
一マツ十五本　同百十六尺〆五七
一カシ三本　此材積三尺〆三七
一シイ十四本　同四棚五八
一ザッ十四本　同一棚二八
千第一一九〇〇號
同上字出羽五七三番
一國有林面積六畝五歩
此實測面積五畝二十一歩
一スギ七本　此材積四十九尺〆三六
一シイ二本　同三棚四六
一カシ一本　同一棚一五
一マツ六本　同〇棚三八
一ザッ三本　同〇棚四二
千第一一九〇一號
同上大字桐谷字稻備前六五四番（上地林）
一國有林面積四段八畝二十七歩
此實測面積四段一畝六歩
一スギ九十一本　此材積四百四十一尺〆七二
一マツ六本　同五十一尺〆三一
一カシ六本　同十七尺〆一一
一ザッ五十五本　同十一棚二一
千第一一九〇二號
同上笹川村大字須賀山字坊内原四七一四番
一國有林面積九町三畝歩
此實測面積十二町六畝二十一歩
一マツ百七十七本　此材積五棚五二

（完）

正誤

去月八日本欄著作權登錄第ノ項中登錄番號第六〇三二號ノ一川尻寶岑ハ川尻義祐本月十四日同項中著作物ノ題號實用百科全書ハ實用百科大全ノ孰モ報告誤

內務書記官

第7579号　本文

○商業登記

合名會社十五屋商店登記事項中左ノ如ク變更ス
一社員石舘兵右衛門ハ明治四十一年九月十七日其持分全部ヲ石舘彌太郎ニ讓渡シテ退社シ石舘彌太郎ハ之ヲ讓受テ同日入社ス
一金三千圓　東京市芝區伊皿子町七十四番地　石舘彌太郎

仁科亭作ノ支配人中村康之助登記事項中左ノ如ク變更及追加ス
一主人ノ氏名住所ヲ明治四十一年九月十四日住所移轉ニ因リ左ノ如ク變更ス
東京市芝區田村町五番地
一明治四十一年九月十四日解任ス

仁科亭作ノ支配人柴田常次郎ノ登記事項中左ノ如ク變更及追加ス
一主人ノ住所ヲ明治四十一年九月十四日左ノ所ニ移轉ス
東京市芝區田村町五番地
一明治四十一年九月十四日解任ス

合名會社金原銀行登記事項中左ノ如ク變更ス
一社員金原喜一ハ明治四十一年九月二日死亡ニ依リ其家督相續人左者ハ相續シテ同日入社セリ
靜岡縣磐田郡浦川村浦川二千九百五十三番地　金原貞雄
一金一万圓

合資會社吉阪商店登記事項中左ノ如ク變更ス
一明治四十一年九月十日東京市日本橋區平松町六番地ヨリ支店ヲ左ノ所ニ移轉ス
東京市日本橋區吳服町二十五番地

株式會社二十七銀行登記事項中左ノ如ク變更ス
一取締役日向野善太郎ハ明治四十一年九月十五日辭任ス

北村合名會社登記事項中左ノ如ク追加ス
一清算結了ノ年月日
明治四十一年九月十日

合名會社恒川商店登記事項中左ノ如ク追加ス
一清算結了ノ年月日
明治四十一年九月十六日

合名會社登記簿第八冊第三八八號
一商號　合名會社仁科商會
一本店　東京市芝區愛宕下町一丁目二番地
一目的　當會社ハニシナ保溫劑及防火劑エンベルノ製造販賣
一設立ノ年月日　明治四十一年九月十四日
一代表社員ノ氏名　仁科亭作
一社員ノ氏名住所出資ノ種類及價格
一金五万圓　東京市芝區田村町五番地　仁科亭作
一金五万圓　岡山縣備中國淺口郡里庄村大字濱中七百四番地　仁科克已
一金五万圓　廣島縣備後國深安郡市村百五十四番屋敷　佐藤久兵衛
一金五万圓　同縣同國沼隈郡松永町五百十番邸　岡本榮一
一金五万圓　東京市麻布區麻布北日下窪町四十四番地　仁科をわり
一金五万圓　岡山縣備中國淺口郡里庄村大字新庄千三百七十番地　阿部太郎

合資會社登記簿第二二冊第一〇七七號
一商號　合資會社万商店
一本店　東京市日本橋區橘町二丁目十番地
一目的　帽子及和洋雜貨卸販賣
一設立ノ年月日　明治四十一年九月十日
一社員ノ氏名住所出資ノ種類及價格責任
一金二千二百五十圓　無限　香川縣木田郡潟元村大字西潟元八百三十一番地　梶原繁三
一金二千二百五十圓　有限　東京市日本橋區橘町二丁目十番地　梶原ツル
一金五百圓　同　同市同區高砂町六番地　山口善八
右明治四十一年九月十七日登記　東京區裁判所

株式會社二十七銀行登記事項中左ノ如ク變更ス
一取締役日向野善太郎ハ明治四十一年九月十五日辭任セリ
右明治四十一年九月十七日登記　東京區裁判所千住出張所

東京キヤリコ製織株式會社登記事項中左ノ如ク變更ス
一各株ニ付キ拂込ミタル株金額　金五十圓
右明治四十一年九月十七日登記　東京區裁判所小松川出張所

東亞精糖株式會社登記事項中左ノ通變更ス
一清算人原忠平、指田義雄、桐谷市松辭任ス
明治四十一年九月十六日登記　橫濱區裁判所川崎出張所

株式會社小田原通商銀行登記事項中左ノ通變更ス
一取締役内野勘兵衛ハ明治四十一年九月九日死亡セリ
右明治四十一年九月十六日登記　小田原區裁判所

合名會社橫田組支店登記事項中左ノ通變更ス
一社員小野間和三郎ハ明治四十一年九月十一日持分ヲ柏木菊吉ニ讓渡シテ退社シ柏木菊吉ハ之ヲ讓受ケ出資額ヲ金六千圓ト變更ス
右明治四十一年九月十七日登記　小田原區裁判所

合資會社水戸銀行登記事項中左ノ如ク變更ス
一有限責任社員西秋雄ハ持分全部ヲ水戸市上市仲町五百二十七番地西健ニ讓渡シテ退社シ西健ハ之ヲ讓受ケテ入社セリ
右明治四十一年九月十七日登記　水戸區裁判所

合名會社登記簿第一冊第一號
一商號　飯島合名會社
一本店　東茨城郡小松村上入野三千九百五十一番地
一目的　金錢貸付及酒類販賣業
一設立ノ年月日　明治四十一年九月十一日
一社員ノ氏名住所出資ノ種類及價格
一金二千圓　東茨城郡小松村上入野三千九百五十一番地ノ一　飯島力之介
一金五百圓　同所同番地　飯島みか
一金五百圓　同所同番地　飯島正一
一代表社員ノ氏名　飯島力之介
一存立ノ時期　設立登記ノ日ヨリ三十箇年
右明治四十一年九月十七日登記　水戸區裁判所石塚出張所

合名會社登記簿第七號
一商號　太田煙草元賣捌合名會社
一本店　茨城縣久慈郡太田町西二丁目四百九十三番地
一支店　同縣同郡大子町大子四十番地
同縣那珂郡大宮町六十九番地
一目的　製造煙草元賣捌
一設立ノ年月日　明治四十一年九月十七日
一代表社員ノ氏名　猿田仙右衛門
一社員ノ氏名住所出資ノ種類及價格
一金七千圓　茨城縣久慈郡太田町西二丁目四百九十一番地　猿田仙右衛門
一金三千圓　同縣同郡大子町大字四十番地　野田熊三
一金三千圓　同縣那珂郡大宮町六十九番地　杉山義平
右明治四十一年九月十七日登記　太田區裁判所

株式會社登記簿第十三號
一明治四十一年十月一日ヨリ上毛物產株式會社ハ其商號ヲ株式會社上毛物產銀行ト變更ス
右明治四十一年九月十七日登記ス　前橋區裁判所

支配人登記簿第三號
一明治四十一年十月一日ヨリ上毛物產株式會社支配人木間西三ノ用ユヘキ商號ヲ株式會社上毛物產銀行ト變更ス
右明治四十一年九月十七日登記ス　前橋區裁判所

合資會社設立登記
商號松本製材合資會社　本店榛原郡吉田村川尻三千三十四番地ノ三ノ二　目的製板及木材ノ販賣　設立ノ年月日明治四十一年九月五日　代表社員ノ氏名松本雄七　社員ノ氏名住所出資ノ種類價格及責任　一金二千百五十圓榛原郡吉田村川尻百四十三番地無限責任松本雄七　一金千三百圓同郡同村片岡六百三十三番地有限責任淺井市太郎　一金千三百圓靜岡市紺屋町四十六番地同田中太次郎　一金二百五十圓榛原郡吉田村川尻三百六十九番地同松本虎藏　存立ノ時期明治四十一年九月五日ヨリ二十箇年
右明治四十一年九月十七日登記　掛川區裁判所川崎出張所

株式會社登記第十四號
長野倉庫株式會社登記事項中左記ノ通變更ス
一取締役前島元助ハ辭任セリ
右明治四十一年九月十七日登記

合資會社登記第五十六號
一商號　信濃煙火合資會社
一本店　長野縣上水内郡安茂里村百十三番地
一支店　同縣更級郡稲荷山町八百二十七番地
一目的　煙火ノ製造販賣ヲ爲シ斯道ノ改良進歩ヲ圖ルヲ以テ目的トス
一設立ノ年月日　明治四十一年九月十六日
一社員ノ氏名住所出資ノ種類價格及責任
一金五百圓　無限責任　長野縣上水内郡安茂里村百十三番地　藤原善九郎
一金五百圓　同上　同縣同郡大豆島村四百十八番地　古岩井榮太郎
一金五百圓　同上　同縣更級郡更級村大字若宮五百九番地　高松豊三郎
一金五百圓　同上　同縣同郡稲荷山町八百二十七番地　伊藤顯齋
一金五百圓　有限責任　同縣同郡更級村六十七番地　高松幸四郎
一金三百圓　同上　同縣埴科郡松代町二百五十六番地　内山榮治郎
一金二百圓　同上　同縣上高井郡山田村百三十七番地　陽本富衛
一存立ノ時期　設立ノ日ヨリ滿二十箇年
右明治四十一年九月十七日登記　長野區裁判所

合資會社登記簿第一冊第三號
一商號　丸大合資會社
一本店　中頸城郡柿崎村大字上下濱千八十八番地
一目的　精米及米穀肥料其他物品賣買
一設立ノ年月日　明治四十一年九月十六日
一代表社員ノ氏名　佐藤大治
一社員ノ氏名住所出資ノ種類價格及責任
一金六百圓　無限責任　中頸城郡柿崎村大字上下濱七百七十番地　佐藤大治
一金四百圓　無限責任　同郡同村同大字三百八十八番地　佐藤輝吉
一金四百圓　有限責任　同郡同村同大字三十六番戶　佐藤只一
一金四百圓　有限責任　同郡同村同大字百八十八番戶　佐藤喜平
一金四百圓　有限責任　同郡同村同大字千八十五番地　小山彌一郎
一存立ノ時期　明治四十一年九月十六日ヨリ滿二十箇年
右明治四十一年九月十六日登記　高田區裁判所柿崎出張所

○法人登記

合名會社登記簿第一冊第二五號
一名稱　協同合名會社
一本店　東京市赤坂區福吉町一番地
一目的　一定ノ預金ヲナシタル一定ノ會員ニ金錢貸附ヲナス事
一設立ノ年月日　明治四十一年九月十六日
一存立ノ時期　明治四十一年九月十六日ヨリ同五十六年九月十五日迄滿十五箇年間
一社員ノ氏名住所出資ノ種類及價格
一金二百五十圓　東京市赤坂區福吉町一番地　牧野岩吉
一金二百五十圓　同所　村田喜四郎
一金二百五十圓　同所　井口鎌太郎
一金二百五十圓　同市京橋區木挽町二丁目十三番地　關清五郎
右明治四十一年九月十七日登記　東京區裁判所

若濱會登記事項中左ノ如ク變更ス
一理事棚橋源太郎ハ明治四十一年九月十四日退任シ同日左者理事ニ就任ス
東京市小石川區指ヶ谷町六十六番地　棚橋源太郎
右明治四十一年九月十八日登記　東京區裁判所

神宮奉齋會理事變更登記　理事任期滿了ニ付藤岡好古、篠田時化雄、山田大路元安、宮原正裔各再選重任シ左記ノ者新ニ就任ス東京市麹町區有樂町三丁目二番地神田息胤
右明治四十一年九月七日登記　神戸區裁判所

サヲソルンパプチスト宣教師社團法人登記事項中明治四十一年九月十六日左ノ通變更登記ス
一理事ナサン、メーナルド同ダブリユー、エイチ、クラーク任期滿了ニ依リ明治三十七年十二月三十日左ノ通選任ス
福岡縣小倉市紺屋町百四十一番地在住　北米合衆國人　ナサン、メナールト
熊本縣熊本市京町二丁目百五十三番地在住　同國人　ダブリユー、エイチ、クラーク
一理事ジー、エフ、ハンブルトン同イー、エン、ツワン任期滿了ニ依リ明治三十八年十二月二十九日左ノ通選任ス
鹿兒島縣鹿兒島市平野町二百二十四番地在住　北米合衆國人　ジー、エフ、ハンブルトン
福岡縣福岡市大名町九十六番地在住　同國人　イー、エン、ウワン
一理事ジー、エフ、ハンブルトン明治三十九年六月十九日辭任ス
一理事シー、チー、ウイリングハム同ジエー、ダブリユー、マコーラム任期滿了竝ニ理事一名缺員ニ付明治三十九年十二月十一日左ノ通選任ス
福岡縣福岡市濱町四十一番地在住　北米合衆國人　ジエー、ダブリユー、マコーラム
鹿兒島縣鹿兒島市平野町二百二十四番地在住　同國人　ジー、ダブリユー、ボールデン
長崎縣佐世保市清水町九番地在住　同國人　シー、ケー、ドージヤー
一理事ナサン、メーナルド同ダブリユー、クラーク任期滿了ニ依リ明治四十年十二月二十三日左ノ通選任ス
熊本縣熊本市京町二丁目百五十三番地在住　北米合衆國人　ダブリユー、エイチ、クラーク
長崎縣長崎市櫻馬場二十九番地在住　同國人　ゼー、エイチ、ローウ
右公告ス　長崎區裁判所

營利ヲ目的トスル法人合名會社ニ準スル部登記簿第一冊第一號
一名稱　合名會社野村農行
一本店　上北郡野邊地町大字野邊地字野邊地七番地
一目的　土地竝ニ畜產ノ改良
一設立ノ年月日　明治四十一年九月十五日
一代表社員ノ氏名　野村龜太郎
一社員ノ氏名住所出資ノ種類及價格
一金二千圓　上北郡野邊地町大字野邊地二百六十三番戶　野村龜太郎
一金二千圓　同郡同町大字同二百六十三番戶　野村昌五郎
一金一千圓　同郡同町大字同二百六十三番戶　野村新八郎
右明治四十一年九月十五日登記　野邊地區裁判所

第7579号　本文

第7579号 本文

○相互保險會社登記

國光生命保險相互會社登記事項中左ノ如ク變更ス

一取締役松平賴壽ハ明治四十一年九月十四日辭任ス

右明治四十一年九月十八日登記

東京區裁判所

○産業組合登記

有限責任元加治村信用組合登記事項中左ノ通變更ス

一明治四十一年九月十四日理事二名增員ニ因リ左ノ人名當選ス

入間郡元加治村大字野田四百八十三番地　宮臣　武丸

同郡同村大字佛子六十四番地　平岡德次郎

一右同日監事二名增員ニ因リ左ノ人名當選ス

入間郡元加治村大字野田七百二十九番地　築地　島藏

同郡同村大字佛子五番地　宮岡三重郎

右明治四十一年九月十七日登記

川越區裁判所飯能出張所

川筋繭糸生産販賣組合登記事項中變更　明治四十一年九月一日臨時總會ノ決議ニ因リ　退任理事宇野源治同片西勇治　京都府竹野郡八木村字是安二十番戶新任理事難波寬亮同府同郡德光村字成願寺十四番戶同林瀧藏　退任監事難波寬亮　京都府竹野郡竹野村字宮十二番戶新任監事山副藤吉

右明治四十一年九月十四日登記

峰山區裁判所間人出張所

名稱　無限責任日置莊村信用購買販賣組合　組織無限責任　事務所大阪府南河內郡日置莊村大字原寺荻原七十六番地　目的組合員ノ産業ニ必要ナル資金ヲ貸付シ及貯金ノ便宜ヲ得セシムルコト、牛馬家禽雜穀煙草酒醬油砂糖綿絹毛絲織物其他農事及生計ニ必要ナル物ヲ購買シテ之ヲ組合員ニ賣却スルコト、組合員ノ委託ヲ受ケ其生産シタル織物牛馬家禽卵其他ノ物品ヲ販賣スルコト　設立許可年月日明治四十一年六月十三日　出資一口ノ金額金二十圓　出資拂込ノ方法第一回拂込金額一口ニ付金二圓第一回拂込後ハ剩餘金ヨリ拂込ニ充ルモノ、外每年六月及十二月末日迄ニ一口ニ付金二圓ツヽ拂込第一回拂込後五箇年以內ニ全額拂込ム　理事ノ氏名住所大阪府南河內郡日置莊村大字原寺一番屋敷北山辯太郎同村大字西百五十一番屋敷石橋忠治郎同村大字原寺六十一番屋敷北山小市同村大字原寺十番屋敷辻安太郎　監事ノ氏名住所同村大字原寺十一番屋敷小北音治郎　存立時期設立ノ日ヨリ滿四十箇年

右明治四十一年九月十七日登記

富田林區裁判所

有限責任下道山村信用組合設立登記　名稱有限責任下道山村信用組合　組織有限責任　事務所兵庫縣加西郡西在田村ノ內下道山村四十七番屋敷　目的組合員ノタメ産業ニ必要ナル資本ヲ貸付ケ及貯金ノ便宜ヲ得セシム　設立許可ノ年月日明治四十年十一月二十日　出資一口ノ金額金十圓　出資拂込ノ方法第一回ハ一口ニ付金二圓以後ハ剩餘金ヨリ拂込ニ充ツルモノ、外組合員ハ出資一口ニ付每年十二月中ニ金二圓ヲ拂込ムコト　理事ノ氏名住所兵庫縣加西郡西在田村ノ內下道山村五十一番屋敷增田利作同村七番屋敷竹內啓作同村三十八番屋敷宮崎善治同村四十一番屋敷增田鶴吉同村四番屋敷竹內孫治郎　監事ノ氏名住所兵庫縣加西郡西在田村ノ內下道山村五十二番屋敷增田重之助同村四十七番屋敷大西榮太郎同村十一番屋敷竹內虎市　存立時期設立許可ノ日ヨリ十箇年

右明治四十一年九月十六日登記

社區裁判所北條出張所

一有限責任新宮購買組合監事任期滿了ニ付改選ノ結果遊木保太郎上田重德重任セリ

右明治四十一年九月五日登記

新宮區裁判所

産業組合設立登記　名稱　有限責任鵜殿信用購買組合　組織有限責任　事務所南牟婁郡鵜殿村三百十二番地　目的組合員ニ産業ニ必要ナル資金ヲ貸付シ及貯金ノ便宜ヲ得セシメ併セテ産業及生計ニ必要ナル物ヲ購買シテ之ヲ組合員ニ賣却スルヲ以テ目的トス　設立許可ノ年月日明治四十一年七月九日　出資一口ノ金額金十圓　拂込ノ方法第一回拂込ノ金額ハ出資一口ニ付金一圓トス第一回拂込後ハ剩餘金ヨリ拂込ニ充ツルモノ、外組合員ハ左ノ各號ノ一ニ依リ出資ノ拂込ヲ爲スモノトス一、出資各口ニ付每月末金一圓宛拂込ムコト二、出資各口ニ付每年二月末及八月末金四圓五十錢宛拂込ムコト　理事南牟婁郡鵜殿村二百七十九番地中谷久吉同村百五十五番屋敷平島米藏同村二十番屋敷大岡虎藏　監事南牟婁郡鵜殿村二十二番屋敷竹原樸一同村三百二十二番地ノ三市川虎太郎　存立時期二十箇年

右明治四十一年九月十五日登記

木本區裁判所鵜殿出張所

産業組合登記第一號　無限責任莊川信用組合

一解散ノ事由及年月日　組合總會ノ決議ニヨリ明治四十一年九月七日解散

一清算人ノ氏名住所

岐阜縣大野郡莊川村大字町屋三百七十八番戶　直井　信平

岐阜縣大野郡莊川村大字新淵三百六十六番戶　大田武右衞門

岐阜縣大野郡莊川村大字赤谷六百九十一番戶　北林　景德

岐阜縣大野郡莊川村大字寺河戶百三十二番戶　三浦佐一郎

右明治四十一年九月十五日登記

高山區裁判所莊川出張所

有限責任芦原購買組合登記事項中變更

一明治四十一年八月二十日臨時總會ノ決議ニ依リ事務所ヲ左ニ移轉ス

坂井郡芦原村舟津三十九字尻開一番ノ一

右明治四十一年九月十六日登記

三國區裁判所金津出張所

○禁治産宣告

愛媛縣北宇和郡明治村大字目黑平民　赤松　清　天保五年十一月六日生

右ノ者ニ對シ河野通倫外三名ノ申立ニ因リ當區裁判所ハ明治四十一年九月十一日禁治産ヲ宣告シタリ

明治四十一年九月十四日

宇和島區裁判所

判事　玉井菊造

長崎縣南高來郡口之津村百六十七番戶　松藤八十男

右者妻ソガノ申立ニ因リ心神喪失ノ常況ニ在ルモノト認メ禁治産ヲ宣告セリ

明治四十一年九月十五日

島原區裁判所

判事　余綱惟一

○準禁治産宣告

長野縣東筑摩郡廣丘村大字原新田百四十三番地平民農　御子柴東次郎　明治三年八月八日生

右ニ對シ長野縣東筑摩郡廣丘村大字原新田百十五番地御子柴鐵三ノ申立ニ因リ當區裁判所ハ明治四十一年九月十四日準禁治産ノ宣告ヲ爲シタリ

明治四十一年九月十七日

松本區裁判所

判事　松澤常四郎

福井縣坂井郡大關村大味第六號五十一番地平民　倉　與太郎　明治二十一年十二月一日生

右ニ對シ同居ノ實父倉橋右衞門ノ申請ニ因リ浪費者ト認メ明治四十一年九月十五日準禁治産ヲ宣告シタリ

明治四十一年九月十七日

福井區裁判所

判事　柳田安太郎

鳥取縣西伯郡大高村泉村一番屋敷　小林　佐吉　明治二十三年四月二日生

明治四十一年(ホ)第五號準禁治産事件ニ付西伯郡大高村大字泉村小林庄太郎ノ申請ニ因リ右佐吉ヲ浪費者ト認メ準禁治産ヲ宣告ス

明治四十一年九月十四日

米子區裁判所

判事　瀧田明十郎

○公示催告

茨城縣行方郡太田村大字石神二十五番地平民農　不在者　矢幡　次助　慶應元年十一月五日生

右ニ對シ妻矢幡せきヨリ失踪宣告ノ申立ヲ爲シタルニ付不在者ハ明治四十二年三月二十五日迄ニ當區裁判所ニ生存ノ屆出ヲ爲スヘク若シ其屆出ヲ爲サヽルトキハ失踪ヲ宣告スヘシ又不在者ノ生死ヲ知ル者ハ右期日迄ニ其屆出ヲ爲スヘシ

明治四十一年九月十七日

麻生區裁判所

判事　高桑登平

群馬縣碓氷郡里見村大字上里見村百九十一番地　不在者　大河原三四郎　文久三年一月七日生

右ニ對シ其兄大河原注連造ヨリ失踪ノ申立ヲ爲シタルニ付キ不在者ハ明治四十二年三月三十一日午前九時ノ期日迄ニ當裁判所ニ生存ノ屆出ヲ爲スヘク若シ其屆出ヲ爲サヽルトキハ失踪ヲ宣告スヘシ又不在者ノ生死ヲ知ル者ハ右期日迄ニ其屆出ヲ爲スヘシ

明治四十一年九月十七日

高崎區裁判所

判事　齊藤貞之助

一額面金百圓也　長野農工債券額面二十圓券五枚

番號　波自一〇九四號至一〇九八號

發行者　長野縣長野市　株式會社長野農工銀行

所有者　同縣小縣郡泉田村　石井まき

右債券ニ付キ所有者石井まきヨリ公示催告ノ申立ヲ爲シタルニ依リ其所持人ハ明治四十二年四月二十五日午前十時迄ニ當區裁判所ニ權利ヲ屆出且ツ其債券ヲ提出スヘシ若シ右期日迄ニ屆出ヲ爲サス且ツ之レヲ提出セサルニ於テハ該債券ノ無效ヲ宣言スルコトアルヘシ

明治四十一年九月十五日

長野區裁判所

判事　木暮鐵太郎

明治四十一年(ヘ)一一號

神戶市三宮町三丁目二番地平民　不在者　上田　兵七　明治六年一月十六日生

右ノ者ニ對シ實兄上田保則ヨリ失踪宣告ノ申立ヲ爲シタルニ付不在者ハ明治四十二年三月三十日迄ニ當區裁判所ニ生存ノ屆出ヲ爲スヘシ若シ其屆出ヲ爲サヽルトキハ失踪ノ宣告ヲ受クヘシ又不在者ノ生死ヲ知ル者ハ右期日迄ニ其屆出ヲ爲スヘシ

明治四十一年九月十六日

神戶區裁判所

判事　柚木周平

熊本縣鹿本郡山鹿町大字山鹿千七百十九番地平民　今井　源十　万延元年五月八日生

右ノ者ニ對シ利害關係人合志小一郎ヨリ失踪宣告ノ申立ヲ爲シタルニヨリ不在者ハ明治四十二年四月二十日迄ニ生存ノ屆出ヲ爲スヘシ若シ其屆出ヲ爲サヽルトキハ失踪ノ宣告ヲ爲スヘク又不在者ノ生死ヲ知ルモノハ右期日マテニ其屆出ヲ爲スヘシ

明治四十一年九月十七日

山鹿區裁判所

判事　都地訥

青森縣三戶郡八戶町大字二十八日町二十九番戶平民無職亡石太郎二男　不在者　高橋　米吉　明治七年二月十日生

右ノ者ニ對シ姉婿大村岩吉ヨリ失踪宣告ノ申立ヲ爲シタルニ因リ不在者ハ明治四十二年三月二十五日午前十時迄ニ當裁判所ニ生存ノ屆出ヲ爲スヘク若シ其屆出ヲ出サヽルトキハ失踪ノ宣告ヲ受クヘシ不在者ノ生死ヲ知ル者ハ右期日迄ニ其屆出ヲ爲スヘシ

明治四十一年九月十六日

八戶區裁判所

判事　阿保左一郎

○失踪宣告

栃木縣上都賀郡鹿沼町大字鹿沼三百五十九番地平民材木商　田中　濱吉　元治元年九月十六日生

右ニ對シ其妻田中ヒサノ申立ニ因リ當區裁判所ハ明治四十一年九月十七日失踪ノ宣告ヲ爲シタリ

明治四十一年九月十七日

宇都宮區裁判所

判事　生駒八十彌

長野縣下高井郡日野村百十四番地平民戶主職業不詳　不在者　小林太郎左衞門　天保七年七月二十七日生

右ニ對シ其妻小林はなノ申立ニ因リ當區裁判所ハ明治四十一年九月十四日失踪ノ宣告ヲ爲シタリ

明治四十一年九月十七日

飯山區裁判所

判事　瀧澤信次郎

長野縣南安曇郡東穗高村五百五十二番地平民農　不在者　茅野　折藏　天保三年十月十四日生

右ノ者ニ對シ同所長男茅野千代重ノ申立ニ因リ當區裁判所ハ明治四十一年九月十五日失踪ノ宣告ヲ爲シタリ

明治四十一年九月十五日

松本區裁判所

判事　松澤常四郎

廣島縣安佐郡緑井村百六十三番屋敷平民　不在者　美村　一覺　明治十一年十二月十四日生

右ニ對シ美村孫平ノ申立ニ依リ當區裁判所ハ失踪ノ宣告ヲ爲シタリ

明治四十一年九月十六日

廣島區裁判所

判事　服部純吉

福岡縣八女郡川崎村大字柳島百二十八番地戶主平民農　桐明　與吉　文化十年十月十日生

右ノ者ニ對シ同人長男忠八ノ申立ニ依リ當區裁判所ハ本日失踪ノ宣告ヲ爲シタリ

明治四十一年九月十四日

福島（福岡地方裁判所管內）區裁判所

判事　吉田波雄

○行旅死亡人

住所氏名年齡不詳男女ノ別明瞭ナラサルモ成年以上ノ男子ト推定ス死後三四箇月以上ヲ經過セルモノヽ白骨縱縞木綿單衣ヲ著シ木綿黑紐ヲ締メ其他遺留品ナシ

右本月十七日當村塚原字笹子山林中ニ於テ發見假埋葬取計ヒ置ケリ心當ノ者ハ申出ツヘシ

明治四十一年九月

神奈川縣足柄上郡岡本村役場

○臺灣銀行券發行週報

臺灣銀行券發行每週平均高報告（自明治四十一年九月十四日至明治四十一年九月十九日）

銀行券發行高		一〇、二三〇、八六五・九三〇
準備竝保證	銀貨及銀塊	四〇六、二二三・九九〇
	金貨及金塊	四、六四二、一三三・三三〇
	準備合計	五、〇四八、三五七・三二〇
	公債證書	一、五四五、〇〇〇・〇〇〇
	政府證券	二〇〇、〇〇〇・〇〇〇
	商業手形	三、四三七、五〇八・六一〇
	保證合計	五、一八二、五〇八・六一〇
制限超過發行高		二一二、四五五・一二〇

明治四十一年九月二十二日

株式會社臺灣銀行

第7579号　本文

○債券償還當籤

い號拓殖債券第四回償還當籤番號

左記番號ノ債券當籤ニ付キ來ル十月一日ヨリ本行本支店及各代理店ニ於テ債券引換ニ元金ヲ支拂フヘシ

追テ當籤債券元利金ハ郵便貯金ノ證券貯金トシテ其儘預入シ得ル特權アリ

甲
一一　三二　七二　八一　八三　九三　二〇四　二〇八
五〇五　五〇九　五七二　五八二　五九九　六三四　六五六　六五八
六七八　六八一

乙
（自三四一　至三五〇）（自四四一　至四五〇）

明治四十一年九月

株式會社北海道拓殖銀行

○債券募集

拓殖債券募集

今般當行ニ於テ北海道拓殖銀行法第十二條ニ依リ左記條件ヲ以テ第五回債券ヲ募集ス

一募集金額　金五十万圓
一利率　年七朱五厘
一發行價格　額面金額
一各債券ノ種類　千圓券トシ無記名利札付トス
一償還ノ期限及方法　明治四十二年三月マテ据置キ第一回償還期ヲ明治四十二年四月トシ以降明治五十一年九月マテ毎年二回（四月、十月）ニ償還ス
一元利金支拂時期　毎年四月、十月ノ兩度トス
一申込期日　明治四十一年九月三十日ニシテ即時拂込ムモノトシ利子ハ其翌日ヨリ之ヲ付ス
一債券未償還高　四百十八万一百圓
一最近ノ貸借對照表ニ依リ現存スル財産額　一千四百二十八万二千七百六十二圓五十七錢
一資本金額　金五百万圓ニシテ拂込ミタル株金總額金三百五十万圓
一商號　株式會社北海道拓殖銀行

明治四十一年九月二十九日

株式會社北海道拓殖銀行

○東京郵便局外國郵便締切時限

十月二日横濱マテ汽車便送同地ヨリ加賀丸ヲ以テビクトリア經由歐米ヘ差立ノ郵便物ハ左記ノ時刻ニ締切ル

	東京局	市內各局
通常（普通）	二日午前十時	二日午前六時半
通常（書留）	同日午前九時半	同上
小包	一日午後七時	一日午後五時
爲替（聯合）	二日午前九時	同日午後四時
爲替（特別）	三十日午後四時	三十日午後四時

（備考）小包ハ北米合衆國、ポートリコ及加奈陀宛トス

同日敦賀マテ汽車便送同地ヨリ「リーミン」號ヲ以テ浦潮斯德經由西伯利、歐洲、南米（伯剌西爾、亞爾然丁、巴拉圭、烏爾圭）ヘ差立ノ郵便物ハ左記ノ時刻ニ締切ル

	東京局	市內各局
通常（普通）	二日午後七時半	二日午後五時
通常（書留）	同日午後七時	同上
價格表記	同上	同上
小包	同上	同上
爲替（聯合）	同日午後四時	同日正午十二時
爲替（特別）	一日午後四時	一日午後四時

（備考）露國以外諸國宛通常郵便物ハ本便差立ノ指定アル書狀及葉書ニ限ル

○同上締切豫告

十月中外國郵便締切豫定日左ノ如シ

一布哇經由歐米諸國宛　二、七、十一、二十二、二十八日頃締切ノ筈
一シアトル經由同上　二、十、二十八日頃締切ノ筈
一加拿陀經由同上　五、十三、二十六日頃締切ノ筈
一タコマ經由同上　五、十八、二十二日頃締切ノ筈
一ポートランド經由同上　二十二日頃締切ノ筈
一西伯利經由ノ歐洲諸國及南米（伯剌西爾、亞爾然丁、巴拉圭、烏爾圭）宛ハ毎週日火金曜日ニ、上海並ニ印度地方ヘハ毎週數回ノ差立アルニ依リ隨時差出ス方速達ヲ得ヘシ

○日本郵船株式會社汽船横濱出發表

因幡丸（歐洲行）　明三十日正午十二時横濱出帆　十月三日午前十一時神戸出帆門司、上海、香港、新嘉坡、彼南、コロンボ、蘇士、ポートサイド、馬耳塞、倫敦、アントワープ行
三河丸　同日午後四時横濱出帆神戸行
鹿兒島丸　十月一日未明横濱出帆荻ノ濱、函館、小樽行
博愛丸　同日午前十時横濱出帆同三日午前十時神戸出帆上海行（門司、長崎經由）（横濱、神戸棧橋繫留）
加賀丸（米國行）　同二日午後二時横濱出帆ビクトリア、シアトル行（米國各地行通船客切符及通船荷證券ヲ發行ス）
天津丸　同三日正午十二時横濱出帆四日市、神戸行
丹後丸　同五日午前十時横濱出帆同九日午前十時神戸出帆門司、上海、香港行（米國線復航）
酒田丸　同七日正午十二時横濱出帆四日市、神戸、門司、仁川、大連、大沽、牛莊行
兵庫丸　同十日午後二時横濱出帆八丈島、父島、母島沖東湊行
熊野丸（濠洲行）　同十七日正午十二時横濱出帆同二十日午前十時神戸出帆門司、長崎、香港、マニラ、木曜島、タウンスビル、ブリスベーン、シドニー、メルボルン行

○同上神戸出發表

竹島丸　十月二日午前十時神戸出帆門司、長崎、芝罘、大沽、牛莊行
山城丸　同日午前十一時神戸出帆宇品、門司、大連行
遠江丸　同四日未明神戸出帆門司、香港、新嘉坡、コロンボ、孟買行（船客ヲ搭載セス）
山東丸　同七日午前十時神戸出帆門司、長崎、釜山、仁川、大連、大沽、牛莊行
淡路丸　同九日午前十時神戸出帆門司、長崎、芝罘、大沽、牛莊行

臺灣航路	神戸發正午	門司著	基隆著午前
西京丸　毎月	三日	四日	七日
	十八日	十九日	二十二日

右西京丸ハ神戸鐵道棧橋繫留ニ付キ同所ニテ切符購入乘船ノ便アリ

毎日	午後十一時（直航）	青森發	翌朝五時	函館著
	午後六時（直航）	青森發	翌朝六時	室蘭著

○大阪商船株式會社汽船神戸等出發表

韓國行

安東丸　明三十日午前十時大阪出帆同日午後三時神戸出帆門司（下關）、釜山、木浦、群山、仁川行
筑後川丸　十月三日午前十時大阪出帆同日午後三時神戸出帆門司（下關）、釜山、元山、城津、清津行

清國行

溫州丸　十月一日正午十二時大阪出帆翌二日午前十時神戸出帆門司、天津行（船客ヲ搭載セス）（天津行ハ白河ヲ遡航シ居留地碼頭ニ横付ス）
大義丸　同三日正午十二時大阪出帆翌四日午前十時神戸出帆門司、大連行
大智丸　同四日正午十二時大阪出帆翌五日午前十時神戸出帆門司、天津行（天津行ハ白河ヲ遡航シ居留地碼頭ニ横付ス）
開城丸　同六日正午十二時大阪出帆翌七日午前十時神戸出帆門司、大連行
鐵嶺丸　同十日正午十二時大阪出帆翌十一日午前十時神戸出帆門司、大連行

臺灣行

嘉義丸　十月一日午後三時横濱出帆同四日正午十二時神戸出帆宇品、門司、長崎、基隆、澎湖島、安平、打狗行
恆春丸　同七日正午十二時横濱出帆同十二日午前八時神戸出帆門司、基隆、安平、打狗行
臺南丸　毎月八日、二十三日正午十二時神戸出帆門司、基隆行
臺中丸　毎月十五日、三十日正午十二時神戸出帆門司、基隆行

浦潮斯德行

鳳山丸　十月五日午後五時敦賀出帆同七日浦潮斯德著
木曜日午後二時浦潮斯德出發歐洲行急行列車ニ連絡ス

○附錄　今二十九日發刊廣告四頁